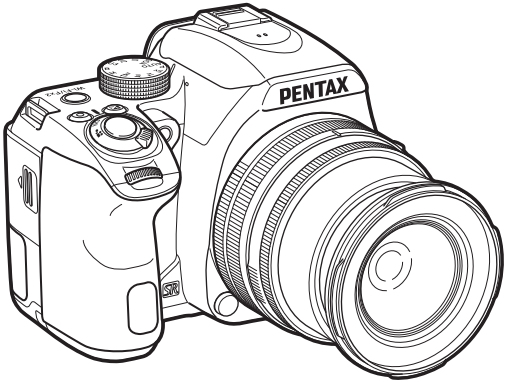
RICOH

デジタル一眼レフカメラ

PENTAX KF

使用説明書



JA

Model No. R06010

基礎知識 1

準備 2

撮影 3

再生 4

共有 5

設定 6

付録 7

カメラの正しい操作のために、ご使用前に
必ずこの使用説明書をご覧ください。

ご注意ください

この製品の安全性については十分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。

⚠ **警告**　このマークの内容を守らなかった場合、人が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。

⚠ **注意**　このマークの内容を守らなかった場合、人が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性があることを示すマークです。

本体について

⚠ 警告

- カメラの分解・改造などをしないでください。カメラ内部に高電圧部があり、感電の危険があります。
- 落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手を触れないでください。感電の危険があります。
- 太陽などの強い光に向けての撮影や、レンズキャップを外した状態で直射日光のあたる場所に放置しないでください。カメラの故障や火災の原因になる場合があります。
- レンズを太陽に向けてのぞかないでください。失明や視力障害の原因になります。
- 使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、バッテリーまたはACアダプターを取り外した上、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

- フラッシュの発光部に手を密着させたまま発光させないでください。やけどのおそれがあります。
- フラッシュの発光部を衣服などに密着させたまま発光させないでください。変色などのおそれがあります。
- 本機には、使用していると熱を持つ部分があります。その部分を長時間持ち続けると、低温やけどを起こすおそれがありますのでご注意ください。
- 万一液晶が破損した場合、ガラスの破片には十分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目に付いたり、口に入らないよう十分にご注意ください。
- お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異常が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診察を受けてください。

バッテリー充電器とACアダプターについて

⚠ 警告

- バッテリー充電器とACアダプターは、必ず専用品を指定の電源・電圧でご使用ください。専用品以外をご使用になったり、指定以外の電源・電圧でご使用になると、火災・感電・故障の原因になります。AC指定電圧は、100-240Vです。
- 分解したり、改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、内部に水などが入った場合は、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 使用中に雷が鳴り出したら、電源プラグを外し、使用を中止してください。機器の破損、火災・感電の原因となります。
- 電源プラグにほこりが付着している場合は、よく拭いてください。火災の原因となります。

⚠ 注意

- ACコードの上に重いものを載せたり、落としたり、無理に曲げたりしてコードを傷めないでください。もしACコードが傷んだら、弊社修理センター、またはお客様窓口にご相談ください。
- コンセントに差し込んだまま、ACコードの接続部をショートさせたり、触ったりしないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。
- バッテリー充電器D-BC186で充電式リチウムイオンバッテリー D-LI109以外のバッテリーは充電しないでください。他のバッテリーを充電しようとすると、発熱や爆発、充電器の故障の原因となります。

USB電源アダプターについて

⚠ 警告

- 電源プラグにほこりが付着している場合は、よく拭いてください。火災の原因となります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 使用中に異常な音がするとき、煙が出るときなどの不具合がある場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてお買い上げ店または修理受付センターまで連絡してください。機器が故障したり、不具合のまま使用しないでください。
- 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

⚠ 注意

- 電源プラグは、コンセントに確実に差し込んでください。火災の原因となります。

バッテリーについて

⚠ 警告

- バッテリーの液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 注意

- 本機では、決められたバッテリー以外は使用しないでください。バッテリーの爆発、発火の原因となることがあります。
- バッテリーは分解しないでください。無理に分解をすると、爆発や液漏れの原因となります。
- 万一、カメラ内のバッテリーが発熱・発煙を起こしたときは、速やかにバッテリーを取り出してください。その際は、やけどに十分注意してください。
- バッテリーの「+」と「-」の接点に、針金やヘアピンなどの金属類が触れないようにご注意ください。
- バッテリーをショートさせたり、火の中へ入れないでください。爆発や発火の原因となります。
- バッテリーの液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 発熱・発火・破裂のおそれがありますので、バッテリー使用の際は、下記注意事項を必ずお守りください。
  1. 専用充電器以外では絶対に充電しないこと。
  2. 火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしないこと。
  3. 変形や、ショートさせたり分解・改造をしないこと。

カメラや付属品は乳幼児の手の届かない場所に

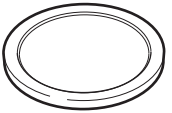
⚠ 警告

- カメラや付属品を、乳幼児の手の届く場所には置かないでください。
  1. 製品の落下や不意の動作により、傷害を受けるおそれがあります。
  2. ストラップを首に巻き付け、窒息するおそれがあります。
  3. バッテリーやSDメモリーカードなどの小さな付属品を飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。

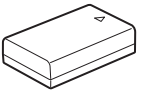
同梱品を確認しましょう

ホットシューカバー FK
（カメラ装着）

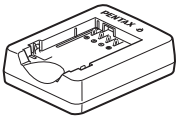
アイカップFR
（カメラ装着）



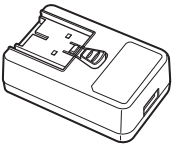
ボディマウントカバー
（カメラ装着）



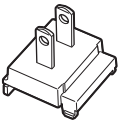
充電式リチウムイオン
バッテリー D-LI109



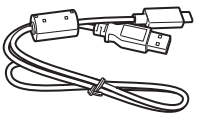
バッテリー充電器
D-BC186



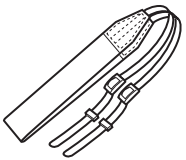
USB電源アダプター



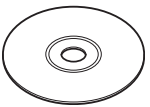
電源プラグ



USBケーブル
I-USB166



ストラップ
O-ST132



ソフトウェア（CD-ROM）
S-SW186

スタートガイド

保証書

使用できるレンズ

本機で使用できるレンズは、DA／DA L／D FA／FA J／FAまたは絞り **A**（オート）位置のあるレンズです。それ以外のレンズやアクセサリーを使用するときは、本書のp.113を参照してください。

KFの基礎知識 1
準備しましょう 2
いろいろな写真を撮影してみましょう 3
いろいろな再生と編集 4
画像を共有する 5
設定を変更する 6
付録 7

本書の使い方

1

KFの基礎知識 p.9

KFの全体像を紹介しています。
まずここを読んでKFを知ろう！

- □ 各部の名称と機能 p.9
- □ 撮影情報の表示 p.12
- □ 機能の設定方法 p.20
- □ メニュー一覧 p.24

2

準備しましょう p.36

KFを使えるようにするための準備と基本操作を説明しています。

- □ ストラップの取り付け p.36
- □ レンズの取り付け p.36
- □ バッテリーのセット p.37
- □ メモリーカードのセット p.40
- □ 画像モニターの開き方 p.41
- □ 初期設定 p.42
- □ 撮影のキホン p.45
- □ 画像の確認 p.47

3

いろいろな写真を撮影してみましょう .. p.49

カメラが正しく動作することが確認できたら、
たくさん写真を撮ってみよう！

- □ 記録方法を設定する p.49
- □ 静止画を撮影する p.50
- □ 動画を撮影する p.54
- □ 露出を設定する p.56
- □ フラッシュを使用する p.59
- □ フォーカスモードを設定する p.61
- □ ドライブモードを設定する p.65
- □ ホワイトバランスを設定する p.72
- □ 仕上がりイメージを決めて撮影する p.75
- □ 補正して撮影する p.78

4 いろいろな再生と編集 p.83

いろいろな再生方法と画像編集を説明しています。

- □ 再生モードパレットの設定項目 p.83
- □ 再生方法を変更する p.84
- □ 画像を加工・編集する p.88

5 画像を共有する p.94

パソコンや通信端末と接続してKFを操作したり、画像を利用する方法を説明しています。

- □ パソコンに画像をコピーする p.94
- □ 通信端末で利用する p.95

6 設定を変更する p.98

その他の設定変更を掲載しています。

- □ カメラの設定 p.98
- □ 画像管理に関する設定 p.106

7 付録 p.110

資料を掲載しています。

- □ 撮影モードの機能制限 p.110
- □ 各種レンズ使用時の機能 p.113
- □ 外付けフラッシュ利用時の機能 p.117
- □ GPSユニットを利用する p.118
- □ 困ったときは p.121
- □ 主な仕様 p.125
- □ 索引 p.133
- □ 取り扱い上の注意 p.138
- □ アフターサービスについて p.142

本文中のイラストおよび画像モニターの表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。

目次

同梱品を確認しましょう 2

本書の使い方 4

KF の基礎知識 9

各部の名称と機能 9
ボタン・ダイヤル・レバー 10
撮影情報の表示 12
画像モニター 12
ファインダー 18
電子水準器 19
機能の設定方法 20
ダイレクトキーで設定する 20
コントロールパネルで設定する 20
メニューで設定する 22
メニュー一覧 24
撮影メニュー 24
動画メニュー 29
再生メニュー 30
詳細設定メニュー 31
カスタムメニュー 34

準備しましょう 36

ストラップの取り付け 36
レンズの取り付け 36
バッテリーのセット 37
バッテリーを充電する 37
バッテリーを入れる 38
ACアダプターを使用する 39
メモリーカードのセット 40
画像モニターの開き方 41
初期設定 42
電源を入れる 42
言語を設定する 42
日時を設定する 43
画面表示を設定する 44
メモリーカードをフォーマットする 44
撮影のキホン 45
ファインダーを使って撮影する 45
ライブビュー画像を見ながら撮影する 47
画像の確認 47

いろいろな写真を撮影してみましょう 49

記録方法を設定する 49
静止画の記録設定 49
動画の記録設定 49
静止画を撮影する 50
シーンモード 50
露出モード 51
動画を撮影する 54
動画の再生 56
露出を設定する 56
ISO感度 56
露出補正 58
測光方式 58
フラッシュを使用する 59

フォーカスモードを設定する 61
ファインダー撮影のオートフォーカスの設定 61
ライブビュー撮影のオートフォーカスの設定 63
AF位置を微調整する 65
ドライブモードを設定する 65
連続撮影 66
セルフタイマー 67
リモコン 67
ブラケット撮影 68
ミラーアップ撮影 69
多重露出 70
インターバル撮影 71
ホワイトバランスを設定する 72
マニュアルでホワイトバランスを調整する 74
色温度でホワイトバランスを調整する 75
仕上がりイメージを決めて撮影する 75
カスタムイメージ 75
デジタルフィルター 77
補正して撮影する 78
明るさを補正する 78
レンズ特性を補正する 80
画質・質感を補正する 80

いろいろな再生と編集 83

再生モードパレットの設定項目 83
再生方法を変更する 84
複数画像を表示する 84
フォルダーごとに表示する 85
撮影日ごとに表示する 85
連続して再生する（スライドショウ） 86
画像を回転して表示する 86
AV機器と接続する 87
画像を加工・編集する 88
画像のサイズを変更する 88
色モアレを補正する 89
デジタルフィルターで加工する 89
動画を編集する 91
RAW展開 92

画像を共有する 94

パソコンに画像をコピーする 94
通信端末で利用する 95
Wi-Fi™を有効にする 95
通信端末で操作する 97

設定を変更する 98

カメラの設定 98
ボタン／ダイヤルをカスタマイズする 98
画像モニターとランプを設定する 102
よく使う設定値を登録する 103
目的地の日時を表示する 105
カメラに保存する設定を選択する 105
画像管理に関する設定 106
画像を消去できないようにする（プロテクト） 106
フォルダー／ファイルの設定 107
著作権情報の設定 109

付録 110

撮影モードの機能制限 110
特殊機能の組み合わせ制限 112
各種レンズ使用時の機能 113
絞りリングの使用を許可する 115
キャッチインフォーカスで撮影する 116
レンズ焦点距離を入力する 117

外付けフラッシュ利用時の機能 117
GPSユニットを利用する 118
天体を撮影する（アストロトレーサー）..... 119
困ったときは 121
センサーのクリーニング 122
エラーメッセージ 123
主な仕様 125
USB接続と付属ソフトウェアの動作環境 131
索引 133
取り扱い上の注意 138
アフターサービスについて 142

目次

著作権について

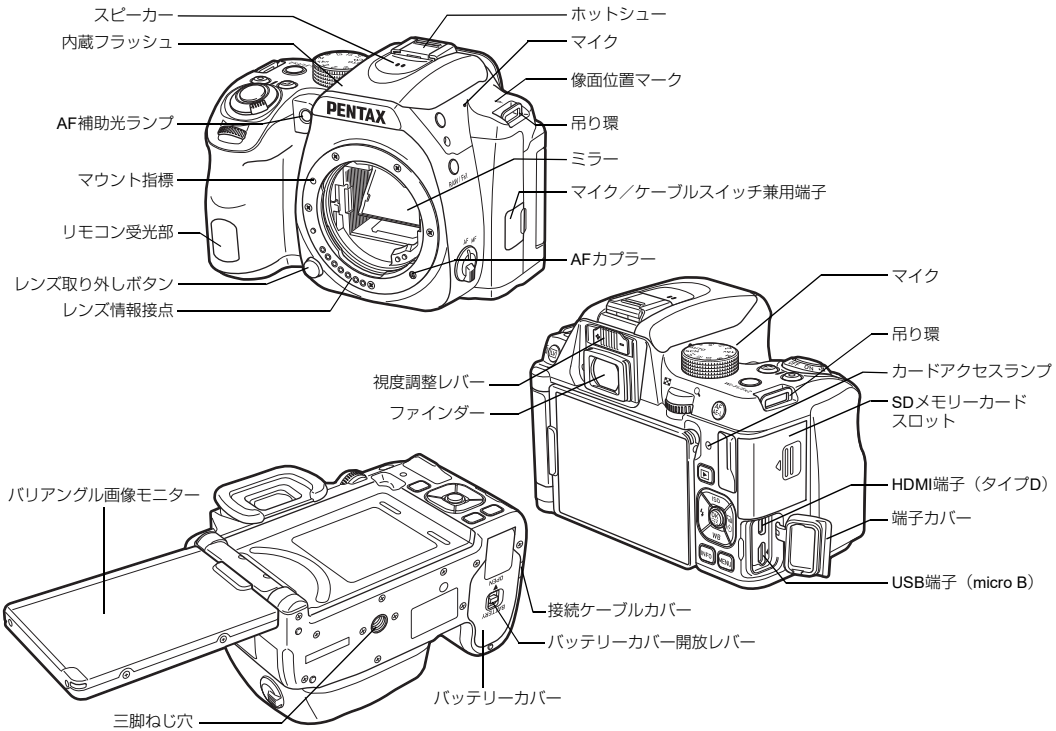
本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどのほかは、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

本機を使用するにあたって

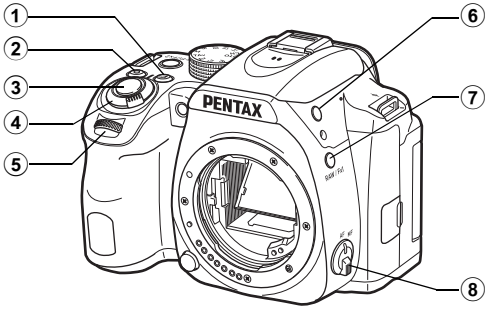
- テレビ塔など強い電波や磁気を発生する施設の周囲や、強い静電気が発生する場所では、記録データが消滅したり、撮影画像へのノイズ混入等、カメラが誤作動を起こす場合があります。
- 画像モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高度な精密技術で作られています。99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。なお、記録される画像には影響ありません。

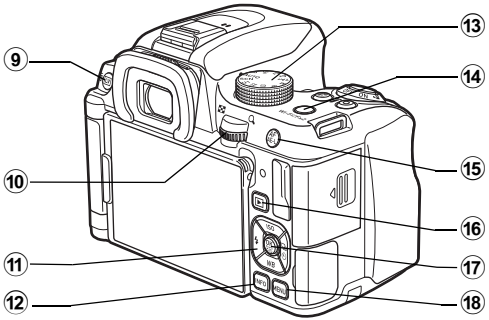
この装置は、クラスB機器です。この装置は、家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。
VCCI-B

各部の名称と機能


スピーカー
内蔵フラッシュ
AF補助光ランプ
マウント指標
リモコン受光部
レンズ取り外しボタン
レンズ情報接点
ホットシュー
マイク
像面位置マーク
吊り環
ミラー
マイク／ケーブルスイッチ兼用端子
AFカプラー
PENTAX
マイク
吊り環
カードアクセスランプ
SDメモリーカードスロット
視度調整レバー
ファインダー
HDMI端子（タイプD）
端子カバー
USB端子（micro B）
バリアングル画像モニター
接続ケーブルカバー
バッテリーカバー開放レバー
バッテリーカバー
三脚ねじ穴

ボタン・ダイヤル・レバー





① **露出補正ボタン（☑）**
露出補正値を変更するときに押します。（p.58）
再生モード時は、直前に撮影したJPEG画像のRAWファイルを追加保存します。（p.48）

② **グリーンボタン（●）**
設定中の値をリセットします。

③ **シャッターボタン（SHUTTER）**
画像を撮影します。（p.46）
再生モード時は、半押しで撮影モードに切り替わります。

④ **電源レバー**
電源のON／OFFと🎥（動画）モードを切り替えます。（p.42、p.54）
ONにすると📷（静止画）モードになり、ランプが緑で点灯します。🎥に合わせると🎥モードになり、赤で点灯します。

⑤ **前電子ダイヤル（◔）**
露出などの設定値を変更します。（p.52）
メニューが表示されているときは、メニューのカテゴリーを切り替えます。（p.22）
再生モード時は、画像を切り替えます。

⑥ **フラッシュポップアップボタン（⚡）**
内蔵フラッシュをポップアップさせます。（p.59）

⑦ **RAW/Fx1ボタン（Fx1）**
機能を割り当てて使用します。（p.98）
初期設定では、「ワンタッチRAW+」が割り当てられています。

⑧ **フォーカスモード切替レバー**
フォーカスモードを切り替えます。（p.61）

⑨ **ライブビュー／消去ボタン（LV／🗑）**
ライブビューを表示します。（p.47）
再生モード時は、画像を消去します。（p.48）

⑩ **後電子ダイヤル（）**
露出などの設定値を変更します。（p.52）
メニューが表示されているときは、ページを切り替えます。（p.22）
コントロールパネルが表示されているときは、設定を切り替えます。（p.20）
再生モード時は、画像を拡大／複数画像表示します。（p.48、p.84）

⑪ **十字キー（▲▼◀▶）**
ISO感度／ホワイトバランス／フラッシュモード／ドライブモードの設定画面を呼び出します。（p.20）
メニュー／コントロールパネルが表示されているときは、カーソルの位置や項目を変更します。
再生モードの1画像表示で▼を押すと、再生モードパレットを表示します。（p.83）

⑫ **INFOボタン（INFO）**
画像モニターの表示を切り替えます。（p.12、p.16）

⑬ **モードダイヤル**
撮影モードを切り替えます。（p.45、p.50）

⑭ **Wi-Fi/Fx2ボタン（Fx2）**
機能を割り当てて使用します。（p.98）
再生モード時は、Wi-Fi™ 機能のオン／オフを切り替えます。（p.96）

⑮ **AF/AEロックボタン（AF/AE-L）**
SHUTTER 半押しの代わりにピントを合わせたり、撮影前の露出値を記憶します。（p.53、p.61）

⑯ **再生ボタン（▶）**
再生モードに切り替えます。（p.47）もう一度押すと撮影モードに切り替わります。

⑰ **OKボタン（OK）**
メニュー／コントロールパネルが表示されているときに、選択した項目を決定します。
「AFエリア」が ／ のとき、または ／ のときに押すと、測距点移動モードとダイレクトキーモードを切り替えられます。（p.62、p.64）

⑱ **MENUボタン（MENU）**
メニューを表示します。メニュー表示中に押すと、1つ前の画面に戻ります。（p.22）

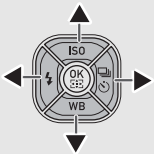
電源レバーのランプについて

電源レバーのランプは、以下のときは消灯します。
- SHUTTER 半押しから撮影終了まで
- インターバル撮影中
- 光学プレビュー中
- 再生モード
- メニュー表示中
- オートパワーオフ中

ランプの点灯については、🔧2メニュー「インジケーター」の「ボディライト」で設定ができます。（p.102）

十字キーについて

本書では、十字キーを右のように表記します。

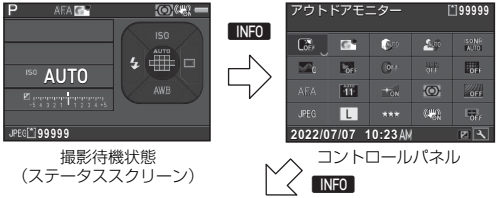


撮影情報の表示

画像モニター

撮影時

本機での撮影は、ファインダーをのぞいて撮影する方法と、画像モニターを見ながら撮影する方法があります。
ファインダーを使った撮影では、画像モニターのステータススクリーンとファインダー内の表示を確認しながら撮影します。（p.45）ファインダーを使わない場合は、画像モニターにライブビュー画像を表示しながら撮影します。（p.47）
ステータススクリーンやライブビュー画像などが表示されていて、すぐに撮影が可能な状態を「撮影待機状態」といいます。撮影待機状態で INFO を押すと「コントロールパネル」が表示され、設定が変更できます。（p.20）コントロールパネル表示中に INFO を押すと、撮影待機状態の表示情報を変更できます。（p.15）



撮影待機状態
（ステータススクリーン）

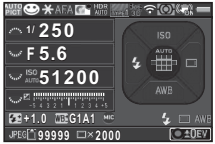
コントロールパネル

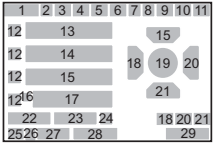
撮影情報表示選択

メモ

- ステータススクリーン／コントロールパネル／メニューカーソルの配色は、「初期設定」（p.42）で変更できます。

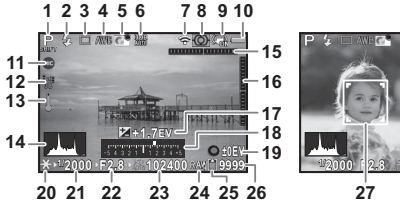
ステータススクリーン





1 撮影モード（p.50）
2 AEロック
3 フォーカスモード（p.61）
4 カスタムイメージ（p.75）
5 明瞭コントロール（p.80）／肌色補正（p.80）／デジタルフィルター（p.77）／HDR撮影（p.79）／Real Resolution（p.81）
6 ローパスセレクター（p.81）
7 GPS測位状態（p.118）
8 Wi-Fi™接続状態（p.95）
9 測光方式（p.58）
10 Shake Reduction／自動水平補正
11 バッテリー残量
12 電子ダイヤル操作ガイド
13 シャッター速度
14 絞り値
15 ISO感度（p.56）
16 露出補正（p.58）／ブラケット撮影（p.68）
17 露出バー
18 フラッシュモード（p.59）
19 測距点（p.62）
20 ドライブモード（p.65）
21 ホワイトバランス（p.72）
22 フラッシュ光量補正（p.59）
23 ホワイトバランス微調整（p.73）
24 マイク端子設定（p.55）
25 記録形式（p.49）
26 メモリーカード
27 撮影可能枚数／記録可能時間
28 多重露出／インターバル撮影撮影回数
29 操作ガイド

ライブビュー



1 撮影モード（p.50）
2 フラッシュモード（p.59）
3 ドライブモード（p.65）
4 ホワイトバランス（p.72）
5 カスタムイメージ（p.75）
6 明瞭コントロール（p.80）／肌色補正（p.80）／デジタルフィルター（p.77）／HDR撮影（p.79）／Real Resolution（p.81）
7 Wi-Fi™接続状態（p.95）
8 測光方式（p.58）
9 Shake Reduction／自動水平補正／Movie SR
10 バッテリー残量
11 マイク端子設定（p.55）
12 GPS測位状態（p.118）
13 温度警告
14 ヒストグラム
15 電子水準器（左右の傾き）（p.19）
16 電子水準器（前後の傾き）（p.19）
17 露出補正（p.58）
18 露出バー
19 操作ガイド／多重露出／インターバル撮影撮影回数
20 AEロック
21 シャッター速度
22 絞り値
23 ISO感度（p.56）
24 記録形式（p.49）
25 メモリーカード
26 撮影可能枚数／記録可能時間
27 AFエリア「顔検出」の顔検出枠（p.63）

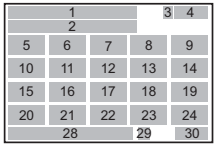
メモ

- 5／2メニュー「ライブビュー表示」で、ライブビューの表示の設定ができます。（p.26、p.29）

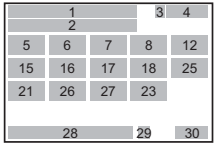
コントロールパネル

初期設定では、以下の機能が表示されます。

モード



モード



1 機能名称
2 設定
3 メモリーカード
4 撮影可能枚数／記録可能時間
5 アウトドアモニター（p.102）
6 カスタムイメージ（p.75）
7 ハイライト補正（p.78）
8 シャドー補正（p.78）
9 高感度NR（p.57）
10 明瞭コントロール（p.80）
11 肌色補正（p.80）
12 デジタルフィルター（p.77）
13 HDR撮影（p.79）
14 Real Resolution（p.81）
15 AFモード（p.62）
16 AFエリア（p.62、p.64）
17 AF補助投光（p.62）
18 測光方式（p.58）
19 ローパスセレクター（p.81）
20 記録形式（p.49）
21 JPEG記録サイズ（p.49）／動画記録サイズ（p.49）
22 JPEG画質（p.49）

23 Shake Reduction／Movie SR
24 自動水平補正
25 マイク端子設定（p.55）
26 フレームレート（p.49）
27 録音レベル（p.55）
28 現在の日時
29 目的地（p.105）
30 カスタマイズ操作ガイド（p.21）

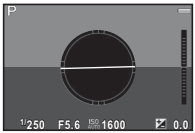
メモ

- コントロールパネルの使い方は、「コントロールパネルで設定する」（p.20）を参照してください。
- コントロールパネルに表示する機能は、カスタマイズができます。（p.21）

撮影情報表示選択

コントロールパネル表示中に INFO を押すと、撮影待機状態の表示情報を変更できます。◀▶で選択して OK を押します。

ファインダー撮影時

ステータススクリーン	ファインダー撮影時の設定を表示（p.13）
電子水準器	カメラの傾きを表示 中央に左右方向、右側に上下方向の傾きを表示。傾きがグラフの表示範囲を超えたときは、赤で表示  （例）左1.5°（黄） 上下傾きなし（緑）
画像モニターオフ	画像モニターを非表示
電子コンパス	現在地の緯度・経度・高度とカメラの向き（方位）、協定世界時、撮影モード、露出値を表示。電源を入れ直すと、ステータススクリーンに戻る 別売のGPSユニットを装着し、GPSユニットが動作しているときのみ選択可能（p.118）

ライブビュー撮影時

標準情報表示	画像とライブビュー撮影時の設定を表示（p.13）
電子水準器	ファインダー撮影時と同様の電子水準器を表示
情報表示なし	撮影モードやドライブモードなど、一部のアイコンを非表示

メモ

- 電源を入れ直すと、ステータススクリーンが表示されます。5メニュー「モードメモリ」の「撮影情報表示」をオンに設定すると、電源を入れ直したときに「撮影情報表示選択」で選択した画面から表示されます。（p.105）

再生時

再生モードの1画像表示では、撮影画像と撮影時の情報が表示されます。

INFO を押すと、1画像表示の表示情報を変更できます。◀▶で選択して OK を押します。

1画像表示
（標準情報表示）

INFO

再生情報表示選択

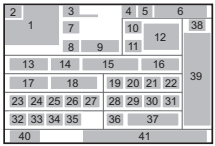
標準情報表示	画像・記録形式・露出値・操作ガイドを表示
詳細情報表示	撮影時の詳細情報を表示（p.17）
ヒストグラム表示	画像と輝度ヒストグラムを表示（p.18） 動画のときは選択不可
RGBヒストグラム表示	画像とRGBヒストグラムを表示（p.18） 動画のときは選択不可
情報表示なし	画像だけを表示

メモ

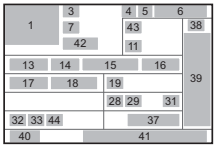
- 標準情報表示／ヒストグラム表示／情報表示なしのときに、白とび部分を赤で点滅表示することができます。▶1メニュー「画面表示」の「白とび警告」で設定します。
- 電源を入れ直して再生モードにすると、「再生情報表示選択」で選択した画面が表示されます。5メニュー「モードメモリ」の「再生情報表示」をオフに設定すると、電源を入れ直したときに「標準情報表示」から表示されます。（p.105）

詳細情報表示

静止画

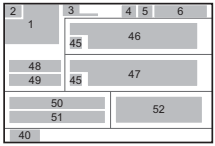


動画



▼ ⇩ ⇧ ▲

2ページ目

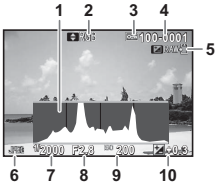


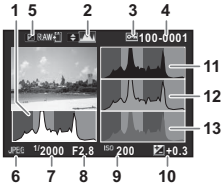
1 撮影画像
2 回転情報（p.86）
3 撮影モード（p.50）
4 Wi-Fi™ 接続状態（p.95）
5 プロテクト（p.106）
6 フォルダー No.-ファイルNo.（p.107）
7 ドライブモード（p.65）
8 フラッシュモード（p.59）
9 フラッシュ光量補正（p.59）
10 フォーカスモード（p.61）
11 測光方式（p.58）
12 測距点（p.62）
13 シャッター速度
14 絞り値
15 ISO感度（p.56）
16 露出補正（p.58）
17 ホワイトバランス（p.72）
18 ホワイトバランス微調整（p.73）
19 デジタルフィルター（p.77）
20 HDR撮影（p.79）／Real Resolution（p.81）
21 明瞭コントロール（p.80）
22 肌色補正（p.80）
23 ディストーション補正（p.80）
24 周辺光量補正（p.80）
25 倍率色収差補正（p.80）
26 回折補正（p.80）
27 フリンジ補正（p.93）
28 ハイライト補正（p.78）
29 シャドー補正（p.78）
30 ローパスセレクター（p.81）
31 Shake Reduction／自動水平補正／Movie SR
32 記録形式（p.49）
33 JPEG記録サイズ（p.49）／動画記録サイズ（p.49）
34 JPEG画質（p.49）
35 色空間（p.49）
36 色モアレ補正（p.89）
37 レンズ焦点距離
38 画像仕上（p.75）
39 カスタムイメージパラメーター
40 操作ガイド
41 撮影日時
42 記録時間
43 録音レベル（p.55）
44 フレームレート（p.49）
45 情報改ざん警告
46 撮影者名（p.109）
47 著作権者名（p.109）
48 高度
49 方位
50 緯度
51 経度
52 協定世界時

ヒストグラム表示

▲▼で輝度ヒストグラムとRGBヒストグラムが切り替えられます。

輝度ヒストグラム



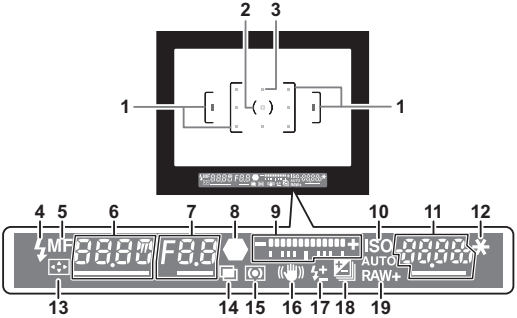


RGBヒストグラム

1 ヒストグラム（輝度）
2 RGBヒストグラム／輝度ヒストグラム切り替え
3 プロテクト
4 フォルダー No.-ファイルNo.
5 バッファ RAW保存可能
6 記録形式
7 シャッター速度
8 絞り値
9 ISO感度
10 露出補正
11 ヒストグラム（R）
12 ヒストグラム（G）
13 ヒストグラム（B）

ファインダー

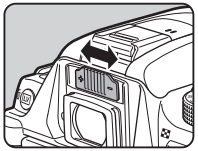
ファインダー撮影時は、ファインダー内に情報が表示されます。



1 AFフレーム（p.46）
2 スポット測光フレーム（p.58）
3 測距点（p.62）
4 フラッシュマーク（p.59）
5 フォーカスモード（p.61）
6 シャッター速度／**B** モードタイマー露光時の露光時間／ブラケット撮影時のブラケット枚数
7 絞り値／ブラケット撮影時のブラケット幅
8 合焦マーク（p.46）
9 露出バー／電子水準器（p.19）
10 ISO／ISO AUTO
11 ISO感度（p.56）／露出補正値
12 AEロック
13 測距点移動（p.62）
14 多重露出（p.70）
15 測光方式（p.58）
16 Shake Reduction
17 フラッシュ光量補正（p.59）
18 露出補正（p.58）／ブラケット撮影（p.68）
19 記録形式（p.49）

メモ

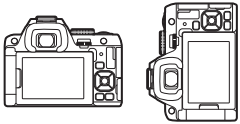
- ファインダー内の表示は、SHUTTER 半押し時と、測光作動時間（初期設定：10秒）の間に表示されます。
- SHUTTER を半押しにすると、オートフォーカスに使われた測距点が赤く点灯（スーパーインポーズ）します。5メニュー「ファインダー内表示」の「スーパーインポーズ」でオフに設定できます。（p.26）
- ファインダー内の見え方は、視度調整レバーで調節できます。視度調整レバーが操作しづらいときは、アイカップを引き上げて外してください。ファインダー内のAFフレームがはっきり見えるように調整します。



電子水準器

カメラの傾きを電子水準器表示で確認できます。ファインダー内に左右方向の電子水準器と、ライブビュー画面に前後・左右方向の電子水準器が表示できます。（p.13）
電子水準器を表示するかどうかは、5メニューのファインダー内表示／ライブビュー表示で設定します。（p.26）

ファインダー内表示の例



水平時（傾き0°）

左下がりに5°傾いているとき

縦位置に構えて右下がりに3°傾いているとき

メモ

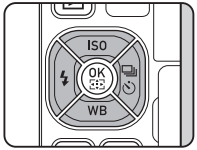
- 5メニュー「ボタンカスタマイズ」でFx1／Fx2に「電子水準器」を割り当てると、ボタンの操作で表示のオン／オフを切り替えることができます。（p.98）

機能の設定方法

ダイレクトキーで設定する

撮影待機状態で▲▼◀▶を押します。

▲	ISO感度	p.56
▼	ホワイトバランス	p.72
◀	フラッシュモード	p.59
▶	ドライブモード	p.65



コントロールパネルで設定する

撮影待機状態で INFO を押します。

メモ

- カメラの設定状況によって、選択できる項目が異なります。
- コントロールパネルは何も操作しないと、約1分後に撮影待機状態に戻ります。

コントロールパネルをカスタマイズする

コントロールパネルに表示する機能は、カスタマイズができます。
📷メニュー／🎥メニュー／🔧メニューの一部がコントロールパネルに登録できます。登録できる機能については、「メニュー一覧」（p.24）を参照してください。

1 撮影待機状態で INFO を押す
コントロールパネルが表示

2 ☑ を押す
カスタマイズ画面が表示

3 ▲▼◀▶ で変更するパネルを選択
●で登録内容リセット

4 OK を押す
機能がポップアップ表示

5 ▲▼で登録する機能を選択
「--」は未登録

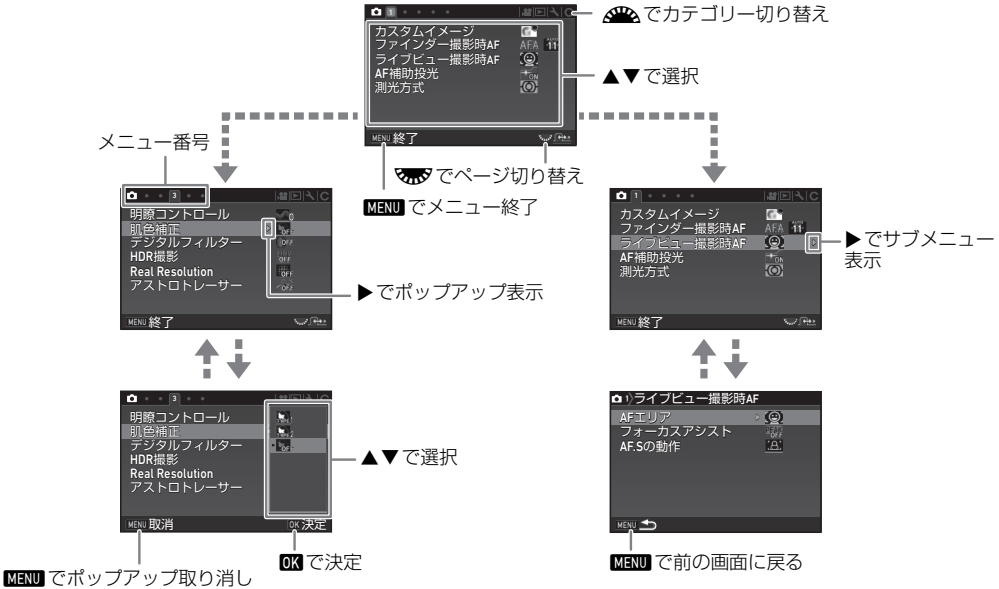
6 OK を押す
手順3の画面に戻る

7 ☑ を押す
コントロールパネルに戻る

8 MENU を押す
撮影待機状態に戻る

メニューで設定する

ほとんどの機能はメニューで設定します。



メモ

- **C**メニューは、サブメニューが表示されている状態で を操作すると、次の項目の設定画面に切り替えることができます。
- MENU を押すと、そのときの状態に応じたメニューの先頭ページが表示されます。直前に操作した画面から表示したいときは、**C**3メニュー「21 メニュー選択の記憶」で設定します。
- メニュー／ メニュー／ メニュー／ メニュー／ダイレクトキー／コントロールパネル／再生モードパレットで設定した値は、5メニュー「リセット」で初期設定に戻ります。**C**メニューは、**C**4メニュー「カスタムのリセット」で初期設定に戻ります。（一部の機能を除く）

メニュー一覧

撮影メニュー

メニュー	項目		機能	初期設定	参照
1	カスタムイメージ *1 *2		色味やコントラストなどの画像の仕上がり具合を設定	鮮やか	p.75
	シーンモード *1 *3		SCNモードのシーンを選択	人物	p.50
	ファインダー撮影時AF	AFモード *1	ファインダー撮影時のAFモードを選択	AF.A	p.62
		AFエリア *1	ファインダー撮影時のピント合わせの位置を選択	オート（11点）	p.62
		AF.Sの動作	AFモードAF.SでSHUTTERを全押ししたときの優先動作を設定	フォーカス優先	p.61
		AF.C 1コマ目の動作	AFモードAF.CでSHUTTERを全押ししたときの1コマ目の優先動作を設定	オート	p.61
		AF.C連続撮影中の動作	AFモードAF.Cで連続撮影中の優先動作を設定	オート	p.61
		AFホールド	合焦後に被写体が動いて見失ったときに、一定時間フォーカスを保持	弱	p.61
	ライブビュー撮影時AF	AFエリア *1	ライブビュー撮影時のピント合わせの位置を選択	顔検出	p.63
		フォーカスアシスト *1	ピントが合った部分の輪郭を強調	オフ	
		AF.Sの動作	SHUTTERを全押ししたときの優先動作を設定	フォーカス優先	
	AF補助投光 *1		暗い場所でオートフォーカスするときに補助光を発光	オン	p.62
	測光方式 *1		センサーのどの部分で明るさを測り、露出を決めるかを設定	分割	p.58
	露出モード *4		U1～U3モード時の露出モードを一時的に変更	–	p.104

メニュー	項目		機能	初期設定	参照
2	記録設定	記録形式 *1	ファイル形式を設定	JPEG	p.49
		JPEG記録サイズ *1	JPEGの記録サイズを設定	L	
		JPEG画質 *1	JPEGの画質を設定	★★★	
		RAWファイル形式	RAWのファイル形式を選択	PEF	
		色空間	使用する色空間を設定	sRGB	
	D-Range設定	ハイライト補正 *1	ダイナミックレンジを拡大し、白とびを防ぐ	オート	p.78
		シャドー補正 *1	ダイナミックレンジを拡大し、黒つぶれを防ぐ	オート	
	ノイズリダクション	長秒時NR *1	低速シャッター時のノイズリダクションを設定	オート	p.52
		高感度NR *1	高感度撮影時のノイズリダクションを設定	オート	p.57
3	明瞭コントロール *1		画像処理で明瞭感を変更	±0	p.80
	肌色補正 *1		画像処理で肌質感を向上	オフ	p.80
	デジタルフィルター *1		フィルター効果を指定して撮影	フィルターオフ	p.77
	HDR撮影 *1		ハイダイナミックレンジ撮影を設定	オフ／±2EV／オン	p.79
	Real Resolution *1		1画素ずつずらした4枚の画像を合成し、高精細な画像を取得	オフ	p.81
	アストロトレーサー *1		天体追尾撮影を設定	オフ	p.119
4	ローパスセレクター *1		Shake Reductionユニットを利用して、ローパスフィルター効果をかける	オフ	p.81
	Shake Reduction *1		手ぶれ補正機能を設定	オン	–
	自動水平補正 *1		モード時の左右の傾きを補正	オフ	–
	レンズ補正	ディストーション補正 *1	レンズ特性によって生じる歪曲収差を補正	オフ	p.80
		周辺光量補正 *1	レンズ特性によって生じる周辺光量低下を補正	オフ	
		倍率色収差補正 *1	レンズ特性によって生じる倍率色収差を補正	オン	
		回折補正 *1	絞りを絞り込んだときの回折ボケを補正	オン	
	焦点距離入力 *1		レンズ焦点距離の情報が取得できないレンズを使用している場合に設定	35mm	p.117

メニュー	項目		機能	初期設定	参照
5	ファインダー内表示	**電子水準器** *1	ファインダー内に電子水準器を表示	オフ	p.19
		スーパーインポーズ	選択された測距点をファインダー内に赤く点灯	オン	p.19
	ライブビュー表示	**グリッド表示** *1	ライブビューのグリッドの種類と色を設定	オフ／黒	p.13
		電子水準器 *1	ライブビューに電子水準器を表示	オン	
		ヒストグラム表示	ライブビューにヒストグラムを表示	オフ	
		白とび警告	ライブビューに白とび部分を赤で点滅表示	オフ	
		フリッカー低減	電源周波数を設定し、ライブビューのちらつきを低減	50Hz	
	クイックビュー表示	**表示時間**	クイックビューの表示時間を設定	1秒	p.46
		拡大表示	クイックビューで拡大表示	オン	
		RAW追加保存	クイックビューでRAW画像を追加保存	オン	
		消去	クイックビューで画像を消去	オン	
		ヒストグラム表示	クイックビューにヒストグラムを表示	オフ	
		白とび警告	クイックビューに白とび部分を赤で点滅表示	オフ	
	その他の表示	**ガイド表示**	撮影モードを変更したときに、ガイド表示を表示	オン	p.45
		配色	ステータススクリーン／コントロールパネル／メニューカーソルの配色を設定	1	p.44

メニュー	項目			機能	初期設定	参照
5	ボタンカスタマイズ	**Fx1ボタン**		Fx1の動作を設定	ワンタッチ RAW+	p.98
		Fx2ボタン		Fx2の動作を設定	Wi-Fi	
		AF/AE-Lボタン		AF/AE-Lの動作を設定	AF作動1	
		電子ダイヤル	**P**	露出モード別に ／ ／ の動作を設定	**Tv**／**Av**／➡**P**	p.101
			Sv		--／ISO／--	
			Tv		**Tv**／--／--	
			Av		--／**Av**／--	
			TAv		**Tv**／**Av**／**P**LINE	
			M		**Tv**／**Av**／**P**LINE	
			回転方向設定	／ を操作したときの値の変化	順方向	

メニュー	項目		機能	初期設定	参照
5	モードメモリ	ISO感度	電源を切ったときに設定を記憶する項目を選択	オン	p.105
		露出補正		オン	
		フラッシュモード		オン	
		フラッシュ光量補正		オン	
		ドライブモード		オン	
		ホワイトバランス		オン	
		カスタムイメージ		オン	
		明瞭コントロール		オフ	
		肌色補正		オフ	
		デジタルフィルター		オフ	
		HDR撮影		オフ	
		Real Resolution		オフ	
		撮影情報表示		オフ	
		再生情報表示		オン	
		アウトドアモニター		オフ	
		赤色画面表示		オフ	
	USER モード登録	設定登録	よく使用する撮影設定をモードダイヤル**U1**～**U3**に登録	CLEAR TONE／HDR LANDSCAPE／ASTROPHOTO	p.103
		名称登録	ガイド表示に表示される名称を登録	CLEAR TONE／HDR LANDSCAPE／ASTROPHOTO	
		登録済み内容確認	登録されている設定内容を表示	–	
		USERモードリセット	設定内容をリセット		

*1 コントロールパネル登録可
*2 **SCN**モード以外のときに表示
*3 **SCN**モードのときに表示
*4 **U1**～**U3**モードのときのみ表示

動画メニュー

メニュー	項目		機能	初期設定	参照
🎥1	**カスタムイメージ** *1		色味やコントラストなどの画像の仕上がり具合を設定	鮮やか	p.75
	ライブビュー撮影時AF	**AFモード**	動画撮影時のAFモードを選択	**AF.S**	p.63
		AFエリア *1	動画撮影時のピント合わせの位置を選択	多点オート	
		フォーカスアシスト *1	ピントが合った部分の輪郭を強調	オフ	
	AF補助投光 *1		暗い場所でオートフォーカスするときに補助光を発光	オン	p.62
	測光方式 *1		センサーのどの部分で明るさを測り、露出を決めるのかを設定	分割	p.58
	記録設定	**記録サイズ** *1	記録サイズを設定	Full HD	p.49
		フレームレート *1	フレームレートを設定	30p	
	録音レベル *1		記録時の録音レベルを設定	オート	p.55
🎥2	**D-Range設定**	**ハイライト補正** *1	ダイナミックレンジを拡大し、白とびを防ぐ	オート	p.78
		シャドー補正 *1	ダイナミックレンジを拡大し、黒つぶれを防ぐ	オート	
	デジタルフィルター *1		フィルター効果を指定して撮影	フィルターオフ	p.77
	Movie SR *1		手ぶれ補正機能を設定	オン	–
	ライブビュー表示	**グリッド表示** *1	ライブビューのグリッドの種類と色を設定	オフ／黒	p.13
		電子水準器 *1	ライブビューに電子水準器を表示	オン	
		ヒストグラム表示	ライブビューにヒストグラムを表示	オフ	
		白とび警告	ライブビューに白とび部分を赤で点滅表示	オフ	
		フリッカー低減	電源周波数を設定し、ライブビューのちらつきを低減	50Hz	

メニュー	項目			機能	初期設定	参照
2	ボタンカスタマイズ	**AF/AE-Lボタン**		AF/AE-L の動作を設定	AF作動1	p.98
		電子ダイヤル	P	露出モード別に ／ ／ の動作を設定	--／--／--	p.101
			Av		--／**Av**／**P**LINE	
			TAv		**Tv**／**Av**／**P**LINE	
			M		**Tv**／**Av**／**P**LINE	
			回転方向設定	／ を操作したときの値の変化	順方向	

*1　コントロールパネル登録可

再生メニュー

メニュー	項目		機能	初期設定	参照
1	**スライドショウ**	**表示間隔**	画像切り替えの間隔を設定	3秒	p.86
		画面効果	画像切り替え時の効果を選択	オフ	
		繰返し再生	最後の画像の再生後に最初から再生を繰り返す	オフ	
		動画自動再生	スライドショウ中に動画も再生	オン	
	全画像プロテクト		保存されているすべての画像をプロテクト	–	p.106
	全画像消去		保存されているすべての画像を消去	–	–
	クイック拡大		拡大表示での最初の拡大率を設定	オフ	p.48
	再生音量		動画再生時の音量を設定	10	p.56
	画面表示	**画像の自動回転**	縦位置で撮影した画像や回転情報を変更した画像を再生時に回転して表示	オン	p.86
		グリッド表示	グリッドの種類と色を設定	オフ／黒	p.48
		白とび警告	再生モードの標準情報表示／ヒストグラム表示／情報表示なしで白とび部分を赤で点滅表示	オフ	p.16

詳細設定メニュー

メニュー	項目		機能	初期設定	参照
🔧1	**Language/言語**		表示言語の切り替え	English	p.42
	日時設定		年月日の表示形式と日時を設定	2022/01/01	p.43
	ワールドタイム		現在地と指定した都市の日時を切り替えて表示	現在地	p.105
	文字サイズ		メニュー選択時の文字サイズを拡大	標準	p.43
	電子音	**音量**	電子音の音量を設定	3	–
		合焦音	合焦時の電子音	オン	p.46
		AE-L	AF/AE-L でAEロックしたときの電子音	オン	p.53
		セルフタイマー	セルフタイマー撮影でのカウントダウン時の電子音	オン	p.67
		リモコン	リモコン撮影でのカウントダウン時の電子音	オン	p.67
		ミラーアップ	ミラーアップ撮影時の電子音	オン	p.69
		測距点移動	▲▼◀▶の動作を測距点移動モードに切り替えたときの電子音	オン	p.63
		ワンタッチRAW+	Fx1／Fx2でRAW+撮影に切り替えたときの電子音	オン	p.99
		Wi-Fi	Fx1／Fx2でWi-Fi™機能のオン／オフを切り替えたときの電子音	オン	p.96
		赤色画面表示	Fx1／Fx2で赤色画面表示のオン／オフを切り替えたときの電子音	オン	p.120
		電子水準器	Fx1／Fx2で電子水準器表示のオン／オフを切り替えたときの電子音	オン	p.19

メニュー	項目		機能	初期設定	参照
🔧2	**LCD設定**		画像モニターの明るさ／彩度／色調整を設定	0	p.102
	アウトドアモニター		屋外での画像モニターの明るさを調整	オフ	p.102
	赤色画面表示 *1		夜間などの暗い場所での撮影時に、画像モニターを赤く表示	オフ	p.120
	インジケーター	**ボディライト**	電源ON時の電源レバーの点灯	明るい	p.102
		セルフタイマー	ドライブモード「セルフタイマー（12秒）」のカウントダウン時の点滅	オン	
		リモコン	ドライブモード「リモコン」の撮影待機中の点滅	オン	
		GPSユニットのランプ	GPSユニット装着時のランプの点灯	オン	
🔧3	**Wi-Fi** *1		Wi-Fi™機能の動作を設定	オフ	p.96
	GPS/電子コンパス	**自動時刻修正**	日時設定を自動的に補正	オン	p.118
		キャリブレーション	方位情報のキャリブレーションを実行	–	
	USB接続		パソコンと接続するときの転送モードを設定	MSC	p.94
	HDMI出力		AV機器とHDMI端子で接続するときに設定	オート	p.87
	マイク端子設定 *1		マイク／ケーブルスイッチ兼用端子に接続する機器を設定	自動選択	p.55
	オートパワーオフ		一定時間操作しなかったときに、自動的に電源が切れるまでの時間を設定	1分	p.42
🔧4	**フォルダー新規作成**		メモリーカードに新しいフォルダーを作成	–	p.107
	フォルダー名		画像が保存されるフォルダー名を設定	日付	p.107
	ファイル名		画像に付与されるファイル名を設定	IMGP／_IMG	p.108
	ファイルNo.	**連番設定**	フォルダーが新しくなったときに画像のファイル番号を継続	オン	p.109
		ファイルNo.リセット	ファイル番号をリセットし、0001から開始	–	
	著作権情報		Exifに書き込む撮影者と著作権者の情報を設定	オフ	p.109
	フォーマット		メモリーカードをフォーマット	–	p.44

メニュー	項目	機能	初期設定	参照
🔧5	**ピクセルマッピング**	センサーの画素の欠損部分を補完	–	p.122
	ダストリムーバル	センサーを振動させてクリーニング	オフ／オフ	p.121
	センサークリーニング	センサーをブロアーでクリーニングするために、ミラーアップ	–	p.122
	認証マーク	無線LANの認証マークを表示	–	p.139
	バージョン情報	カメラのファームウェアのバージョンを表示	–	–
	リセット	📷メニュー／🎥メニュー／▶メニュー／🔧メニュー／ダイレクトキー／コントロールパネル／再生モードパレットの設定内容をリセット	–	–

*1　コントロールパネル登録可

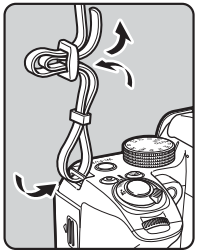
カスタムメニュー

メニュー	項目	機能	初期設定	参照
C1	**1 露出設定ステップ**	露出設定の調整ステップを設定	1/3 EVステップ	p.52
	2 ISO感度ステップ	ISO感度の調整ステップを設定	1 EVステップ	p.56
	3 測光作動時間	測光タイマーの作動時間を設定	10秒	–
	4 連動外の自動補正	適正露出が得られないときに自動補正	オフ	–
	5 測距点と露出の関連付	AFエリア内の測距点と露出値の関連付けを設定	オフ	p.58
	6 AFロック時のAE-L	フォーカスロック時のAEロックを設定	オフ	–
	7 B時の撮影方法	**B**モードの SHUTTER の動作を設定	Type1	p.53
C2	**8 充電中のレリーズ**	フラッシュ充電中の撮影可否を設定	オフ	p.60
	9 リモコン時のAF	リモコン撮影時のオートフォーカス動作を設定	オフ	p.68
	10 ブラケット撮影順	ブラケット撮影時の撮影順を設定	0 - +	p.69
	11 ワンプッシュブラケット	ブラケット撮影時に1回のレリーズで全コマ撮影	オフ	p.69
	12 インターバル撮影の動作	インターバル撮影／インターバル合成／インターバル動画のときの撮影間隔を、露光開始時からカウントするか露光終了時からカウントするか設定	撮影間隔	p.72
	13 インターバル撮影中のAF	インターバル撮影／インターバル合成／インターバル動画／スタートストリームのときに、1回目でフォーカス位置を固定するか撮影ごとにオートフォーカスを作動させるかを設定	フォーカスロックする	p.72
	14 WBの光源調整範囲	ホワイトバランスで光源を指定した場合に、自動で微調整を行うかどうかを設定	固定	p.73

メニュー	項目	機能	初期設定	参照
C3	**15 白熱灯下のオートWB**	ホワイトバランス「オートWB」のときの白熱灯の色味を設定	強	p.73
	16 フラッシュ発光時のWB	フラッシュ発光時のホワイトバランスを設定	オートWB	p.73
	17 色温度ステップ	ホワイトバランス「色温度」の調整ステップを設定	ケルビン	p.75
	18 十字キーの機能	AFエリア「セレクト」のときの▲▼◀▶の動作を選択	Type1	p.63
	19 SRの自動オフ	ドライブモードがセルフタイマー／リモコンのときに、Shake Reductionを自動的にオフに設定	自動オフする	p.66
	20 回転情報の記録	回転情報を記録	オン	p.86
	21 メニュー選択の記憶	直前に操作したメニューを記憶、次に MENU を押したときに記憶したメニューを表示	記憶しない	p.23
C4	**22 キャッチインフォーカス**	マニュアルフォーカスレンズ使用時に、ピントが合うと自動的にシャッターをきる「キャッチインフォーカス撮影」を行う	オフ	p.116
	23 AF微調整	オートフォーカスのピント位置を微調整	オフ	p.65
	24 絞りリングの使用	レンズの絞りリングが**A**位置以外のときも撮影可能に設定	禁止	p.115
	カスタムのリセット	**C**メニューの設定内容をリセット	–	–

ストラップの取り付け

1 ストラップの先端をカメラの吊り環に通し、留め具の内側に固定する



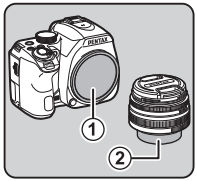
2 もう一方も同様に取り付ける

レンズの取り付け

1 カメラの電源がOFFになっていることを確認

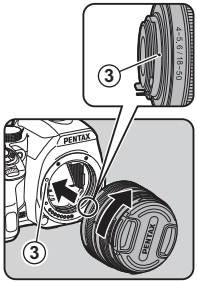
2 ボディマウントカバー（①）とレンズマウントカバー（②）を外す

カバーを外したレンズは、カメラに取り付ける面を上にして置く

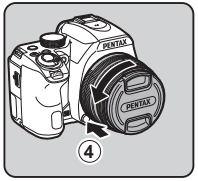


3 カメラとレンズのマウント指標（赤点／③）を合わせて差し込み、レンズを右に回す

「カチッ」と音がするまで回す



取り外すとき
レンズキャップを取り付ける
→レンズ取り外しボタン（④）を押しながらレンズを左へ回す



注意

- レンズの取り付け／取り外しは、ゴミやほこりの少ない場所で行ってください。
- カメラ本体にレンズを取り付けていないときは、必ずボディマウントカバーを装着してください。
- 取り外したレンズには、必ずレンズマウントカバーとレンズキャップを取り付けてください。
- カメラのマウント内に指を入れたり、ミラーを触ったりしないでください。
- カメラやレンズのマウント部分には、レンズ情報接点があります。この部分にゴミや汚れが付いたり腐食が生じると、電気系統のトラブルの原因になる場合があります。もし汚れたときは、弊社修理センターにご相談ください。
- 沈胴式レンズを装着している場合は、レンズが収納された状態では撮影や一部の機能の設定ができません。また、カメラが動作中にレンズを収納すると、処理が中断されます。沈胴式レンズの操作については、「沈胴式レンズの使い方」（p.46）を参照してください。
- 本製品に他社製レンズを使用されたことによる事故、故障、不具合などにつきましては保証いたしかねます。

メモ

- 各レンズの機能は、「各種レンズ使用時の機能」（p.113）を参照してください。

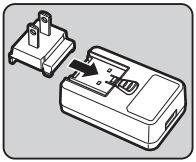
バッテリーのセット

本機専用のバッテリーD-LI109とバッテリー充電器D-BC186を使用します。

バッテリーを充電する

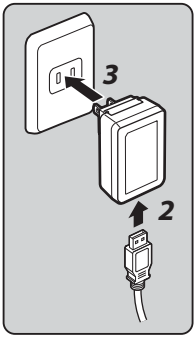
1 電源プラグを USB 電源アダプターに取り付ける

「カチッ」と音がするまで取り付ける



2 USB 電源アダプターに USB ケーブルを接続

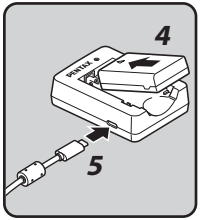
3 コンセントに USB 電源アダプターを差し込む



4 バッテリーと充電器の＋／－を合わせてセット

5 USB端子にUSBケーブルを接続する

充電中はインジケーターランプ点灯
ランプが消灯したら充電完了



注意

- バッテリー充電器D-BC186では、D-LI109以外は充電しないでください。充電器の破損や発熱の原因になります。
- 次の場合は、新しいバッテリーと交換してください。
  - バッテリー充電器に正しくセットしてもインジケーターランプが点滅する、または点灯しない
  - 正しく充電しても使用できる時間が短い（バッテリーの寿命）

メモ

- 充電時間は、最大で約2時間30分です（周囲の温度や充電状態によって異なります）。周囲の温度が0～40°Cの環境で充電してください。

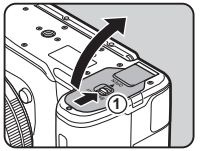
バッテリーを入れる

注意

- バッテリーは正しく入れてください。間違った向きに入れると、取り出せなくなる場合があります。
- バッテリーの電極は、乾いた柔らかい布でよく拭いてから入れてください。
- 電源が入っているときは、バッテリーカバーを開けたり、バッテリーを取り出したりしないでください。
- カメラを長時間連続で使用した場合、本体やバッテリーが熱くなっていることがありますので、注意してください。
- 長い間使わないときは、カメラからバッテリーを取り出しておいてください。長期間入れたままにしておくと、バッテリーが液漏れを起こすことがあります。また、取り出したバッテリーを半年以上使用しない場合は、30分程度充電してから保管してください。その後も半年から1年ごとに再充電してください。
- バッテリーは、高温になる場所を避け、室温以下を保持できる場所に保管してください。
- 長期間バッテリーをセットしていないと、日時がリセットされることがあります。その場合は、再度設定してください。（p.42）

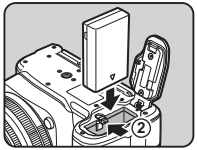
1 バッテリーカバーを開ける

バッテリーカバー開放レバー（①）をスライドさせて開ける

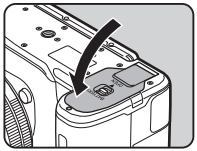


2 バッテリーの▲マークをカメラの外側に向け、ロックするまで挿入

取り出すときは、バッテリーロックレバーを②の方向に押す



3 バッテリーカバーを閉める



メモ

- 低温下や連続撮影を続けた場合、バッテリー残量が正しく表示されないことがあります。
- 使用環境の温度が下がると、バッテリーの性能が低下します。寒冷地で使用する場合は、予備のバッテリーを用意し、衣服の中で保温するなどして使用してください。低温で低下したバッテリーの性能は、常温の環境で元に戻ります。
- 海外旅行や寒冷地で撮影する場合や大量に撮影する場合は、予備のバッテリーをご用意ください。

リサイクルについて

このマークは小型充電式電池のリサイクルマークです。
ご使用済みの小型充電式電池を廃棄するときは、端子部に絶縁テープを貼って、小型充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

ACアダプターを使用する

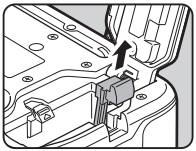
画像モニターを長時間使用するときや、パソコンやAV機器と接続するときは、別売のACアダプターキット K-AC168Jのご使用をお勧めします。

1 カメラの電源がOFFになっていることを確認

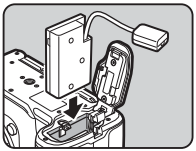
2 バッテリーカバーを開ける

バッテリーがセットされていたときは取り出す

3 バッテリー室右側の接続ケーブルカバーを引き出す

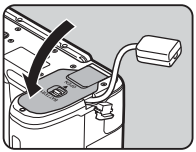


4 バッテリー室にDCカプラーを挿入

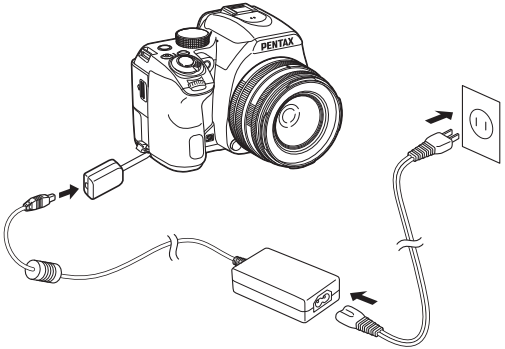


5 バッテリーカバーを閉める

接続ケーブルカバー部分からケーブルを引き出す



6 DCカプラーとACアダプターを接続



7 ACアダプターをACコードに接続し、コンセントに差し込む

注意

- AC アダプターを接続または外すときは、必ずカメラの電源をOFFにしてください。
- 各端子はしっかりと接続してください。メモリーカードにアクセス中に接続部が外れると、メモリーカードやデータが破損するおそれがあります。
- DC カプラーを取り出したら、接続ケーブルカバーを元に戻してください。
- ACアダプターを使用するときは、ACアダプターキットの使用説明書を併せて参照してください。

メモリーカードのセット

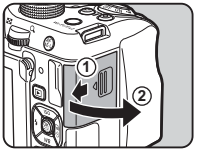
本機では、以下のメモリーカードが使用できます。

- SDメモリーカード
- SDHCメモリーカード
- SDXCメモリーカード

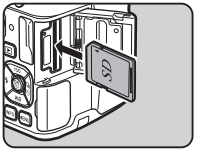
本書では、これらを「メモリーカード」と表記します。

1 カメラの電源がOFFになっていることを確認

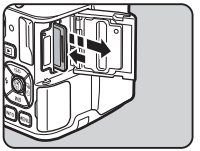
2 メモリーカードカバーを①の方向にスライド



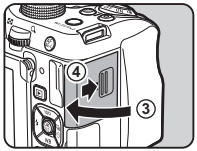
3 メモリーカードのラベル面を画像モニター側に向けてメモリーカードスロットの奥まで挿入



取り出すときは、メモリーカードをさらに押し込む



4 メモリーカードカバーを閉じ、④の方向にスライド



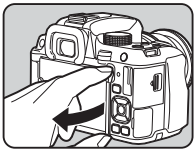
注意

- カードアクセスランプ（オレンジ）点灯中は、絶対にメモリーカードを取り出さないでください。
- 電源が入っているときにメモリーカードカバーを開けると、電源が切れます。使用中はカバーを開けないでください。
- 未使用または他の機器で使用したメモリーカードは、必ず本機でフォーマット（初期化）してから使用してください。（p.44）
- 動画を撮影する場合は、高速のメモリーカードを使用してください。書き込みが間に合わなくなると、撮影の途中で終了する場合があります。

画像モニターの開き方

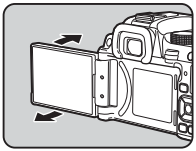
ここでは液晶面が内側の状態から開く手順を説明します。

1 画像モニターの上下を持ち、横に180°開く

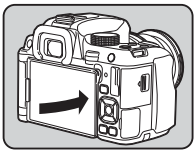


2 画像モニターを向こう側に180°回転させる

手前側は90°まで回転可能



3 画像モニターを本体側に閉じる



注意

- 液晶面が内側になっていると、再生とメニュー操作はできません。（HDMI接続時を除く）
- 画像モニター部分を持ってカメラを持ち上げたり、可動範囲を超えて回転させないでください。
- 画像モニターを横に開いたまま持ち運んだり、かばんなどに入れたりしないでください。液晶面を表側にして閉じた状態で持ち運んでも問題ありません。

メモ

- 液晶面が表側の状態から内側に閉じる場合は、手順2で手前側に180°回転させます。
- 画像モニターの向きと角度によって、表示が回転します。

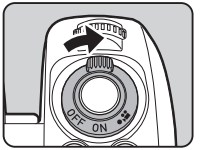
初期設定

電源を入れて初期設定をします。

電源を入れる

1 電源レバーを「ON」に合わせる

ランプが緑で点灯
初めて電源を入れたときは、「Language/言語」画面が表示



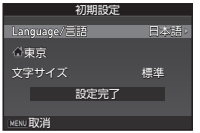
メモ

- 一定時間操作をしないと、自動的に電源が切れます。（初期設定：1分）3メニュー「オートパワーオフ」で変更できます。（p.32）

言語を設定する

1 ▲▼◀▶で言語を選択して OK を押す

選択した言語で「初期設定」画面が表示
⌂に都市名が正しく設定されているときは、手順6へ



2 ▼で選択枠を⌂に移動し、▶を押す

「⌂現在地」画面が表示

3 **◀▶で都市を選択**

で地図表示切り替え

指定できる都市は、「都市名一覧」（p.131）参照

4 **▼で「夏時間」を選択、◀▶で□／☑を設定**

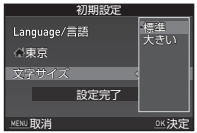
5 **OK を押す**

「初期設定」画面に戻る

6 **▼で「文字サイズ」を選択、▶を押す**

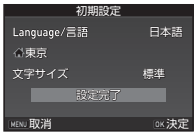
7 **▲▼で標準／大きいを選択、OK を押す**

「大きい」に設定すると、選択中のメニュー項目が大きく表示



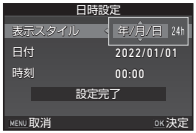
8 **▼で「設定完了」を選択、OK を押す**

「日時設定」画面が表示



日時を設定する

1 **▶を押し、▲▼で日付の表示スタイルを選択**



2 **▶を押し、▲▼で24h／12hを選択**

3 **OK を押す**

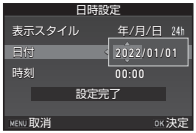
選択枠が「表示スタイル」に戻る

4 **▼を押してから▶を押す**

選択枠が西暦年に移動

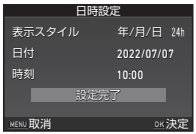
5 **▲▼で西暦年を設定**

同様に月／日と時刻を設定



6 **▼で「設定完了」を選択、OK を押す**

「画面表示」画面が表示



画面表示を設定する

1 ◀▶で配色を選択

1～12の中から、ステータススクリーン／コントロールパネル／メニューカーソルの色を選択

2 OK を押す

撮影モードになり、撮影できる状態になる

メモ

- 設定した言語／文字サイズ／日時は🔧1メニュー、配色は📷5メニュー「その他の表示」で変更できます。（p.26、p.31）

メモリーカードをフォーマットする 🔧4

1 MENU を押す

📷1メニューが表示

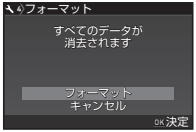
2 ◀◀／▶▶で🔧4メニューを表示

3 ▲▼で「フォーマット」を選択、▶を押す

「フォーマット」画面が表示

4 ▲で「フォーマット」を選択、OK を押す

フォーマット開始→🔧4メニューに戻る



5 MENU を押す

注意

- フォーマット中は、絶対にメモリーカードを取り出さないでください。カードが破損することがあります。
- フォーマットを行うと、プロテクトされていた画像も含めて全データが消去されます。

メモ

- フォーマットを行うと、メモリーカードに「KF」というボリュームラベルが付きます。本機をパソコンに接続したときは、「KF」という名称のリムーバブルディスクとして認識されます。

撮影のキホン

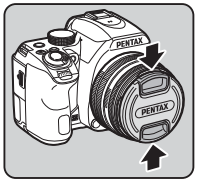
最適な撮影モードが自動で選択される **AUTO** モードで撮影してみましょう。

ファインダーを使って撮影する

1 図の矢印部分を押してレンズキャップを外す

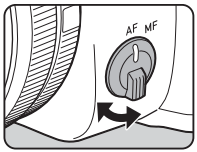
沈胴式レンズ装着時は、レンズを繰り出す

☞ 沈胴式レンズの使い方（p.46）

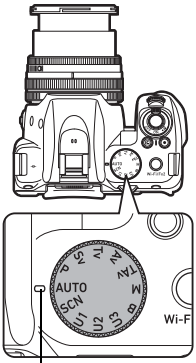


2 電源を入れる

3 フォーカスモード切替レバーを **AF** に合わせる



4 モードダイヤルを回してダイヤル指標に **AUTO** を合わせる



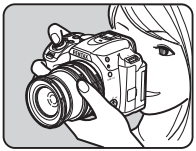
ダイヤル指標

画像モニターに撮影モードが表示（ガイド表示）

☞ ガイド表示の設定（p.26）

5 ファインダーをのぞいて被写体を確認

ズームレンズ使用時は、ズームリングを回して画角を調整



6 AFフレーム内に被写体を入れて SHUTTER 半押し

ピントが合うと、ファインダー内の ● が点灯し「ピピッ」と電子音

合焦マーク

7 SHUTTER 全押し

撮影画像が画像モニターに表示（クイックビュー）

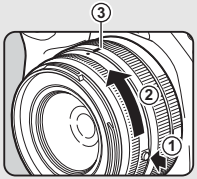
クイックビュー中のボタン・ダイヤル操作

🗑	消去
右	拡大表示
☑	RAW画像を追加保存（保存可能時のみ）

メモ

- AF/AE-L でピントを合わせることもできます。（p.61）
- 電子音の音量と音を鳴らすかどうかは、🔧1メニュー「電子音」で設定できます。（p.31）
- クイックビューの画面表示と動作については、📷5メニュー「クイックビュー表示」で設定できます。（p.26）「表示時間」を「HOLD」に設定すると、次の操作を行うまでクイックビューが表示されます。

沈胴式レンズの使い方

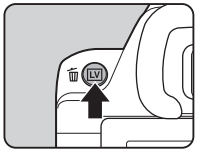


smc PENTAX-DA L 18-50mm F4-5.6 DC WR REなどの沈胴式レンズを装着している場合は、レンズを収納した状態で電源を入れるとメッセージが表示されます。ズームリング上のボタン（①）を押しながら②の方向に回してレンズを繰り出します。レンズを収納するときは、ボタンを押しながら②の逆方向に回し、白い点を③の位置に合わせます。

ライブビュー画像を見ながら撮影する

1 「ファインダーを使って撮影する」（p.45）の手順5で、LV を押す

画像モニターにライブビュー画像が表示



2 画像モニターの AF フレーム内に被写体を入れて SHUTTER 半押し

ピントが合うと、AF フレームが緑になり「ピピッ」と電子音

AFフレーム

ボタン・ダイヤル操作

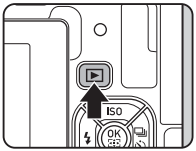
OK	拡大表示 で倍率変更（最大16倍） ▲▼◀▶で拡大位置移動 ●で中央に戻る OK で等倍に戻る
LV	ライブビュー終了

以降の操作は、ファインダー撮影と同様

画像の確認

撮影した画像を順に確認してみましょう。

1 ▶ を押す



再生モードになり、最新画像が表示（1画像表示）

2 画像を確認

ボタン・ダイヤル操作

◀／左	前の画像を表示
▶／右	次の画像を表示
🗑	消去
右	拡大表示（最大16倍） ▲▼◀▶で拡大位置移動 ●で中央に戻る OKで全体表示に戻る
左	分割表示（p.84）
⊡	RAW画像を追加保存（保存可能時のみ）
INFO	表示情報切り替え（p.16）
▼	再生モードパレット表示（p.83）

メモ

- 右で拡大表示したときの拡大率は、画面右下に表示されます。▶1メニュー「クイック拡大」で、最初の拡大率が設定できます。（p.30）
- 画像モニターに⊡RAW⇡が表示されているときは、直前に撮影したJPEG画像をRAW形式で追加保存ができます。（バッファ RAW保存）
- 1画像表示のときに、グリッドを表示することができます。▶1メニュー「画面表示」の「グリッド表示」で設定します。（p.30）

記録方法を設定する

静止画の記録設定 2

静止画の記録形式は、2メニュー「記録設定」で設定します。

記録形式	JPEG／RAW／RAW+
JPEG記録サイズ	L／M／S／XS
JPEG画質	★★★／★★／★
RAWファイル形式	PEF／DNG
色空間	sRGB／AdobeRGB

メモ

- 「記録形式」を「RAW+」に設定すると、ファイルNo.が同一のJPEG画像とRAW画像が同時に記録されます。
- Fx1 ／ Fx2 を押したときだけ記録形式を変更して撮影することもできます。（p.99）
- 「RAW ファイル形式」の「PEF」は、PENTAX 独自の RAW ファイルフォーマットです。

動画の記録設定 1

動画の記録形式は、1メニュー「記録設定」で設定します。

記録サイズ	フレームレート
Full HD	60i／50i／30p／25p／24p
HD	60p／50p

静止画を撮影する

被写体や状況によって撮影モードを選択します。
本機では以下の撮影モードがあります。

撮影モード	機能	参照
AUTO オートピクチャーモード	（標準）／（人物）／（風景）／（マクロ）／（動体）／（夜景人物）／（夕景）／（青空）／（フォレスト）から最適な撮影モードをカメラが自動選択	p.45
SCN シーンモード	さまざまな撮影シーンから目的に合った撮影モードを選択	p.50
P／**Sv**／**Tv**／**Av**／**TAv**／**M**／**B** 露出モード	シャッター速度／絞り値／ISO感度を設定して撮影	p.51
U1 CLEAR TONE	クリアで明るい雰囲気に仕上げる設定	–
U2 HDR LANDSCAPE	風景写真をドラマチックな印象に仕上げる設定	
U3 ASTROPHOTO	背景の黒浮きを抑えて星の色を美しく再現する設定	

メモ

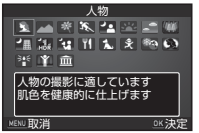
- 撮影モードによって設定できる機能に制限があります。「撮影モードの機能制限」（p.110）を参照してください。
- **U1**～**U3**には、よく使う露出モードと撮影設定をまとめて登録することができます。（p.103）

シーンモード

1 **モードダイヤルをSCNに合わせる**

シーンモード選択画面が表示

2 **シーンを選択**



人物	肌色を健康的に仕上げる
風景	木々の緑を鮮やかに仕上げる
マクロ	花などに近づいて撮影
動体	動きがある被写体を撮影
夜景人物	夜景を背景に人物を撮影
夕景	朝焼けや夕焼けを撮影
青空	深い青で青空を撮影
フォレスト	木漏れ日や木々の緑を鮮やかに表現
夜景	夜景を撮影
夜景HDR	±1の露出が異なる3枚の画像を合成して仕上げる
ナイトスナップ	暗いところでのスナップ撮影

料理	彩度を高めにして料理などを撮影
ペット	動き回るペットなどを撮影
キッズ	動きの多い子供の肌色を健康的に撮影
サーフ&スノー	砂浜や雪山など背景が明るい場所で撮影
逆光シルエット	逆光で被写体がシルエットになるように仕上げる
キャンドルライト	ろうそくの明かりを生かして撮影
ステージライト	暗いところで動きのある被写体を撮影
美術館	フラッシュが使用できない場所での撮影

3 OK を押す

撮影待機状態

シーンを変更するときは を回す

メモ

- シーンは、1メニューで変更することもできます。

露出モード

○：設定可　△：条件付きで可　×：設定不可

モード	シャッター速度変更	絞り値変更	ISO感度変更	露出補正
P プログラム自動露出	△ *1	△ *1	○	○
Sv 感度優先自動露出	×	×	○ *2	○
Tv シャッター優先自動露出	○	×	○	○
Av 絞り優先自動露出	×	○	○	○
TAv シャッター&絞り優先自動露出	○	○	× *3	○
M マニュアル露出	○	○	○ *2	○
B バルブ露出	× *4	○	○ *2	×

*1　5 メニュー「ボタンカスタマイズ」の「電子ダイヤル」で変更する値を指定可能（p.101）

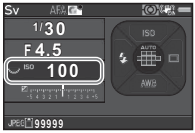
*2　ISO AUTO選択不可

*3　ISO AUTO固定

*4　タイマー露光では、10秒～20分のシャッター速度が設定可能

1 モードダイヤルを設定する露出モードに合わせる

ステータススクリーンには、変更可能な値に ／ が表示



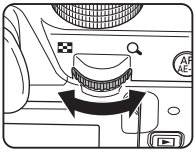
ファインダー内には、変更可能な値にアンダーラインが表示

ライブビュー撮影では、変更可能な値に▶が表示

2 を回す

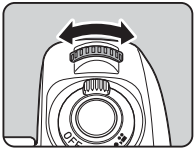
Av ／ **TAv** ／ **M** ／ **B** モードの絞り値が変更

Sv モードはISO感度が変更



3 を回す

Tv ／ **TAv** ／ **M** モードのシャッター速度が変更



メモ

- 露出の設定は、1/3 EVステップで指定できます。**C**1メニュー「1 露出設定ステップ」で1/2 EVステップに変更できます。
- **M**モードでは、露出の調整中に適正露出との差がバーグラフで表示されます。
- ／ と ○ を操作したときにどのように動作するかを、露出モードごとに設定できます。（**B**モード以外）5メニュー「ボタンカスタマイズ」の「電子ダイヤル」で設定します。（p.101）

注意

- ISO感度を固定値で設定すると、設定したシャッター速度／絞り値で適正露出が得られない場合があります。

長秒時のノイズリダクション

低速のシャッター速度で撮影するときは、2メニュー「ノイズリダクション」の「長秒時NR」で、ノイズ軽減処理の設定ができます。

オート	シャッター速度・ISO感度・カメラ内部温度を判断してノイズリダクションを行う
オン	シャッター速度が1秒以上のときにノイズリダクションを行う
オフ	ノイズリダクションを行わない

被写界深度を確認する（プレビュー）

5メニュー「ボタンカスタマイズ」で Fx1 ／ Fx2 に「プレビュー」を割り当てると、撮影前に被写界深度の確認ができます。（p.98）

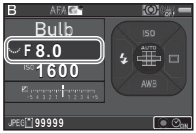
露出を記憶する

撮影前の露出を記憶させるときは、「AEロック」を利用します。5／2メニュー「ボタンカスタマイズ」で、AF/AE-Lに「AEロック」を割り当てることで使用できます。（p.98）

バルブ撮影

1 モードダイヤルをBに合わせる

2 で絞り値を設定する



3 タイマー露光を設定するときは を押し、 で時間を設定する

10”～20'00”で設定

4 SHUTTER を押す

SHUTTER を押している間、露光される

手順3でタイマー露光を設定したときは、SHUTTER 全押し後、設定した時間で露光終了

メモ

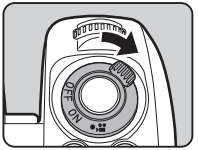
- 露光開始時と終了時に SHUTTER を押して撮影することもできます。C1メニュー「7 B時の撮影方法」で設定します。
- 撮影時は、三脚などでカメラをしっかりと固定してください。別売のリモコンやケーブルスイッチの利用をお勧めします。（p.55、p.67）

注意

- ドライブモードの連続撮影／ブラケット撮影／インターバル撮影は選択できません。

動画を撮影する

1 電源レバーを🎥に合わせる



ランプが赤で点灯し、ライブビューが表示

音声

録画可能時間

2 モードダイヤルを設定する撮影モードに合わせる

撮影モードによって、以下の設定が可能

P／**Av**／**TAv**／**M**	各露出モードで動作（絞り値は撮影前のみ。**M**モードはISO感度も変更可）
U1〜**U3**	登録されている露出モードに従って動作
その他	**P**モードで動作

3 ピントを合わせる

AFモード時は、SHUTTER半押し

4 SHUTTER全押し

撮影開始

画像モニター左上に「REC」が点滅し、記録されるファイル容量が表示

5 もう一度SHUTTERを押す

撮影終了

6 🎥モードを終了するときは、電源レバーをONに戻す

📷モードのファインダー撮影に戻る

注意

- 音声を録音する設定にしている場合、カメラの動作音なども録音されます。
- デジタルフィルターなどの画像処理を設定して撮影した場合は、部分的にコマが抜けて記録されることがあります。
- 撮影中にカメラ内部が高温になると、強制終了する場合があります。
- 沈胴式レンズを装着している場合は、撮影中にレンズを収納すると録画が中止され、エラーメッセージが表示されます。
- 🎥モードでは、Wi-Fi™は無効です。

動画撮影時の音声について

🎥1メニューの「ライブビュー撮影時AF」の「AFモード」で**AF.C**を選択した場合はフォーカス駆動音が録音されます。

フォーカス駆動音が気になる場合は、🎥1メニューの「録音レベル」で音量を調整いただくか、外部マイクをご利用ください。

メモ

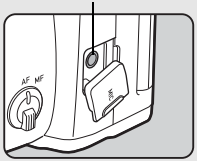
- 動画の設定は、🎥メニューで設定します。（p.29）
- 初期設定では、録画中に SHUTTER を半押ししてもオートフォーカスは作動しません。カメラに対応レンズを装着すると、🎥1メニュー「ライブビュー撮影時AF」の「AFモード」で **AF.C** が設定できます。**AF.C** に設定したときは、録画中も常にオートフォーカスが作動します。（p.63）また、🎥2メニュー「ボタンカスタマイズ」で AF/AE-L に設定した内容によって、以下のように動作します。（p.98）

「ボタンカスタマイズ」の設定	AF/AE-L を押したときの動作
AF作動1／AF作動2	「AFモード」に応じたオートフォーカスが作動
AFキャンセル	（**AF.C** 作動中）**AF.C** 停止 （**AF.C** 停止中）**AF.C** 作動

- 🎥1メニュー「録音レベル」で、録音の音量を設定できます。「マニュアル」を選択したときは、音量を0～20で設定できます。
- 動画は最大 4GB、または最長 25 分まで連続して撮影できます。メモリーカードがいっぱいになると撮影が終了します。

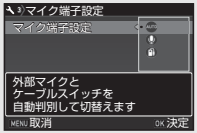
マイク／ケーブルスイッチを利用する

マイク／ケーブルスイッチ兼用端子に市販のステレオマイクを接続することもできます。外部マイクを利用すると、カメラの動作音などが録音されることを軽減できます。
外部マイクは以下の仕様を推奨します。（モノラルマイクには、対応していません。）



プラグ	ステレオミニ（Φ3.5mm）
形式	ステレオ エレクトレットコンデンサー
電源	プラグインパワー方式（動作電圧2.0V以下）
インピーダンス	2.2kΩ

また、マイク／ケーブルスイッチ兼用端子は、別売のケーブルスイッチ CS-310を接続することもできます。ケーブルスイッチを接続したときは、内蔵マイクで録音されます。どちらを接続するかは、🔧3 メニュー「マイク端子設定」で設定します。初期設定は、「自動選択」になっており、通常は変更する必要はありません。



注意

- マイク／ケーブルスイッチ兼用端子に、推奨規格以外のマイクや機器を接続しないでください。カメラが誤作動する場合があります。

動画の再生

1 再生モードの1画像表示で再生する動画を表示

ボタン・ダイヤル操作

▲	再生／一時停止
▶	（一時停止中）コマ送り
▶長押し	早送り再生
◀	（一時停止中）コマ戻し
◀長押し	早戻し再生
▼	停止
⊖⊕	音量調節（21段階）
☑	（一時停止中）表示中のコマをJPEG形式で保存
INFO	標準情報表示／情報表示なし切り替え

メモ

- 再生時の最初の音量は、▶1メニュー「再生音量」で設定ができます。（p.30）
- 再生モードパレット「動画編集」で、動画の分割や不要範囲の消去ができます。（p.91）

露出を設定する

ISO感度

1 撮影待機状態で▲を押す

2 ▲▼で選択

ISO AUTO	自動調整 上限値／下限値を設定
ISO	ISO 100～102400の間で固定値を設定

3 ⊖⊕／⊖⊕で値を変更

4 OKを押す

撮影待機状態に戻る

メモ

- ISO 感度の調整ステップは 1EV ステップです。露出設定ステップに合わせるときは、C1メニュー「2 ISO感度ステップ」で設定します。
- ISO 102400に設定した場合、ファインダー内の表示は「H102」（上位3桁）と表示されます。

高感度時のノイズリダクション　2

ISO感度を高く設定しているときのノイズ低減処理を設定できます。

1 **2メニュー「ノイズリダクション」を選択、▶を押す**

「ノイズリダクション」画面が表示

2 **「高感度NR」を選択、▶を押す**

3 **強度を選択、OKを押す**

オート	ISO感度に応じて最適なノイズリダクションを行う
弱／中／強	弱／中／強のノイズリダクションを行う
カスタム	ISO感度別にノイズリダクション処理を設定
オフ	ノイズリダクションを行わない

カスタム以外は手順7へ

4 **「設定」を選択、▶を押す**

5 **ISO感度を選択し、それぞれの強度を選択**

ボタン・ダイヤル操作

	ページ切り替え
●	リセット

6 **MENUを押す**

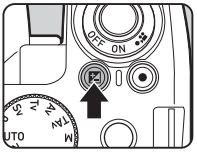
手順3の画面に戻る

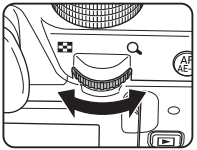
7 **MENUを2回押す**

露出補正

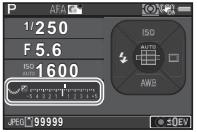
露出を-5～+5 EV（🎥モードは-2～+2 EV）の範囲で補正できます。

1 ☑を押してから🎛を回す





補正中はステータススクリーン／ファインダー内／ライブビューに☑と補正値が表示



ボタン・ダイヤル操作

☑	設定の開始／終了
○	リセット

メモ

- 露出を自動的に変化させて撮影したいときは、「ブラケット撮影」を利用します。（p.68）

測光方式 📷1／🎥1

センサーのどの部分で明るさを測り露出を決めるのかを、📷1／🎥1メニュー「測光方式」で設定します。

分割	センサーを分割して明るさを測定 逆光時は自動補正
中央重点	センサー中央部分を中心に測光 中央部分ほど感度が高い。逆光時も自動補正されない
スポット	センサー中央の狭い範囲を測光 被写体が小さいときなどに利用

メモ

- **C**1メニュー「5 測距点と露出の関連付」で、測光ポイントと測距点を連動させることができます。

フラッシュを使用する

1 **撮影待機状態で◀を押す**

2 **フラッシュモードを選択**

	自動発光	周りの明るさを自動測定し、発光をカメラが判断
	赤目軽減 自動発光	自動発光前に赤目軽減のための予備発光を行う
	強制発光	常に発光
	赤目軽減 強制発光	強制発光前に赤目軽減のための予備発光を行う
	スローシンクロ	遅いシャッター速度に設定 夕景などを背景に人物撮影をするときなどに利用
	赤目軽減 スローシンクロ	スローシンクロ発光前に、赤目軽減のための予備発光を行う
	後幕シンクロ	シャッター後幕が閉じる直前に発光、遅いシャッター速度に設定 動く被写体の光跡を、後ろに流れるように写すことが可能
	マニュアル発光	発光量をFULL～1/128で設定

ボタン・ダイヤル操作

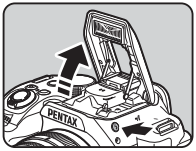
	光量補正 （マニュアル発光）発光量選択
	リセット

3 **OK を押す**

撮影待機状態に戻る

4 **⚡ を押す**

内蔵フラッシュがポップアップ



メモ

- 撮影モードによって選択できるフラッシュモードが異なります。

撮影モード	選択可能なフラッシュモード
AUTO／SCN *1	⚡A／⚡A◎／⚡／⚡◎
P／Sv／Av	⚡／⚡◎／SLOW⚡／SLOW◎⚡／SLOW▷⚡／⚡M
Tv／TAv／M／B	⚡／⚡◎／▷⚡／⚡M

*1 SCNモードの一部は、フラッシュ使用不可（p.110）

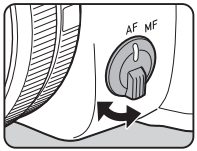
- フラッシュ充電中は撮影ができません。充電中にも撮影をしたい場合は、C2メニュー「8 充電中のレリーズ」で設定します。
- 使用するレンズによっては、フラッシュの使用に制限があります。（p.114）
- Avモードでのフラッシュ撮影は、使用レンズによって1/180秒から低速側までシャッター速度が変化します。DA／DA L／D FA／FA J／FA／Fレンズ以外を使用した場合は、シャッター速度は1/180秒固定です。
- Tv／TAv／Mモードでのフラッシュ撮影は、1/180秒以下のシャッター速度が設定できます。
- 内蔵フラッシュは、被写体との距離が約0.7～5mのときに有効です。それよりも近いと、ケラレなどが発生します。この距離は使用するレンズや、ISO感度の設定によって多少異なります。
- 外付けフラッシュについては、「外付けフラッシュ利用時の機能」（p.117）を参照してください。

ガイドナンバー

ISO感度	ガイドナンバー	ISO感度	ガイドナンバー
ISO 100	約12	ISO 6400	約96
ISO 200	約17	ISO 12800	約136
ISO 400	約24	ISO 25600	約192
ISO 800	約34	ISO 51200	約272
ISO 1600	約48	ISO 102400	約384
ISO 3200	約68		

フォーカスモードを設定する

フォーカスモード切替レバーで **AF** ／**MF** を切り替えます。

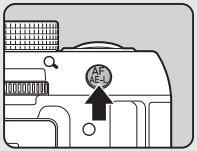


ファインダー撮影とライブビュー撮影では、オートフォーカスの方法が異なります。

ファインダー撮影	TTL位相差検出式 **AF.S** ／ **AF.C** とこれらを自動で切り替える **AF.A** が選択可能 コントラスト検出式よりも高速なオートフォーカスが可能（p.61）
ライブビュー撮影	像面位相差検出＋コントラスト検出式 顔検出や追尾が可能（p.63）

AF/AE-L でピントを合わせる

AF/AE-L でピントを合わせることもできます。AF/AE-L の動作は、5／2メニュー「ボタンカスタマイズ」で設定します。（p.98）



ファインダー撮影のオートフォーカスの設定

1

1メニュー「ファインダー撮影時AF」で、ファインダー撮影時のオートフォーカスの設定ができます。

AFモード	**AF.A** ／ **AF.S** ／ **AF.C**
AFエリア	49点 ／ 5点 ／ 1点 ／ 拡大EX ／ ■
AF.Sの動作	フォーカス優先／レリーズ優先
AF.C 1コマ目の動作	オート／フォーカス優先／レリーズ優先
AF.C連続撮影中の動作	オート／フォーカス優先／コマ速優先
AFホールド	オフ／弱／中／強

「AFホールド」は、合焦後に被写体が動いて見失ったときにすぐにAFを再作動させるか、一定時間フォーカスを保持してからAFを作動させるかを設定します。

AFモード

1 「ファインダー撮影時AF」画面で「AFモード」を選択

AF.A 自動選択モード	被写体の状況に応じて**AF.S**／**AF.C**を自動で切り替え
AF.S シングルモード	SHUTTER半押しでピントが合うと、その位置にピントを固定 必要に応じてAF補助光が発光
AF.C コンティニュアスモード	SHUTTER半押しの間、被写体に合わせて常にピントを調整 ピントが合っていなくても撮影可能

2 OK を押す

3 MENU を2回押す

撮影待機状態に戻る

メモ

- **SCN**モードでは、設定したシーンによって**AF.S**／**AF.C**のどちらかに固定されます。（p.110）
- **AUTO**モードは、**AF.A**固定です。

AFエリア

1 「ファインダー撮影時AF」画面で「AFエリア」を選択

オート（11点）	11点から自動でピント位置を決定
オート（5点）	5点から自動でピント位置を決定
セレクト	11点中の任意の1点を選択
セレクトエリア拡大	11点中の任意の1点を選択。合焦後に被写体が動いて見失った場合は、周囲の8点から選択 **AF.S**時は選択不可
スポット	11点中の中央の1点にピントを合わせる

2 OK を押す

3 MENU を2回押す

撮影待機状態に戻る

手順1で ／ を選択した場合は、手順4へ

4 測距点を指定

ボタン・ダイヤル操作

▲▼◀▶	測距点を移動
OK	中央に戻す
OK 長押し	▲▼◀▶の機能を測距点移動モード／ダイレクトキーモードに切り替え

メモ

- OK 長押しの測距点移動モードへの切り替えを、Fx1 ／ Fx2 でできるように設定することもできます。（p.98）
- 測距点移動時のボタンの動作を、**C**3メニュー「18 十字キーの機能」で設定できます。

Type1	▲▼◀▶の動作を測距点移動モード／ダイレクトキーモードに切り替え
Type2	撮影待機状態では、測距点移動モードを優先

ライブビュー撮影のオートフォーカスの設定

1／1

1／1メニュー「ライブビュー撮影時AF」で、ライブビュー撮影時のオートフォーカスの設定ができます。

AFエリア	／ ／ ／ ／
フォーカスアシスト	オン／オフ
AF.Sの動作	フォーカス優先／レリーズ優先

「フォーカスアシスト」をオンに設定すると、ピントが合った部分の輪郭が強調され、確認しやすくなります。**AF**／**MF**の両方で有効です。

AFモード

1

対応レンズを装着したときは、1メニュー「ライブビュー撮影時AF」の「AFモード」で**AF.C**が設定できます。

1 「ライブビュー撮影時AF」画面で「AFモード」を選択

AF.S／**AF.C**から選択

2 OK を押す

AFエリア

1 「ライブビュー撮影時AF」画面で「AFエリア」を選択

顔検出	人物の顔を検出して追尾 AF・AE対象のメイン顔検出枠は黄色で表示
追尾	ピントが合った被写体を追尾 ピントが合っていなくても撮影可能
多点オート	任意のエリアにピントを合わせるセンサーを35分割（横7×縦5）し、AFエリアを任意の範囲に設定。AFエリアの大きさは、35分割中の1／9／15／25／35個のサイズから選択
セレクト	ピクセル単位でAFエリアを設定
スポット	中央の限られた範囲にピントを合わせる

モードは AUTO ／ ／ から選択

2 OK を押す

3 MENU を2回押す

撮影待機状態に戻る
手順1で AUTO ／ を選択した場合は、手順4へ

4 OK を長押し

5 AFエリアを指定

ボタン・ダイヤル操作

▲▼◀▶	AFエリアを移動
	（多点オート）AFエリア拡大／縮小
●	中央に戻す

6 OK を押す

AFエリアが確定

注意

- は、フォーカスロック動作（SHUTTER 半押し状態での構図調整）はできません。

メモ

- OK 長押しのAFエリア移動モードへの切り替えを、Fx1 ／ Fx2 でできるように設定することもできます。（p.98）
- **AUTO** モードと **SCN** モードの ／ ／ は、 固定です。

AF位置を微調整する　C4

オートフォーカスのピント位置を微調整します。

1 **C4メニュー「23 AF微調整」を選択、▶を押す**
「23 AF微調整」画面が表示

2 **一律／個別を選択、OKを押す**

一律	すべてのレンズで同じ調整値を適用
個別	使用中のレンズの調整値を登録（最大20種類）

3 **「設定」で値を調整**

ボタン・ダイヤル操作

▶／右	前方向に調整
◀／左	後方向に調整
○	リセット

4 **OKを押す**
設定値が登録

5 **MENUを2回押す**
撮影待機状態に戻る

ドライブモードを設定する

1 **撮影待機状態で▶を押す**
ドライブモード画面が表示

2 **ドライブモードを選択**

1コマ撮影（□）	通常の撮影
連続撮影（□H／□L）	SHUTTERを押している間に連続して撮影（p.66）
セルフタイマー（／2／3）	SHUTTERを押してから12秒後／2秒後に撮影（p.67）
リモコン（／3s／）	リモコンで撮影（p.67）
ブラケット撮影（／／）	露出が異なる画像を連続して撮影（p.68）
ミラーアップ撮影（M.UP／M.UP）	ミラーをアップして撮影（p.69）
多重露出（／／／）	任意の枚数を1枚の画像に合成しながら撮影（p.70）
インターバル撮影（INT／／／）	一定間隔で自動的に連続撮影（p.71）

注意

- 一部の撮影モードまたは設定している機能によっては、選択できるドライブモードが制限されます。（p.110）

メモ

- 🎥モード時は、リモコンオフ／リモコンのみ選択できます。
- カメラの電源を切ってもドライブモードの設定は保存されています。📷 5メニュー「モードメモリ」で「ドライブモード」をオフに設定すると、電源を切ったときに「1コマ撮影」に戻ります。（p.105）
- セルフタイマー／リモコンを選択したときは、📷4メニュー「Shake Reduction」は自動的にオフになります。オフにしたくないときは、C3メニュー「19 SRの自動オフ」で設定します。

ファインダーから光が入ってしまうとき

セルフタイマー／リモコンを使用するドライブモードを選択しているときは、ファインダーから入る光が露出に影響を与えることがあります。その場合は、AEロックを利用してください。（p.53）

連続撮影

1 ドライブモード画面で 🗗 を選択、▼を押す

2 ◀▶で選択、OKを押す

🗗	連続撮影（高速）
🗗	連続撮影（低速）

撮影待機状態に戻る

メモ

- 📷1メニュー「ファインダー撮影時AF」の「AFモード」が**AF.S**のときのオートフォーカスは、1枚目の合焦位置に固定されます。（p.62）

セルフタイマー

1 ドライブモード画面で ⏲ を選択、▼を押す

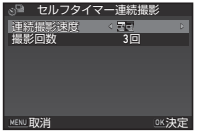
2 ◀▶で選択

⏲	セルフタイマー（12秒）
⏲2s	セルフタイマー（2秒）
⏲	セルフタイマー連続撮影

⏲／⏲2sを選択したときは、手順6へ

3 INFO を押す

4 連続撮影速度／撮影回数を設定



5 OK を押す
手順1の画面に戻る

6 OK を押す
撮影待機状態に戻る

7 SHUTTER 半押し→全押し
12秒後または2秒後に撮影

リモコン

1 ドライブモード画面で を選択、▼を押す

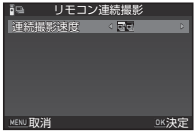
2 ◀▶で選択

	リモコン
3S	リモコン（3秒後レリーズ）
	リモコン連続撮影

／3Sを選択したときは、手順6へ

3 INFO を押す

4「連続撮影速度」を設定



5 OK を押す
手順1の画面に戻る

6 OK を押す
撮影待機状態に戻る

7 SHUTTER 半押し

8 カメラ正面のリモコン受光部にリモコンを向け、リモコンのシャッターボタンを押す

メモ

- リモコンで撮影できる距離は、カメラ正面から約4mです。
- リモコンでピント合わせをしたいときは、**C**2メニュー「9 リモコン時のAF」で設定します。
- 防水リモコン O-RC1を使用時は、リモコンの⅓ボタンでピント合わせができます。**Fn**ボタンには対応していません。

ブラケット撮影

1 ドライブモード画面で を選択、▼を押す

2 ◀▶で選択

	ブラケット撮影
	ブラケット撮影+セルフタイマー
	ブラケット撮影+リモコン

を選択したときは、手順6へ

3 INFO を押す

4 動作を選択

5 OK を押す

手順1の画面に戻る

6 撮影枚数とブラケット幅を設定

ボタン・ダイヤル操作

	撮影枚数選択
	ブラケット幅変更
→	露出補正
	リセット

7 OK を押す

撮影待機状態に戻る

8 撮影する

撮影が終了すると、撮影待機状態に戻る

メモ

- ブラケット幅は、**C**1メニュー「1 露出設定ステップ」の設定に従って1/3 EVステップまたは1/2 EVステップで設定できます。
- **C**2メニューで、ブラケット撮影に関する以下の設定ができます。

10 ブラケット撮影順	撮影順を変更
11 ワンプッシュブラケット	1回のレリーズでまとめて撮影

ミラーアップ撮影

1 ドライブモード画面で M.UP を選択、▼を押す

2 ◀▶で選択

M.UP	ミラーアップ撮影
M.UP	ミラーアップ撮影+リモコン

3 OK を押す

撮影待機状態に戻る

4 SHUTTER 半押し→全押し

ミラーがアップし、AEロック

5 もう一度 SHUTTER 全押し

撮影後、ミラーダウン

メモ

- ミラーアップ後1分経過すると、自動的にミラーが下がります。

注意

- 4メニュー「Shake Reduction」は、オフ固定です。

多重露出

1 **ドライブモード画面で ▣ を選択、▼を押す**

2 **◀▶ で選択**

▣	多重露出
▣	多重露出＋連続撮影
▣	多重露出＋セルフタイマー
▣	多重露出＋リモコン

設定を変更しない場合は、手順6へ

3 **INFO を押す**

4 **撮影条件を設定**

合成方法	平均／加算／比較明から選択
撮影回数	2～2000回で設定
連続撮影速度／セルフタイマー／リモコン	それぞれの動作モードを選択

5 **OK を押す**

手順1の画面に戻る

6 **OK を押す**

撮影待機状態に戻る

7 **撮影する**

クイックビューが表示

クイックビュー中のボタン・ダイヤル操作

🗑	画像を破棄し、1回目から撮影し直し
MENU	撮影済み画像を保存し、📷メニューを表示

設定回数の撮影が終了すると、撮影待機状態に戻る

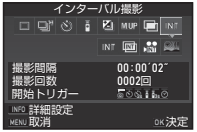
メモ

- 「合成方法」は、それぞれ以下のように合成されます。

平均	露光量を平均して合成
加算	露光量を加算して合成
比較明	1枚目の画像と比較して明るい部分だけを置き換えて合成

インターバル撮影

1 **ドライブモード画面でINTを選択、▼を押す**



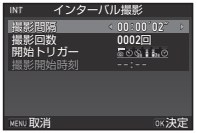
2 **◀▶で選択**

INT	インターバル撮影 一定間隔で連続撮影し、それぞれ保存
INT	インターバル合成 一定間隔で撮影した画像を1枚に合成
INT	インターバル動画 一定間隔で撮影した静止画を1つの動画ファイル（Motion JPEG、拡張子：.AVI）で保存
	スタートリーム インターバル合成で撮影した静止画を1つの動画ファイル（Motion JPEG、拡張子：.AVI）で保存

設定を変更しない場合は、手順6へ

3 **INFO を押す**

4 **撮影条件を設定**



記録サイズ	4K／FullHD／HD から選択（／のみ）
撮影間隔	2秒間～24時間で設定
撮影待機時間	最短または1秒～24時間で設定
撮影回数	2～2000回で設定
開始トリガー	1 回目を撮影するタイミングを即時／セルフタイマー／リモコン／時刻指定から選択
撮影開始時刻	「開始トリガー」が「時刻指定」のときに設定
合成方法	平均／加算／比較明から選択（INTのみ）
途中経過保存	途中の画像を保存する場合は☑（INTのみ）
フェードアウト	光跡をフェードアウトするレベルを選択（のみ）

5 **OK を押す**

手順1の画面に戻る

6 **OK を押す**

撮影待機状態に戻る

7 **SHUTTER を押す**

「開始トリガー」が「即時」の場合は1回目撮影。「時刻指定」の場合は、設定時刻から撮影開始

撮影を途中で終了する場合は、電源レバーを「OFF」にする

設定回数の撮影が終了すると、撮影待機状態に戻る

メモ

- **INT**／INT では、新しくフォルダーが作成されて画像が保存されます。
- 「撮影間隔」の最小値は、デジタルフィルター／明瞭コントロール／肌色補正の設定時は5秒、「HDR撮影」設定時は10秒になります。
- 「撮影間隔」で設定した間隔で2回目以降の露光が開始されます。「撮影間隔」よりもシャッター速度が長い場合は、途中の撮影がスキップされます。たとえば「撮影間隔」が2秒でシャッター速度が3秒の場合、2回目（撮影開始から2秒後）は1回目の露光中のため撮影されず、結果的に指定した撮影回数のコマ数を撮影せずに終了します。このような場合は、**C**2メニュー「12 インターバル撮影の動作」で「撮影待機時間」に設定すると、各コマの撮影が終了してから指定した間隔で撮影ができます。「12 インターバル撮影の動作」の設定によって、手順4の画面の表示が変わります。
- **INT**／INT では、1回目のフォーカス位置に固定して撮影されます。撮影ごとにオートフォーカスを作動させる場合は、**C**2メニュー「13 インターバル撮影中のAF」を「フォーカスロックしない」に設定します。
- INT／の撮影時は、三脚などでカメラを固定してください。
- では、4メニュー「Shake Reduction」はオフ固定です。

ホワイトバランスを設定する

1 撮影待機状態で▼を押す

ホワイトバランス設定画面が表示

ファインダー撮影時にデジタルプレビューを表示するときは、Fx1を押す

2 ホワイトバランスを選択

／／**K**は で種類／番号を選択

AWB	オートWB
	マルチパターンオートWB
	太陽光
	日陰
	曇天
	昼光色蛍光灯 昼白色蛍光灯 白色蛍光灯 電球色蛍光灯
	白熱灯
CTE	Color Temperature Enhancement
	マニュアルWB1～3
K	色温度1～3

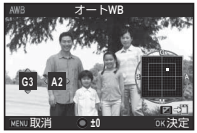
ファインダー撮影時のボタン・ダイヤル操作

☒	プレビュー画像を保存（保存可能時のみ）

微調整が不要なときは、手順5へ

3 INFO を押す

微調整画面が表示



ボタン・ダイヤル操作

▲▼	G-M（グリーン－マゼンタ）間
◀▶	B-A（ブルー－アンバー）間
○	リセット

4 OK を押す

手順2の画面に戻る

5 OK を押す

撮影待機状態に戻る

注意

- ドライブモードがミラーアップ撮影／多重露出／インターバル撮影のときは、手順1のデジタルプレビュー操作はできません。

メモ

- ▦A は、光源が混在する場所でも領域ごとの光源を判断して自動調整します。（🎥モード時は不可）
- **C**2～3メニューでホワイトバランスに関する以下の設定ができます。

14 WBの光源調整範囲	固定／自動調整
15 白熱灯下のオートWB	強／弱
16 フラッシュ発光時のWB	オートWB／マルチパターンオートWB／変更しない
17 色温度ステップ	ケルビン／ミレッド

マニュアルでホワイトバランスを調整する

任意の場所のホワイトバランスを測定します。

1 **「ホワイトバランスを設定する」（p.72）の手順2で 1 を選択**

2 **で1～3を選択**

3 **測定する照明の下で白い被写体を選択し、SHUTTER全押し**

撮影画像表示

4 **▲▼◀▶で測定範囲を指定**

●で中央に戻る

5 **OK を押す**

ホワイトバランス設定画面に戻る
測定できなかったときは、「正しく処理できませんでした」と表示。OK で再測定

メモ

- 再生モードパレット「マニュアルWB登録」で、撮影済み画像のホワイトバランスを 1～ 3に登録できます。（p.83）

色温度でホワイトバランスを調整する

色温度でホワイトバランスを指定します。

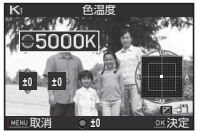
1 **「ホワイトバランスを設定する」（p.72）の手順2でKを選択**

2 **で1～3を選択**

3 **INFO を押す**

4 **色温度を調整**

2500～10000Kの範囲で設定



ボタン・ダイヤル操作

	100ケルビン単位
	1000ケルビン単位
▲▼◀▶	微調整

5 **OK を押す**

ホワイトバランス設定画面に戻る

メモ

- **C**3メニュー「17 色温度ステップ」で「ミレッド」に設定すると、ミレッド単位で色温度が設定できます。 で20ミレッド単位、 で100ミレッド単位で変更できます。その場合も、画面表示はケルビン換算で表示されます。

仕上がりイメージを決めて撮影する

少し変わった雰囲気の写真を撮影したいときなどは、でき上がりイメージを先に決めてから撮影します。
いろいろな設定で撮影してみて、お気に入りの撮影方法を見つけてください。

カスタムイメージ　1／1

1 **1／1メニュー「カスタムイメージ」を選択、▶を押す**

カスタムイメージ設定画面が表示

2 **画像仕上を選択**

オートセレクト	ほのか
鮮やか	フラット
ナチュラル	銀残し
人物	リバーサルフィルム
風景	モノトーン
雅（MIYABI）	クロスプロセス
里び（SATOBI）	夏天（KATEN）*1
ポップチューン	九秋（KYUSHU）*1

*1　対応レンズ使用時のみ選択可

ファインダー撮影時のボタン・ダイヤル操作

Fx1	設定を適用した背景画像をデジタルプレビュー
⊡	プレビュー画像を保存（保存可能時のみ）

パラメーターの変更が不要なときは、手順6へ

3 INFO を押す

パラメーター設定画面が表示

4 パラメーターを設定

ボタン・ダイヤル操作

▲▼	パラメーター選択
◀▶	値調整
	コントラスト／コントラストハイライト調整／コントラストシャドー調整切り替え
	シャープネス／ファインシャープネス／エクストラシャープネス切り替え（🎥モード時は不可）
○	リセット

5 MENU を押す

手順2の画面に戻る
パラメーターの設定値が表示

6 MENU を2回押す

撮影待機状態に戻る

注意

- **AUTO** モードのときは、「オートセレクト」固定です。
- ドライブモードがミラーアップ撮影／多重露出／インターバル撮影のときは、手順2のデジタルプレビュー操作はできません。

撮影済み画像のクロスプロセス設定を登録する

「クロスプロセス」の「シャッフル」を設定して撮影した画像は、撮影するたびに処理結果が異なります。気に入ったクロスプロセス画像が撮影できたときは、その設定を登録しておいて呼び出して使用することができます。

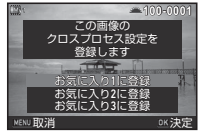
1 再生モードの1画像表示で▼を押す

再生モードパレットが表示

2 を選択、OK を押す

最新画像から順にクロスプロセス画像を検索
見つからない場合は「クロスプロセス撮影画像がありません」と表示

3 でクロスプロセス画像を選択



4 登録する番号を選択、OK を押す

指定した画像の設定がお気に入り1～3に登録

メモ

- 登録したクロスプロセス設定は、「カスタムイメージ」(p.75)の手順2で「クロスプロセス」を選択し、パラメーターでお気に入り1〜3を選択して呼び出します。

デジタルフィルター

3／2

1 3／2メニュー「デジタルフィルター」を選択、▶を押す

デジタルフィルター設定画面が表示

2 フィルターを選択

デジタルフィルター撮影を終了するときは「フィルターオフ」を選択

色抽出	シェーディング
色の置換え	ネガポジ反転
トイカメラ	ソリッドモノカラー
レトロ	ハードモノクローム
ハイコントラスト	

ファインダー撮影時のボタン・ダイヤル操作

Fx1	設定を適用した背景画像をデジタルプレビュー
	プレビュー画像を保存（保存可能時のみ）

パラメーターの変更が不要なときは、手順6へ

3 INFO を押す

パラメーター設定画面が表示

4 パラメーターを設定

ボタン・ダイヤル操作	
▲▼	パラメーター選択
◀▶	値調整

5 OK を押す

手順2の画面に戻る

6 OK を押す

7 MENU を押す

撮影待機状態に戻る

注意

- 一部の撮影モードでは使用できません。また、一部の機能とは組み合わせができません。（p.110）
- ドライブモードがミラーアップ撮影／多重露出／インターバル撮影のときは、手順2のデジタルプレビュー操作はできません。
- フィルターによっては、保存に時間がかかります。

メモ

- 撮影後にデジタルフィルターで加工することもできます。（p.89）

補正して撮影する

明るさを補正する

ハイライト補正／シャドー補正　2／2

ダイナミックレンジを拡大し、表現できる階調の幅を広げて白とび／黒つぶれを防ぎます。
2／2メニュー「D-Range設定」で設定します。

注意

- ISO感度をISO 200未満に設定すると、ハイライト補正をオンに設定することはできません。

メモ

- モードのときのハイライト補正は、オート／オフが設定できます。

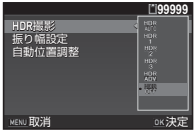
HDR撮影 3

露出が異なる3枚の画像を撮影して合成します。

1 **3メニュー「HDR撮影」を選択、▶を押す**

「HDR撮影」画面が表示

2 **タイプを選択、OKを押す**



3 **「振り幅設定」で露出を変化させる幅を選択**

±1EV／±2EV／±3EVから選択

4 **「自動位置調整」を設定**

☑	自動位置調整を行う
☐	自動位置調整を行わない

5 **MENUを2回押す**

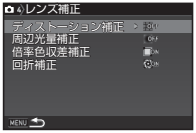
撮影待機状態に戻る

注意

- 一部の撮影モードでは使用できません。また、一部の機能とは組み合わせができません。（p.110）
- **SCN**モードの HDR に設定されているときは、「HDR AUTO」固定になります。
- ドライブモードがインターバル撮影／インターバル動画に設定されているときは、「自動位置調整」はオフ固定です。
- 「自動位置調整」をオフに設定したときは、4メニュー「Shake Reduction」はオフ固定です。
- HDR撮影は画像を合成するため、保存に時間がかかります。

レンズ特性を補正する　4

4メニュー「レンズ補正」で以下の補正ができます。



ディストーション補正	レンズ特性によって生じる歪曲収差を補正
周辺光量補正	レンズ特性によって生じる周辺光量低下を補正
倍率色収差補正	レンズ特性によって生じる倍率色収差を補正
回折補正	絞りを絞り込んだときの回折ボケを補正

メモ

- レンズ補正に対応しているレンズを装着しているときだけ設定できます。（p.113）また、カメラとレンズの間にリアコンバーターなどのアクセサリーを装着した場合は、設定は無効です。
- 2メニュー「記録設定」の「記録形式」がRAW／RAW+の場合は、補正情報がRAWファイルのパラメーターに記録され、RAW展開時にオン／オフが選択できます。また、RAW展開時には「フリンジ補正」が設定できます。（p.92）

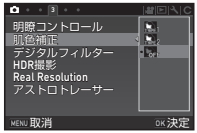
画質・質感を補正する

明瞭コントロール　3

画像処理で凹凸感や質感を－4～＋4で変更できます。
3メニュー「明瞭コントロール」で設定します。

肌色補正　3

人物の肌の質感を向上させます。
3メニュー「肌色補正」でType1／Type2が選択できます。

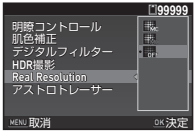


Type1	顔検出機能で肌色を特定し、肌色部をより良い肌色に変換 顔検出ができたときのみ動作
Type2	画像全体をやわらかく仕上げ、肌のきめなどを目立たなくする

Real Resolution　3

「Real Resolution（リアル・レゾリューション・システム）」では、Shake Reductionユニットを移動して1画素ずつずらした4枚の画像を合成することで、静止物の撮影で高精細な画像を得ることができます。

3メニュー「Real Resolution」で設定します。



動体補正オン	動体を検出したときに、モザイク状のノイズを補正して画像を合成
動体補正オフ	画像全体を合成
オフ	Real Resolutionオフ

撮影を行うと、4枚の画像が順に表示された後、合成処理が行われます。

注意

- 一部の撮影モードでは使用できません。また、一部の機能とは組み合わせができません。（p.110）
- 4メニューのローパスセレクター／Shake Reductionは、オフ固定です。

メモ

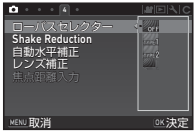
- 撮影時に動いている被写体があると、モザイク状のノイズが生じることがあります。その場合は、「動体補正オン」に設定してください。
- 撮影時は、三脚などでカメラをしっかりと固定してください。ドライブモードのセルフタイマー／リモコン／ミラーアップ撮影の利用をお勧めします。

ローパスセレクター　4

Shake Reductionユニットを振動させることによって、ローパスフィルターのようなモアレ低減効果を得ることができます。

1 **4メニュー「ローパスセレクター」を選択、▶を押す**

2 **タイプを選択、OKを押す**



Type1	解像とモアレ低減のバランスをとって撮影
Type2	モアレ低減優先
ブラケット撮影	オフ／Type1／Type2の順に3枚連続して撮影

注意

- 一部の撮影モードでは使用できません。また、一部の機能とは組み合わせができません。（p.110）
- 以下のときは「ブラケット撮影」は選択できません。
  - **SCN**モードの／／
  - **B**モード
- ドライブモードが1コマ撮影／セルフタイマー（12秒／2秒）／リモコン（即時／3秒後）のときのみ、ブラケット撮影ができます。
- 3メニュー「HDR撮影」を設定しているときは、ローパスセレクターはオフ固定です。
- シャッター速度が1/1000秒より高速な場合は、十分な効果が得られません。

再生モードパレットの設定項目

再生に関する機能は、▶1メニュー（p.30）のほかに、再生モードパレットで指定します。
再生モードパレットは、再生モードの1画像表示のときに▼を押すと表示されます。

項目	機能	参照
画像回転 *1	画像の回転情報を変更	p.86
デジタルフィルター *1	デジタルフィルターで加工	p.89
色モアレ補正 *1 *2	色モアレが発生した画像を補正	p.89
リサイズ *1 *2	画像の記録サイズを変更	p.88
トリミング *1	画像の必要な部分だけを切り取り	p.88
プロテクト	画像を誤って消去しないように保護	p.106
スライドショウ	画像を連続再生	p.86
マニュアルWB登録 *1	撮影済み画像のホワイトバランス設定値をマニュアルホワイトバランスに登録	p.74
クロスプロセス登録	カスタムイメージのクロスプロセスで撮影した画像の設定値をお気に入りに登録	p.76
RAW展開 *3	RAW画像をJPEGに変換して保存	p.92
動画編集 *4	動画を分割または不要部分を消去	p.91

*1　動画表示時は実行不可
*2　RAW画像表示時は実行不可
*3　RAW画像保存時のみ実行可能
*4　動画表示時のみ実行可能

再生方法を変更する

複数画像を表示する

画像を複数枚（6／12／20／35／80画像）ずつ表示します。

1 再生モードで を左に回す

複数画像が表示

ボタン・ダイヤル操作

▲▼◀▶	選択枠を移動
	ページ切り替え
INFO	複数画像表示選択画面
	選択消去

2 OK を押す

選択画像が1画像表示

選択して消去する

1 「複数画像を表示する」（p.84）の手順1の画面で を押す

2 消去画像を選択

ボタン・ダイヤル操作

▲▼◀▶	選択枠を移動
OK	消去画像を選択／解除
	範囲指定
	選択画像を1画像表示 で画像切り替え

画面左上には選択画像数が表示

3 を押す

消去の確認画面が表示

4 「消去」を選択、OK を押す

メモ

- 一度に選択できるのは、500画像までです。
- プロテクトされている画像は選択できません。
- 1画像ずつの指定と範囲指定が併用できます。
- 複数画像の選択方法は、以下の設定時も同様です。
  - RAW展開（p.92）
  - プロテクト（p.106）

フォルダーごとに表示する

1 「複数画像を表示する」（p.84）の手順1の画面で 👁 を左に回す

フォルダーが表示

ボタン・ダイヤル操作

▲▼◀▶	選択枠を移動
🗑	フォルダー消去

2 OK を押す

フォルダー内画像が表示

フォルダーを消去する

1 「フォルダーごとに表示する」（p.85）の手順1の画面で消去フォルダーを選択、🗑 を押す

消去の確認画面が表示

2 「消去」を選択、OK を押す

フォルダーとフォルダー内画像が消去

フォルダー内にプロテクトされた画像があった場合は、すべて消去／すべて残すを選択

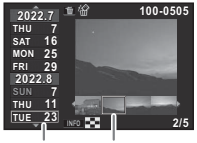
撮影日ごとに表示する

撮影した日付ごとに画像を表示します。

1 「複数画像を表示する」（p.84）の手順1で INFO を押す

複数画像表示選択画面が表示

2 「撮影日別表示」を選択



撮影日　サムネイル

ボタン・ダイヤル操作

▲▼	撮影日選択
◀▶	撮影日内の画像を選択
👁 右	選択画像を1画像表示
🗑	選択画像を消去

3 OK を押す

選択画像が1画像表示

連続して再生する（スライドショウ）

1 再生モードパレットで ▶ を選択

スライドショウ開始

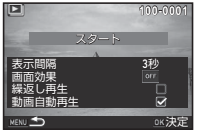
ボタン・ダイヤル操作

OK	一時停止／再開
◀	前の画像を表示
▶	次の画像を表示
▼	停止
	動画の音量調節

全画像の再生が終了すると、1画像表示に戻る

メモ

- ▶1メニュー「スライドショウ」で、スライドショウの表示間隔／画面効果／繰返し再生／動画自動再生について変更できます。この画面からスライドショウを開始することもできます。
「動画自動再生」をオフにしたときは、スライドショウ再生中に OK を押すと動画が再生されます。



画像を回転して表示する

縦位置で撮影すると、画像に回転情報が付加されます。▶1メニュー「画面表示」の「画像の自動回転」がオン（初期設定）に設定されているときは、再生時に回転情報に従って表示されます。
回転情報は、以下の手順で変更できます。

1 1画像表示で対象画像を表示

2 再生モードパレットで ◎ を選択

画像を90°ずつ回転させた画面が表示

3 ▲▼◀▶で回転方向を選択、OK を押す

回転情報が更新、1画像表示に戻る

注意

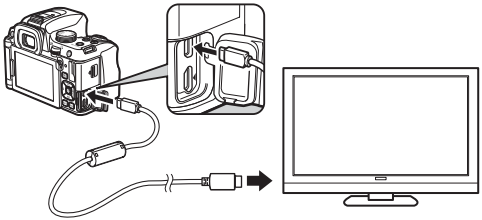
- C3メニュー「20 回転情報の記録」をオフに設定した状態で撮影すると、画像に回転情報が付加されません。
- 次のときは、回転情報を変更できません。
  - プロテクトされた画像
  - 回転情報タグがない画像
  - ▶1メニュー「画面表示」の「画像の自動回転」がオフに設定されているとき
- 動画は回転できません。

AV機器と接続する

HDMI端子を備えたテレビなどと接続し、撮影時にライブビュー画像を表示したり、再生モードで再生ができます。HDMI端子（タイプD）を備えた市販のHDMIケーブルを用意してください。

1 AV機器とカメラの電源を切る

2 カメラの端子カバーを開き、HDMI端子にケーブルを接続する



3 ケーブルのもう一方の端子をAV 機器の映像入力端子に接続する

4 AV機器とカメラの電源を入れる

カメラがHDMIモードで起動、AV機器にカメラの情報が表示

注意

- AV 機器と接続中は、カメラの画像モニターは表示されません。また、カメラで音量調節はできません。AV機器側で音量を調節してください。

メモ

- ご使用の AV 機器の使用説明書をご確認の上、カメラを接続する映像入力端子を選択してください。
- 出力方式は、AV 機器とカメラが対応する最大サイズが自動で選択されます。うまく映らない場合は、3メニュー「HDMI出力」で設定を変更してください。
- 長時間使用するときは、別売のACアダプターキットのご使用をお勧めします。（p.39）

画像を加工・編集する

画像のサイズを変更する

注意

- リサイズ／トリミングが実行できるのは、本機で撮影したJPEG画像のみです。
- すでに最小サイズにリサイズ／トリミングされた画像は実行できません。

記録サイズを変更する（リサイズ）

画像の記録サイズを変更して新規保存します。

1 **1画像表示で対象画像を表示**

2 **再生モードパレットで ⊡ を選択**
記録サイズ選択画面が表示

3 **◀▶ で記録サイズを選択、OK を押す**
元の画像より小さいサイズから選択可能
保存の確認画面が表示

4 **「保存」を選択、OK を押す**

画像の一部を切り取る（トリミング）

画像の必要部分だけを切り取って新規保存します。

1 **1画像表示で対象画像を表示**

2 **再生モードパレットで ⊡ を選択**
トリミング範囲指定画面が表示

3 **トリミングする大きさ／範囲を指定**

ボタン・ダイヤル操作

	トリミングサイズ変更
▲▼◀▶	トリミング範囲移動
INFO	アスペクト比／画像回転設定
○	トリミング範囲回転（可能時のみ）

4 **OK を押す**
保存の確認画面が表示

5 **「保存」を選択、OK を押す**

色モアレを補正する

色モアレが発生した画像を補正します。

1 **1画像表示で対象画像を表示**

2 **再生モードパレットで を選択**

補正できない画像の場合は、「この画像を処理できません」と表示

3 **◀▶ で強度を選択、OK を押す**

保存の確認画面が表示

4 **「保存」を選択、OK を押す**

注意

- 色モアレ補正ができるのは、本機で撮影したJPEG画像のみです。

デジタルフィルターで加工する

1 **1画像表示で対象画像を表示**

2 **再生モードパレットで を選択**

フィルター選択画面が表示

3 **フィルターを選択**

で画像切り替え

ベースメイク	デッサン
色抽出	水彩画
色の置換え	パステル
トイカメラ	ポスタリゼーション
レトロ	ミニチュア
ハイコントラスト	ソフト
シェーディング	クロス
ネガポジ反転	フィッシュアイ
ソリッドモノカラー	スリム
ハードモノクローム	モノトーン
ドラマチックアート	

パラメーターの変更が不要なときは、手順7へ

4 **INFO を押す**

パラメーター設定画面が表示

5 パラメーターを設定

ボタン・ダイヤル操作	
▲▼	パラメーター選択
◀▶	値調整

6 OK を押す

手順3の画面に戻る

7 OK を押す

保存の確認画面が表示

8 フィルターを重ねる／保存を選択、OK を押す

続けて他のフィルターを重ねて指定する場合は「フィルターを重ねる」を選択。手順3の画面に戻る

注意

- デジタルフィルターで加工できるのは、本機で撮影したJPEG／RAW画像のみです。
- 撮影時にHDR撮影／Real Resolutionを設定したRAW画像を、デジタルフィルターで加工することはできません。

メモ

- フィルターは撮影時に設定したデジタルフィルター（p.77）も含めて、20回まで重ねることができます。

フィルターを再現する

フィルターをかけた画像の設定を呼び出し、他の画像に同じフィルターを適用します。

1 1画像表示でデジタルフィルター画像を表示

2 再生モードパレットで を選択

3 「フィルターを再現する」を選択、OK を押す

選択画像に設定済みのフィルターの履歴が表示

4 パラメーターを確認する場合は INFO を押す

再度 INFO を押すと元の画面に戻る

5 OK を押す

画像選択画画面が表示

6 でフィルター処理する画像を選択、OK を押す

フィルター処理されていない画像のみ選択可能

保存の確認画面が表示

7 「保存」を選択、OK を押す

メモ

- 手順3で「元画像を探す」を選択すると、デジタルフィルターを設定する前の画像を呼び出すことができます。

動画を編集する

1 1画像表示で対象動画を表示

2 再生モードパレットで を選択

動画編集画面が表示

3 分割箇所を指定

画面上部に分割位置の先頭コマが表示
4箇所（5分割）まで指定可能

ボタン・ダイヤル操作

▲	再生／一時停止
▶	（一時停止中）コマ送り
▶長押し	早送り再生
◀	（一時停止中）コマ戻し
◀長押し	早戻し再生
	音量調節
INFO	分割位置指定／解除

消去しない場合は、手順7へ

4 を押す

消去指定画面が表示

5 ◀▶ で選択枠を移動、OK を押す

消去範囲を選択（複数選択可能）
再度 OK を押すと、選択解除

6 MENU を押す

手順3の画面に戻る

7 OK を押す

保存の確認画面が表示

8 「保存」を選択、OK を押す

メモ

- 分割位置は、動画の時系列に沿って先頭から順に指定します。分割位置を解除するときは、逆方向（後ろから前）に順に指定します。途中に分割位置を追加／解除はできません。

RAW展開

RAW画像をJPEG形式に変換して保存します。

1 再生モードパレットで RAW を選択

処理単位の選択画面が表示

2 処理単位を選択、OK を押す

1画像選択	1枚のみ展開
複数画像選択	最大500枚までの画像を同一設定で展開
フォルダー選択	1フォルダー内の画像を最大500枚まで同一設定で展開

「1画像選択」は手順6へ
画像選択／フォルダー選択画面が表示

3 画像／フォルダーを選択

画像の選択方法は「選択して消去する」（p.84）の手順2を参照
フォルダーを選択した場合は手順5へ

4 INFO を押す

パラメーター設定方法の選択画面が表示

5 パラメーターの設定方法を選択、OK を押す

撮影時の設定で展開	アスペクト比／JPEG記録サイズ／JPEG画質／色空間のみ設定
設定を変更して展開	全パラメーターが設定可能

6 パラメーターを設定

ホワイトバランス	**ディストーション補正**
カスタムイメージ	**周辺光量補正**
増減感	**倍率色収差補正**
明瞭コントロール	**回折補正**
肌色補正	**フリンジ補正**
デジタルフィルター	**アスペクト比**
HDR撮影／Real Resolution	**JPEG記録サイズ**
シャドー補正	**JPEG画質**
高感度NR	**色空間**

ボタン・ダイヤル操作

	（1画像選択時）画像切り替え
▲▼◀▶	パラメーター選択
	値変更
INFO	画像確認
OK	詳細設定

7 ▲▼◀▶でJPEG→[ ]を選択、OK を押す

保存の確認画面が表示

8 「保存」を選択、OK を押す

「1画像選択」の場合は継続／終了を選択、OK を押す

注意

- RAW展開できるのは、本機で撮影したRAW画像のみです。
- ドライブモードの多重露出／インターバル合成で撮影したRAW画像には、レンズ補正は設定できません。

メモ

- 手順 2 で複数画像選択／フォルダー選択を選択した場合は、新たな番号のフォルダーが作成され、JPEG画像が保存されます。
- パラメーターのHDR撮影／Real Resolutionは、撮影時の設定によっていずれかの設定ができます。
- 付属ソフトウェア「Digital Camera Utility 5」を使用すると、パソコンでRAW展開ができます。

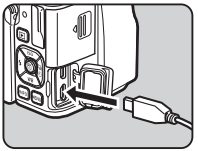
パソコンに画像をコピーする

USBケーブルを使用してパソコンと接続します。
micro B 端子を備えた市販のUSBケーブルを用意してください。

1 パソコンの電源を入れる

2 カメラの電源を切る

3 カメラの端子カバーを開き、USB端子にUSBケーブルを接続する



4 USBケーブルをパソコンのUSBポートに接続する

5 カメラの電源を入れる
カメラがリムーバブルディスクとしてパソコンに認識

6 カメラの画像をパソコンに保存

7 カメラをパソコンから取り外す

注意

- パソコンと接続中は、カメラの操作はできません。操作を行うときは、パソコンでUSB接続を終了してからカメラの電源を切り、USBケーブルを抜いてください。
- 手順5でパソコンの画面に「KF」ダイアログが表示された場合は、「フォルダーを開いてファイルを表示」を選択してOKボタンをクリックします。

メモ

- 本機との接続と付属ソフトウェアの使用に必要なパソコンのシステム環境については、「USB接続と付属ソフトウェアの動作環境」（p.131）を参照してください。
- カメラをパソコンに接続するときの転送モードは、3メニュー「USB接続」で設定します。初期設定は「MSC」になっており、通常は変更する必要はありません。
- 長時間使用するときは、別売のACアダプターキットのご使用をお勧めします。（p.39）

通信端末で利用する

本機はWi-Fi™機能を内蔵しており、無線LAN経由でスマートフォンやタブレットなどの通信端末と直接接続し、本機を操作したり画像を共有することができます。

Wi-Fi™を有効にする

電源を入れたときは、Wi-Fi™機能は無効になっています。以下のいずれかの操作で有効に設定します。

- メニューで設定する（p.96）
- Fx2を利用する（p.96）

Wi-Fi™機能が有効になると、電子音が鳴り、ステータススクリーン／ライブビューに無線LANの通信状態を表すアイコン（白）が表示されます。（グレー）が表示されているときは、通信端末と正しく接続されていません。

メモ

- Wi-Fi™ 機能を有効に設定しても、電源を入れ直すと無効に戻ります。また、モードにすると、Wi-Fi™は無効になります。
- Wi-Fi™ の通信状態が接続中／画像転送中のときは、オートパワーオフは働きません。未接続状態でオートパワーオフに移行したときは、Wi-Fi™機能は無効になります。オートパワーオフから復帰すると、有効になります。
- USB接続中は、Wi-Fi™機能は無効です。

注意

- 航空機内など無線通信の使用が制限または禁止されている場所では、Wi-Fi™を使用しないでください。
- Wi-Fi™ を使用するにあたっては、使用する国の法律を遵守してください。
- 無線 LAN 機能を内蔵したメモリーカード（Eye-Fi カードやFLUカードなど）を利用する場合は、電波が干渉することがあるため、本機のWi-Fi™を無効に設定してください。

メニューで設定する 🔧3

1 🔧3メニュー「Wi-Fi」を選択、▶を押す

「Wi-Fi」画面が表示

2 「動作モード」をオンに設定

Wi-Fi™ を無効にするときはオフに設定

3 MENU を2回押す

メモ

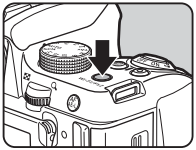
- 手順2の画面の「通信情報」で、無線LANのSSID／パスワード／MACアドレスが確認できます。また「通信設定のリセット」で、設定を初期状態に戻すことができます。

Fx2 を利用する

1 再生モードの 1 画像表示で、Fx2 を長押しする

電子音が鳴り、画面に「Wi-Fiオン」と表示

Wi-Fi™ 機能を無効にするときは、もう一度 Fx2 を長押しする



注意

- 初期設定では、Fx2 長押しでWi-Fi™のオン／オフが切り替えられます。📷5メニュー「ボタンカスタマイズ」で設定を変更している場合は、上記操作はできません。（p.98）

通信端末で操作する

本機と通信端末をWi-Fi™で接続し、専用アプリ「Image Sync」を使って以下の機能が利用できます。

リモート撮影	通信端末に本機のライブビュー画像を表示し、通信端末を操作して露出設定や撮影を行う
画像閲覧	本機のメモリーカードに保存されている画像を通信端末に表示し、画像を取り込む

Image SyncはiOSとAndroid™に対応しています。Image Syncは、App StoreまたはGoogle Play™からダウンロードしてください。対応OSなどの詳細は、ダウンロードサイトを参照してください。

メモ

- 本機と通信端末の接続方法や専用アプリ「ImageSync」の機能は、下記アドレスを参照してください。
  https://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/products/app/image-sync2/
- 通信端末の操作については、お使いの機器の使用説明書等を参照してください。

カメラの設定

ボタン／ダイヤルをカスタマイズする

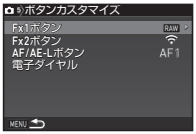
5／2

ボタンの動作を設定する

Fx1／Fx2／AF/AE-Lの動作を設定します。
モードでは、AF/AE-Lの設定ができます。

1 **5／2メニュー「ボタンカスタマイズ」を選択、▶を押す**
「ボタンカスタマイズ」画面が表示

2 **ボタンを選択、▶を押す**
各ボタンの設定画面が表示



3 **▶を押し、▲▼で割り当てる機能を選択**
それぞれ以下の機能が割り当て可能

	設定	機能	参照
Fx1ボタン Fx2ボタン	**ワンタッチRAW+**	一時的に記録形式を変更	p.99
	Wi-Fi	Wi-Fi™のオン／オフ切り替え	p.96
	アウトドアモニター	屋外での画像モニターの明るさを調整	p.102
	赤色画面表示	赤色画面表示のオン／オフ切り替え	p.120
	プレビュー	撮影前に構図・露出・ピント等を確認	p.100
	電子水準器	ファインダー内／ライブビューの電子水準器表示のオン／オフ切り替え	p.19
	測距点移動	測距点移動モードとダイレクトキーモードを切り替え	p.63、p.64

	設定	機能	参照
AF/AE-Lボタン	AF作動1	AF/AE-L でオートフォーカスが作動	p.61
	AF作動2	AF/AE-L でオートフォーカスが作動。SHUTTER 半押し無効	
	AFキャンセル	AF/AE-L を押している間、SHUTTER 半押し無効	
	AEロック	露出を記録	p.53

4 OK を押す

5 MENU を押す

手順2の画面に戻る
手順2～5を繰り返す

6 MENU を2回押す

メモ

- ガイド表示（p.45）が表示されているときに、ボタンに割り当てられている機能が確認できます。
- Fx1／Fx2の両方に同じ機能を設定することもできます。
- AEロック／ワンタッチRAW+／Wi-Fi／赤色画面表示／電子水準器を割り当てたときは、ボタンを操作したときに電子音が鳴ります。電子音を鳴らしたくない場合は、🔧1メニュー「電子音」で変更できます。（p.31）

ワンタッチRAW+を設定する

撮影時に、Fx1／Fx2を押して一時的に記録形式を変更することができます。初期設定では、Fx1に「ワンタッチRAW+」が割り当てられています
Fx1／Fx2を押したときに変更する形式を、「記録形式」ごとに選択します。

1 「ボタンの動作を設定する」（p.98）の手順3でFx1ボタン／Fx2ボタンを「ワンタッチRAW+」に設定

2 「撮影毎に解除」の☑／□を切り替え

☑	1回撮影するたびに📷2メニュー「記録設定」の「記録形式」の設定に戻る
□	以下の操作を行うまで設定を継続 • 再度Fx1／Fx2を押す • ▶／MENU／INFO／モードダイヤル／電源レバーのいずれかを操作

3 Fx1 ／ Fx2 を押したときの記録形式を選択

左が「記録形式」の設定、右が Fx1 ／ Fx2 を押したときの記録形式

4 MENU を3回押す

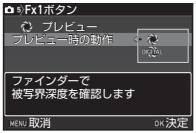
撮影待機状態に戻る

プレビューを設定する

Fx1／Fx2を押して、撮影前にプレビューが表示できます。

1 「ボタンの動作を設定する」（p.98）の手順3でFx1ボタン／Fx2ボタンを「プレビュー」に設定

2 「プレビュー時の動作」でプレビューの種類を選択、OKを押す



光学プレビュー	被写界深度をファインダーで確認
DIGITAL デジタルプレビュー	構図・露出・ピントなどを画像モニターで確認 拡大表示、プレビュー画像の保存が可能

を選択したときは、手順4へ

3 ▼を押し、表示の□／☑を設定

4 MENUを3回押す

撮影待機状態に戻る

メモ

- 以下のときは、設定にかかわらず光学プレビューで動作します。
  - ドライブモードのミラーアップ撮影／多重露出／インターバル撮影
  - アストロトレーサー
  - 🎥モード

注意

- 一部の機能は、デジタルプレビューに適用されません。

電子ダイヤルの動作を設定する

／／の動作を露出モード別に設定できます。
Bモード以外の露出モードが設定できます。

1 **5／2メニュー「ボタンカスタマイズ」の「電子ダイヤル」を選択、▶を押す**
「電子ダイヤル」画面が表示

2 **露出モードを選択、▶を押す**
選択した露出モードの画面が表示

3 **▶を押し、▲▼で／／の動作の組み合わせを選択**

Tv	シャッター速度変更
Av	絞り値変更
ISO	ISO感度変更
☒	露出補正
➡**P**	**P**に戻る
PSHIFT	プログラムシフト
PLINE	プログラムライン
--	操作無効

4 **OKを押す**

5 **MENUを押す**
「電子ダイヤル」画面に戻る
手順2〜5を繰り返す

6 **MENUを2回押す**

メモ

- 手順2で「回転方向設定」を選択すると、／を操作したときの値の変化を逆方向に変更することができます。
- ガイド表示（p.45）が表示されているときに、ダイヤルに割り当てられている機能が確認できます。

画像モニターとランプを設定する 🔧2

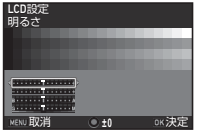
LCD設定

画像モニターの明るさ／彩度／色調整の設定ができます。

1 🔧2メニュー「LCD設定」を選択、▶を押す

「LCD設定」画面が表示

2 明るさ／彩度／色調整を設定



ボタン・ダイヤル操作

▲▼	項目選択
◀▶	値調整
○	リセット

3 OK を押す

🔧2メニューに戻る

アウトドアモニター

屋外などで撮影するときに画像モニターの表示が見にくい場合は、🔧2メニュー「アウトドアモニター」で明るさを調節することができます。

メモ

- 📷5メニュー「ボタンカスタマイズ」で Fx1／Fx2 に「アウトドアモニター」を割り当てると、ボタンの操作で画像モニターの明るさを切り替えることができます。（p.98）

インジケーター

各ランプを点灯させるかどうかを🔧2メニュー「インジケーター」で設定します。

ボディライト	強／弱／オフ
セルフタイマー	オン／オフ
リモコン	オン／オフ
GPSユニットのランプ	オン／オフ

よく使う設定値を登録する　5

モードダイヤル**U1**～**U3**には、初期設定でCLEAR TONE／HDR LANDSCAPE／ASTROPHOTOの設定が登録されています。
これ以外に、カメラの設定をまとめて登録して利用することもできます。
以下の設定が登録できます。

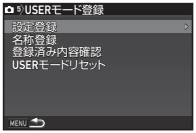
露出モード（**P**／**Sv**／**Tv**／**Av**／**TAv**／**M**／**B**）	ドライブモード
ISO感度	ホワイトバランス
露出補正	カスタムイメージ
AFエリア	メニューの設定（一部を除く）
フラッシュモード	Cメニューの設定

設定を登録する

1 **登録する露出モードと機能をすべて設定する**

2 **5メニュー「USERモード登録」を選択、▶を押す**
「USERモード登録」画面が表示

3 **「設定登録」で▶を押す**
「設定登録」画面が表示



4 **USER1～USER3を選択、▶を押す**

5 **「登録」を選択、OKを押す**
手順3の画面に戻る

注意
- モードダイヤルが**AUTO**／**SCN**になっているときは、「USERモード登録」は選択できません。

メモ
- 登録した設定内容は、手順 3 の画面で「登録済み内容確認」を選択すると確認できます。
- 設定を初期設定に戻すときは、手順3の画面で「USERモードリセット」を選択します。

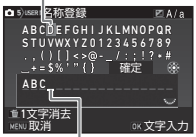
名前を登録する

登録した設定に名前を付けることができます。

1 **「設定を登録する」（p.103）の手順3で「名称登録」を選択、▶を押す**
「名称登録」画面が表示

2 **USER1～USER3を選択、▶を押す**
文字を入力する画面が表示

3 **文字を入力**
半角18文字以内で英数字・記号を入力



ボタン・ダイヤル操作

▲▼◀▶	文字選択カーソルを移動
	文字入力カーソルを移動
	大文字／小文字切り替え
OK	文字選択カーソルが選択している文字を文字入力カーソルの位置に入力
	文字入力カーソル位置の文字を消去

4 文字が全部入力できたら文字選択カーソルを「確定」まで移動、OK を押す

「名称登録」画面に戻る

USERモードを利用する

1 モードダイヤルをU1～U3に合わせる

USERモードの名称が表示
▲▼で登録内容の確認が可能

2 必要に応じて設定を変更

露出モードを変更する場合は
1メニュー「露出モード」で変更

メモ

- 手順2で変更した設定は、USERモードに登録されません。電源を切ると登録済みの設定に戻ります。設定を変更する場合は登録をやり直してください。

目的地の日時を表示する　1

「初期設定」（p.42）で設定した日時は現在地の日時として設定され、画像の撮影日時に反映されます。
現在地とは別に目的地を設定すると、海外で使用する際に画像モニターに目的地の日時を表示し、画像に現地時間を記録できます。

1 **1メニュー「ワールドタイム」を選択**
「ワールドタイム」画面が表示

2 **「時刻切替」で表示する時刻を選択**
（現在地）／（目的地）

3 **「目的地」を選択、▶を押す**
「目的地」画面が表示

4 **◀▶で都市を選択**
で地図表示切り替え

5 **「夏時間」を選択、◀▶で□／☑を設定**

6 **OK を押す**
手順2の画面に戻る

7 **MENU を2回押す**

メモ

- 現在地／目的地に指定できる都市は、「都市名一覧」（p.131）を参照してください。
- 手順3で「現在地」を選択すると、現在地の都市／夏時間が変更できます。
- 「時刻切替」を に設定すると、コントロールパネルに と目的地の日時が表示されます。

カメラに保存する設定を選択する　5

本機で設定した機能は、ほとんどが電源を切っても記憶されています。以下の機能については、電源を切ったときに記憶する（☑）か初期設定に戻す（□）かを選択できます。
5メニュー「モードメモリ」で設定します。

ISO感度	肌色補正
露出補正	デジタルフィルター
フラッシュモード	HDR撮影
フラッシュ光量補正	Real Resolution
ドライブモード	撮影情報表示
ホワイトバランス	再生情報表示
カスタムイメージ	アウトドアモニター
明瞭コントロール	赤色画面表示

メモ

- 5メニュー「リセット」を実行すると、モードメモリの設定も初期設定に戻ります。

画像管理に関する設定

画像を消去できないようにする（プロテクト）

画像を誤って消去しないようにプロテクト（保護）します。

注意

- プロテクトされた画像も、メモリーカードをフォーマットすると消去されます。

1 再生モードパレットで ⊶ を選択

処理単位の選択画面が表示

2 画像選択／フォルダー選択を選択、OK を押す

3 画像／フォルダーを選択

画像の選択方法は「選択して消去する」（p.84）の手順2を参照

「フォルダー選択」は、手順5へ

4 INFO を押す

確認画面が表示

5 「プロテクト」を選択、OK を押す

メモ

- メモリーカードの画像をまとめてプロテクトする場合は、▶1メニュー「全画像プロテクト」を選択します。

フォルダー／ファイルの設定 4

フォルダー新規作成

4メニュー「フォルダー新規作成」を選択すると、次の画像の保存時に新たな番号のフォルダーを作成します。

注意

- 複数のフォルダーを続けて作成することはできません。

メモ

- 以下の場合は、自動的に新しいフォルダーが作成されます。
  - ドライブモード「インターバル撮影」（p.71）
  - 再生モードパレット「RAW 展開」の複数画像選択／フォルダー選択（p.92）

フォルダー名

本機で撮影を行うと、フォルダーが自動的に作成されて画像が保存されます。フォルダー名には、100～999の連番と5文字の文字列が付きます。
フォルダー名の文字列を変更することができます。

1 **4メニュー「フォルダー名」を選択、▶を押す**
「フォルダー名」画面が表示

2 **▶を押し、日付／任意を選択**

日付	フォルダー番号の後ろに撮影した月日が4桁で付く 月日は「日時設定」の表示スタイルに準じる 例）101_0125・・・1月25日に撮影
任意	フォルダー番号の後ろに任意の5文字が付く （初期設定：PENTX） 例）101PENTX

「日付」を選択した場合、または文字列を変更しない場合は、手順6へ

3 **▼を押してから▶を押す**
文字を入力する画面が表示

4 **文字を入力**
半角5文字で英数字を入力

文字選択カーソル

文字入力カーソル

ボタン・ダイヤル操作

▲▼◀▶	文字選択カーソルを移動
	文字入力カーソルを移動
OK	文字選択カーソルが選択している文字を文字入力カーソルの位置に入力
○	リセット

5 文字が全部入力できたら文字選択カーソルを「確定」まで移動、OKを押す

6 MENUを2回押す

メモ

- フォルダー名を変更すると、新たな番号のフォルダーが作成されます。
- 1つのフォルダーには、最大500枚の画像が保存されます。撮影枚数が500枚を超えると、次の番号のフォルダーが作成されます。ただし、ドライブモードの「ブラケット撮影」では、撮影が終了するまで同じフォルダーに保存されます。

注意

- フォルダー番号は最大999番です。999番フォルダーが作成済みのときに、フォルダー名の変更やフォルダー新規作成などを行うと、撮影ができなくなります。またファイル番号が9999に達したときも、撮影ができなくなります。

ファイル名

ファイル名の先頭には、2メニュー「記録設定」の「色空間」の設定によって以下の文字列が付きます。

色空間	ファイル名
sRGB	IMGP****.JPG
AdobeRGB	_IMG****.JPG

先頭の4文字を任意の文字列に変更することができます。

1 4メニュー「ファイル名」を選択、▶を押す

「ファイル名」画面が表示

2 ／を選択、▶を押す

文字を入力する画面が表示

3 文字を入力

半角4文字以内で英数字を入力

入力方法は「フォルダー名」（p.107）の手順4〜5を参照

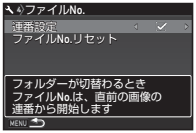
4 MENUを2回押す

メモ

- 色空間が「AdobeRGB」の場合はファイル名の先頭は「_」となり、指定した文字列の先頭3文字がファイル名になります。
- 動画は色空間の設定にかかわらず「IMGP****.MOV」、または指定した文字列が付いたファイル名になります。

ファイルNo.

ファイル名には、4文字の文字列の後に0001～9999の連番が付きます。フォルダーが新しくなったときにファイル番号を継続するかどうかを4メニュー「ファイルNo.」の「連番設定」で設定できます。



☑	フォルダーが新しくなっても画像のファイル番号を継続
□	フォルダーが新しくなるたびに、画像のファイル番号を0001から開始

「ファイルNo.リセット」を実行すると、ファイル番号がリセットされます。

メモ

- ファイル番号が9999に達すると、フォルダーが新規に作成されてファイル番号がリセットされます。

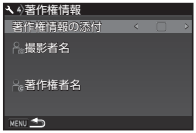
著作権情報の設定 4

画像のExifデータに記録する撮影者・著作権者の情報を設定します。

1 4メニュー「著作権情報」を選択、▶を押す

「著作権情報」画面が表示

2 ◀▶ で「著作権情報の添付」を指定



□	著作権情報を記録しない
☑	著作権情報を記録する

3 撮影者名／著作権者名を選択、▶を押す

文字を入力する画面が表示

4 文字を入力

半角32文字以内で英数字・記号を入力
入力方法は「名前を登録する」（p.103）の手順3～4を参照

5 MENU を2回押す

メモ

- Exif情報は、再生モードの「詳細情報表示」（p.17）や付属ソフトウェア「Digital Camera Utility 5」などで確認できます。

撮影モードの機能制限

×：組み合わせ不可　△：制限付きで組み合わせ可

撮影モード / 機能		AUTO	SCN									B	
ISO感度								×	×		×	ISO AUTO 不可	
フラッシュ							×	×			×		×
ドライブモード	連続撮影				固定			×		固定		×	×
	セルフタイマー				×					×			×
	リモコン				×					×			のみ
	ブラケット撮影				×			×		×		×	×
	多重露出				×			×		×			×
	インターバル撮影				×					×		×	×
	インターバル合成				×			×		×		×	×
	インターバル動画				×					×		×	×
	スタートリーム				×			×		×		×	×
ファインダー撮影時AF		AF.A 固定	AF.S 固定	AF.S 固定	AF.C 固定	AF.S 固定	AF.S 固定	AF.S 固定	AF.C 固定	AF.C 固定	AF.C 固定		

撮影モード／機能	AUTO	SCN									B	
記録形式 RAW／RAW+												×
ホワイトバランス	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定	AWB 固定		
カスタムイメージ	×*1	×*1	×*1	×*1	×*1	×*1	×*1	×*1	×*1	×*1		
明瞭コントロール／肌色補正							×					
デジタルフィルター							×					
HDR撮影				×			×*2		×		×	×
Real Resolution				×			×		×		×	×
ローパスセレクター				△*3			×		△*3		△*3	×
Shake Reduction							オン 固定				×	
バッファ RAW保存				×					×			×

*1　撮影モードによって固定値がプリセット
*2　HDR AUTO設定
*3　ブラケット不可

特殊機能の組み合わせ制限

×：組み合わせ不可　△：制限付きで組み合わせ可

		明瞭コントロール／肌色補正／デジタルフィルター	HDR撮影	Real Resolution	アストロトレーサー	ローパスセレクター	ディストーション補正／回折補正	バッファRAW保存
フラッシュ			×	×				
ドライブモード	連続撮影		×	×	×	△*2		×
	ブラケット撮影		×	×	×	△*2		
	ミラーアップ撮影		×			△*2		
	多重露出	×	×	×	×	△*2	×	
	インターバル撮影	△*1	△*1	×	×	△*2		△*3
	インターバル合成	×	×	×	×	△*2	×	△*3
	インターバル動画	△*1	△*1	×	×	△*2		×
	スタートストリーム	×	×	×	×	△*2	×	×
HDR撮影		×		×	×	×		
Real Resolution		×	×		×	×		
ローパスセレクター			×	×	△*2			

*1　「撮影間隔」の最短値に制限あり
*2　ブラケット不可
*3　最終コマのみ保存可能

各種レンズ使用時の機能

DA／DA L／D FA／FA J／FAレンズ、または絞り**A**位置があるレンズを絞り**A**位置で使用すると、本機の撮影モードがすべて利用できます。
使用するレンズによって、以下の制限があります。

○：使用可能　△：機能制限あり　×：使用不可

機能＼レンズグループ［マウント名称］	DA DA L D FA［KAF］［KAF2］［KAF3］［KAF4］	FA J FA *6［KAF］［KAF2］	F *6［KAF］	A［KA］	M P［K］
オートフォーカス（レンズ単体使用）（AFアダプター 1.7×使用）*1	○ –	○ –	○ –	– △	– △
マニュアルフォーカス（フォーカスインジケーター表示の利用）*2（マット面の利用）	○	○	○	○	○
クイックシフトフォーカス	△*4	×	×	×	×
測距点「オート」	○	○	○	△*8	×
測光方式「分割」	○	○	○	○	×
P／**Sv**／**Tv**／**Av**／**TAv**モード	○	○	○	○	△*9
Mモード	○	○	○	○	△
P-TTLオートフラッシュ撮影 *3	○	○	○	○	×
レンズ焦点距離の自動取得	○	○	○	×	×
レンズ補正	○*5	△*7	×	×	×

*1　レンズの開放F値がF2.8、またはそれより明るいレンズで**A**位置でのみ使用可能
*2　レンズの開放F値がF5.6、またはそれより明るいレンズのみ使用可能
*3　内蔵フラッシュまたはAF540FGZ／AF540FGZ II／AF360FGZ／AF360FGZ II／AF201FG／AF200FG／AF160FC使用時
*4　対応レンズのみ可能
*5　DA FISH EYE 10-17mmは、ディストーション補正／周辺光量補正無効
*6　FA SOFT 28mm F2.8／FA SOFT 85mm F2.8／F SOFT 85mm F2.8では、**C**4メニュー「24 絞りリングの使用」で「許可」を設定した上で、手動絞りの範囲でのみ設定した絞り値で撮影可能
*7　以下のFAレンズでレンズ補正可能（絞り**A**位置以外では、ディストーション補正／倍率色収差補正のみ可）
FA★24mm F2 AL [IF]／FA 28mm F2.8 AL／FA 31mm F1.8 Limited／FA 35mm F2 AL／FA 43mm F1.9 Limited／FA 50mm F1.4／FA 77mm F1.8 Limited／FA★85mm F1.4 [IF]／FA★200mm F2.8 ED [IF]／FA★MACRO 200mm F4 ED／FA★300mm F2.8 ED [IF]／FA★300mm F4.5 ED [IF]／FA★400mm F5.6 ED [IF]／FA★600mm F4 ED [IF]／FA★28-70mm F2.8 ED [IF]／FA★80-200mm F2.8 ED [IF]／FA★250-600mm F5.6 ED [IF]
*8　「スポット」固定
*9　絞りは開放の**Av**（絞りリング無効）

注意

- 絞り**A**位置があるレンズを絞り**A**位置以外で使用したり、**A**位置のないレンズや接写リングなどのアクセサリーを取り付けた場合、**C**4メニュー「24 絞りリングの使用」で「許可」を設定しない限り、カメラは作動しません。「絞りリングの使用を許可する」（p.115）を参照してください。
- 沈胴式レンズを装着している場合は、レンズが収納された状態では撮影や一部の機能の設定ができません。また、カメラが動作中にレンズを収納すると、処理が中断されます。

マウント名称について

DA／D FAレンズのうちモーターを搭載したレンズと、FAズームレンズのうちパワーズームが可能なレンズのマウントはKAF2マウント（AFカプラーのないレンズはKAF3マウント）です。
KAF3マウントで絞りレバーのないもの（電磁絞り方式）のレンズは、KAF4マウントです。
FAの単焦点レンズ（ズームでないレンズ）と、モーターを搭載していないDA／DA Lレンズ、D FA／FA J／Fレンズのマウントは KAFマウントです。（本機はパワーズーム非対応）
詳しくはレンズの使用説明書を参照してください。

内蔵フラッシュとの適合

レンズによって、内蔵フラッシュの使用に制限があります。

（2022年06月現在）

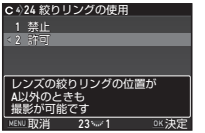
レンズ	内蔵フラッシュ使用時の制限
DA FISH-EYE 10-17mm F3.5-4.5 ED [IF]／DA★11-18mm F2.8 ED DC AW／DA 12-24mm F4 ED AL／DA 14mm F2.8 ED [IF]／DA 15mm F4 ED AL／D FA 15-30mm F2.8 ED SDM WR／D FA 21mm F2.4 ED Limited DC WR／FA★300mm F2.8 ED [IF]／DA★560mm F5.6 ED AW／FA★600mm F4 ED [IF]／FA★250-600mm F5.6 ED [IF]	ケラレが発生するので内蔵フラッシュ使用不可
F FISH-EYE 17-28mm F3.5-4.5	焦点距離が20mm未満ではケラレが発生することがある
DA 16-45mm F4 ED AL	焦点距離が28mm未満のとき、または焦点距離が28mmで撮影距離が1m以下のときはケラレが発生することがある
DA★16-50mm F2.8 ED AL [IF] SDM	焦点距離が20mm以下のとき、または焦点距離が35mmで撮影距離が1.5m未満のときはケラレが発生

レンズ	内蔵フラッシュ使用時の制限
DA 16-85mm F3.5-5.6 ED DC WR	焦点距離が24mm以下で撮影距離が0.8m以下のときはケラレが発生
DA 17-70mm F4 AL [IF] SDM	焦点距離が24mm未満のとき、または焦点距離が35mmで撮影距離が1m以下のときはケラレが発生
DA 18-250mm F3.5-6.3 ED AL [IF]	焦点距離が35mm未満ではケラレが発生
DA 18-270mm F3.5-6.3 ED SDM	焦点距離が24mm未満ではケラレが発生することがある
D FA 24-70mm F2.8 ED SDM WR	焦点距離が36mm未満ではケラレが発生することがある
FA★28-70mm F2.8 AL	焦点距離が28mmで撮影距離が1m未満のときは、ケラレが発生することがある
FA SOFT 28mm F2.8／FA SOFT 85mm F2.8	内蔵フラッシュは常にフル発光

絞りリングの使用を許可する　C4

D FA／FA／F／Aレンズで絞りを**A**位置以外にしたり、**A**位置がないレンズでも、撮影ができるようにします。

C4メニュー「24 絞りリングの使用」で「許可」を選択します。



この場合、次の制約があります。

使用レンズ	制約
D FA／FA／F／A／M（レンズ単体、オート接写リングKなどの自動絞り機能のアクセサリーと組み合わせた場合）	絞りは開放固定 *1 レンズの開放絞りに連動してシャッター速度は変化するが、露出の誤差が生じることがある
D FA／FA／F／A／M／S（接写リングKなどの絞り込み機能のアクセサリーと組み合わせた場合） レフレックスレンズなどの手動絞りのレンズ（レンズ単体）	設定した絞り値で撮影されるが、露出の誤差が生じることがある
FA SOFT 28mm／FA SOFT 85mm／F SOFT 85mm（レンズ単体）	手動絞りの範囲のみ、設定した絞り値で撮影 *1

*1　**M**／**B**モードでは指定絞りまで絞られる

メモ

- 絞りを **A** 位置以外にセットした場合、**M**／**B** モード以外はモードダイヤルの位置にかかわらず、**Av** モードで動作します。
- ステータススクリーン／ファインダー内／ライブビューの絞り値は「F--」と表示されます。

絞り A 位置以外で露出を測る方法

絞りを **A** 位置以外にしたときは、以下の方法で適正露出が得られます。

1 モードダイヤルを **M** に合わせる
2 レンズの絞りリングを設定したい絞り値に合わせる
3 **O** を押す
シャッター速度が適正値に設定
4 適正露出が得られないときは、ISO感度を調整

キャッチインフォーカスで撮影する　C4

マニュアルフォーカスレンズを使用すると、ピントが合ったときに自動的にシャッターをきる「キャッチインフォーカス撮影」ができます。

1 本機にマニュアルフォーカスレンズを取り付ける

2 C4メニュー「22 キャッチインフォーカス」を「オン」に設定する

3 フォーカスモードを AF、「AF モード」を AF.S に設定する

4 カメラを設置する

5 被写体が通りそうな位置にピントを合わせ、SHUTTER 全押し

被写体がピントを合わせた位置に入ると、自動的に撮影

レンズ焦点距離を入力する 4

Shake Reductionは、レンズの焦点距離などの情報を取得して動作します。そのため、焦点距離が自動取得できないレンズを使用する場合は、手動で設定する必要があります。

1 C4メニュー「24 絞りリングの使用」を「許可」に設定する

2 カメラの電源を切る

3 カメラにレンズを装着し、電源を入れる

「焦点距離入力」画面が表示

4 ▲▼で焦点距離を選択

◀を押すと一覧から選択
ズームレンズ使用時は、ズームの焦点距離を設定

5 OK を押す

撮影待機状態に戻る

メモ

- レンズ焦点距離は、4メニュー「焦点距離入力」で変更できます。

外付けフラッシュ利用時の機能

別売の外付けフラッシュを使用すると、P-TTLオートフラッシュ撮影などのさまざまなフラッシュ撮影ができます。

○：使用可能　△：機能制限あり　×：使用不可

対応フラッシュ／カメラの機能	内蔵フラッシュ	AF540FGZ AF540FGZ II AF360FGZ AF360FGZ II	AF201FG AF200FG AF160FC
赤目軽減機能	○	○	○
フラッシュ自動発光	○	○	○
同調速度への自動切り替え	○	○	○
P／**Tv**モードで絞り値自動セット	○	○	○
P-TTLオートフラッシュ撮影	○*1	○*1	○*1
スローシンクロ撮影	○	○	○
フラッシュ光量補正	○	○	○
外付けフラッシュのAF補助光使用	×	○*2	×
後幕シンクロ撮影 *3	○	○	△*4
光量比制御モード	△*5	○	△*6
スレーブ機能	×	○	×
ハイスピードシンクロ撮影	×	○	×

*1 DA／DA L／D FA／FA J／FA／F／Aレンズを使用した場合のみ可能（絞り **A** 位置があるレンズは、**A** 位置で使用）
*2 AF540FGZ／AF360FGZのAF補助投光は不可
*3 シャッター速度は1/90秒以下
*4 AF201FGは可能
*5 AF540FGZ／AF540FGZ II／AF360FGZ／AF360FGZ IIと組み合わせたときに、内蔵フラッシュ 1/3、外付けフラッシュ 2/3の光量配分で可能
*6 AF540FGZ／AF540FGZ II／AF360FGZ／AF360FGZ IIと組み合わせた場合のみ可能

注意

- 外付けフラッシュを取り付けた状態で、カメラの ⚡ を押さないでください。内蔵フラッシュが外付けフラッシュに接触します。内蔵フラッシュと外付けフラッシュを同時に使用する場合は、延長コードを利用して接続してください。
- 極性が逆（ホットシュー中央の接点がマイナス）のフラッシュは使用できません。カメラやフラッシュが壊れるおそれがあります。
- ホットシューグリップなど接点数の異なるアクセサリーを組み合わせると誤作動の原因になるので、使用しないでください。
- 他社製フラッシュを組み合わせると、故障の原因になる場合があります。

メモ

- AF540FGZ／AF540FGZ II／AF360FGZ／AF360FGZ IIは、1/180秒より速いシャッター速度のときにもフラッシュを発光して撮影する「ハイスピードシンクロ撮影」ができます。カメラの撮影モードを **Tv** ／ **TAv** ／ **M** に設定します。

GPSユニットを利用する

本機に別売のGPSユニットO-GPS1／O-GPS2を装着すると、画像の撮影情報にGPS情報が記録されるほかに、以下の機能が利用できます。

電子コンパス	現在地の緯度・経度・高度とカメラの向き（方位）、協定世界時、撮影モード、露出値を表示
アストロトレーサー	天体を追尾して撮影 カメラに内蔵されているShake Reductionユニットを天体の動きに合わせて動かすことによって、長時間露光でも天体を点状に撮影可能（p.119）
自動時刻修正	GPS衛星から取得した情報を利用して、カメラの日時設定を自動的に補正 3メニュー「GPS/電子コンパス」で設定

メモ

- GPSユニットの取り付け方や機能の詳細は、GPSユニットの使用説明書を参照してください。
- 「電子コンパス」は、「撮影情報表示選択」（p.15）で表示することができます。

注意

- 本機では「直線ナビ」は使用できません。

天体を撮影する（アストロトレーサー）

アストロトレーサーを設定する　3

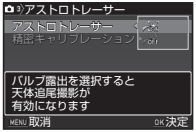
1 GPSユニットを装着し、電源を入れる

2 3メニュー「アストロトレーサー」を選択、▶を押す

「アストロトレーサー」画面が表示

3 「アストロトレーサー」で▶を押す

4 オンを選択、OKを押す

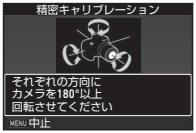


5 「精密キャリブレーション」で▶を押す

「精密キャリブレーション」画面が表示

6 画面の指示に従って、カメラを回転させる

終了すると、処理結果が表示



7 OKを押す

手順4の画面に戻る

「正しく処理できませんでした」と表示されたときは、カメラを向ける方角を変えて再度実行

8 MENUを2回押す

撮影待機状態に戻る

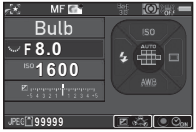
注意

- キャリブレーションを行うときは、ストラップを手首に巻くなどしてカメラを落とさないように注意してください。
- バッテリーを入れ直したときは、キャリブレーションをやり直してください。
- 撮影場所によって磁場環境が異なるため、アストロトレーサー撮影を行うときは、撮影場所で「精密キャリブレーション」を実行してください。
- キャリブレーション実行後に、レンズ交換や画像モニターの角度を変更すると、磁場環境に影響することがあります。その場合は、キャリブレーションを再度実行してください。

アストロトレーサーで撮影する

1 モードダイヤルをB、フォーカスモードをMFに設定する

2 撮影条件を設定する



ボタン・ダイヤル操作

	タイマー露光オン／オフ切り替え
	（タイマー露光オン）露光時間10"〜5'00"変更
	絞り値変更
	精密キャリブレーション実行

3 ピントを合わせ、SHUTTER全押し

撮影開始

4 もう一度SHUTTER全押し

撮影終了

「タイマー露光」を設定した場合は、設定した時間が経過すると自動的に撮影が終了

注意

- 一部の撮影モードでは使用できません。また、一部の機能とは組み合わせができません。（p.110）

画像モニターがまぶしいとき

暗い場所で長時間撮影するときは、2メニュー「赤色画面表示」をオンに設定すると、画像モニターを赤く表示することができます。また、5メニュー「ボタンカスタマイズ」でFx1／Fx2に「赤色画面表示」を割り当てると、ボタンの操作でオン／オフを切り替えることができます。（p.98）

困ったときは

メモ

- 静電気などの影響で、まれにカメラが正しく動作しないことがあります。このような場合は、バッテリーを入れ直してみてください。カメラが正常に動作すれば故障ではありません。

現象	原因	対処方法
電源が入らない	バッテリーが正しく入っていない	バッテリーの挿入方向を確認してください。
	バッテリーの残量がない	バッテリーを充電してください。
シャッターがきれない	内蔵フラッシュが充電中	充電が完了するまで待ってください。
	メモリーカードに空きがない	空き容量のあるメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。
	処理中	処理が終わるまで待ってください。
	レンズの絞りが**A**位置以外になっている	絞りを**A**位置にするか、**C**4メニュー「24 絞りリングの使用」で「許可」を選択してください。（p.115）
	AFモードが**AF.S**でピントが合っていない	フォーカスモードを**MF**にしてピントを合わせて撮影してください。

現象	原因	対処方法
ピントが合わない	オートフォーカスが苦手なものを被写体にしている	コントラストが低いもの（青空や白壁など）、暗いもの、細かい模様のもの、速く動いているもの、窓やネット越しの風景などは、**AF**が苦手なものです。 撮りたいものと同じ距離にある別のものにフォーカスロックしてから、撮りたい構図で撮影します。または、**MF**を使用してください。
	被写体が近すぎる	被写体から離れて撮影してください。
フォーカスロックできない	ライブビューのAFエリアが■になっている	「AFエリア」を■／■／■／■に設定してください。（p.63）
内蔵フラッシュが発光しない	フラッシュモードが⚡A／⚡A◎になっている	フラッシュモードが⚡A／⚡A◎になっているときは、被写体が明るいと発光しません。 フラッシュモードを変更してください。（p.59）
パソコンと接続しても認識されない	転送モードが「PTP」になっている	🔧3メニュー「USB接続」を「MSC」に設定してください。
画像にゴミが写り込む	CMOSセンサーに汚れやほこりが付着している	🔧5メニュー「ダストリムーバル」を実行してください。電源ON／OFF時に毎回作動させることもできます。 それでも解消しない場合は、「センサーのクリーニング」（p.122）を参照してください。

現象	原因	対処方法
撮影画像の表示に、欠けや常時点灯する箇所がある	CMOSセンサーの画素に欠けがある	🔧5メニュー「ピクセルマッピング」を実行してください。補完処理は30秒ほど時間がかかるので、十分に充電したバッテリーを使用してください。

センサーのクリーニング 🔧5

ミラーをアップし、ブロアーを使ってクリーニングします。

1 カメラの電源を切り、レンズを取り外す

2 カメラの電源を入れる

3 🔧5メニュー「センサークリーニング」を選択、▶を押す

「センサークリーニング」画面が表示

4 「ミラーアップ」を選択、OKを押す

ミラーがアップ

5 ブロアーを使用してクリーニングする

6 電源を切る

ミラーが戻る

注意

- スプレー式またはブラシ付きのブロアーは使用しないでください。CMOSセンサーが傷つくことがあります。また、CMOSセンサーは絶対に布で拭かないでください。
- ブロアー先端をレンズマウント面より中に入れないでください。万一電源が切れた場合、シャッター機構部やCMOSセンサー部、ミラー部が破損するおそれがあります。また、ゴミが外に落ちるよう、レンズマウント面を下に向けてブロアーを使用してください。
- バッテリー容量が少ない場合、「電池容量がたりないためクリーニングを行えません」と画像モニターに表示されます。容量が十分に残っているバッテリーを使用してください。クリーニングの途中でバッテリー容量が少なくなると警告音が鳴ります。その場合は、すぐにクリーニングを中止してください。

メモ

- CMOSセンサーは精密部品ですので、清掃はできるだけ当社の修理センターまたは、お客様窓口にご用命ください。
- クリーニングは、別売のイメージセンサークリーニングキット O-ICK1も使用できます。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	内容
カードの空き容量がありません	メモリーカードの容量いっぱいに画像が保存されていて、これ以上画像が保存できません。新しいメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。
画像がありません	メモリーカードに再生できる画像が保存されていません
この画像を表示できません	本機で再生できない画像を再生しようとしています。パソコンでは表示できる場合があります。
カードが入っていません	メモリーカードがセットされていません。
カードが異常です	メモリーカードの異常で、撮影／再生ともにできません。パソコンでは表示できる場合があります。
カードがフォーマットされていません	フォーマットされていないメモリーカードがセットされているか、他の機器で使用したメモリーカードがセットされています。本機でフォーマットしてから使用してください。
カードがロックされています	ライトプロテクトスイッチがロックされたメモリーカードがセットされています。（p.139）
このカードは利用できません	本機が対応していないメモリーカードがセットされています。
Wi-Fi機能は無効です	無線LAN機能が有効の状態で🎥モードに移行したときに表示されます。
この画像を拡大表示できません	拡大できない画像を拡大表示しようとしています。
この画像はプロテクトされています	消去しようとしている画像がプロテクトされています。画像のプロテクトを解除してください。（p.106）

エラーメッセージ	内容
電池容量がたりないため ピクセルマッピングを 行えません	ピクセルマッピング／センサークリーニング／アップデート実行時にバッテリー容量が足りない場合に表示されます。十分に充電したバッテリーを使用してください。
電池容量がたりないため クリーニングを 行えません	
電池容量がたりないため アップデートを行えません	
ファイルが壊れているため アップデートを行えません	アップデートファイルが壊れているため実行できません。アップデートファイルを再度ダウンロードしてください。
フォルダーが作成できません	最大のフォルダー No.（999）が使用されているため、画像が保存できません。新しいメモリーカードをセットするか、メモリーカードをフォーマットしてください。
画像を保存 できませんでした	メモリーカードの異常で、撮影した画像が保存できません。
正しく処理できませんでした	処理が失敗しました。もう一度やり直してください。
これ以上 選択できません	以下の機能で、上限枚数以上を選択しようとしています。 • 選択消去 • RAW展開 • プロテクト
処理できる 画像がありません	デジタルフィルターを適用できる画像、またはRAW展開できる画像がありません。
この画像を処理できません	他のカメラで撮影した画像に対してリサイズ／トリミング／デジタルフィルター／動画編集／RAW展開／マニュアルWB登録を実行した場合、または最小サイズの画像に対してリサイズ／トリミングを実行した場合に表示されます。
このモードでは 設定することができません	機能に制限がある撮影モードのときに、設定できない機能を設定しようとしています。

エラーメッセージ	内容
カメラが高温になりました 電源をオフします	カメラ内部が高温になったため、電源が切れます。しばらくしてから電源を入れてください。
撮影できる状態まで レンズのズームリングを まわしてください	沈胴式レンズを装着しているときに、レンズが収納されているため撮影ができません。（p.46）

主な仕様

型式

型式	P-TTLフラッシュ内蔵 TTL AE・AF一眼レフデジタルカメラ
レンズマウント	ペンタックスバヨネット KAF2マウント（AFカプラー・情報接点・電源接点付き）
使用レンズ	KAF4、KAF3、KAF2（パワーズーム非対応）、KAF、KAマウントレンズ

撮像部

撮像素子	種類：原色フィルター／CMOS、サイズ：23.5×15.6mm
有効画素数	約2424万画素
総画素数	約2478万画素
ダストリムーバル	撮像素子駆動およびSPコーティング
感度（標準出力感度）	ISO AUTO／100～102400（1 EVステップ、1/2 EVステップまたは1/3 EVステップ）
手ぶれ補正	撮像素子シフト方式（SR：Shake Reduction）
ローパスセレクター	SRユニットを用いたモアレ低減機能、オフ／Type1／Type2／ブラケット（3枚）

記録形式

画像ファイル形式	RAW（PEF／DNG）、JPEG（Exif 2.3準拠）、DCF 2.0準拠
記録サイズ（画素数）	JPEG：L（24M：6000×4000）、M（14M：4608×3072）、S（6M：3072×2048）、XS（2M：1920×1280） RAW：24M、6000×4000
画質	RAW（14bit）：PEF、DNG JPEG：★★★（スーパーファイン）、★★（ファイン）、★（エコノミー）、RAWとJPEGの同時記録可能
色空間	sRGB、AdobeRGB
記録媒体	SD、SDHC、SDXCメモリーカード（SDHC、SDXCメモリーカードはUHS-I規格に対応）
記録フォルダー	フォルダー名設定：日付（100_1018、101_1019…）、任意（初期値はPENTX）
記録ファイル	ファイル名設定可能（初期値はIMGP＊＊＊＊） ファイルNo.設定：連番設定、リセット

ファインダー

方式	ペンタプリズムファインダー
視野率	約100%
倍率	約0.95×（50mm F1.4・∞）
アイレリーフ長	約20.5mm（見口枠より）、約22.3mm（レンズ中心より）
視度調節機能	約-2.5～+1.5m^{-1}
フォーカシングスクリーン	ナチュラルブライトマットIII、交換式

ライブビュー

方式	撮像素子によるTTL方式
オートフォーカス	像面位相差検出およびコントラスト検出によるハイブリッド方式 AFエリア：顔検出、追尾、多点オート、セレクト、スポット フォーカスアシスト：オン／オフ
表示	視野率約100%、拡大表示（最大16倍まで）、グリッド表示（16分割表示、黄金分割表示、スケール表示、正方（小）、正方（大）　線種：黒／白選択可能）、ヒストグラム表示、白とび警告

画像モニター

形式	TFTカラー LCD、広視野角タイプ、エアギャップレス構造、強化ガラス製カバー、バリアングル式
イメージサイズ	3.0型（アスペクト比3：2）
ドット数	約103.7万ドット
調整	明るさ、彩度、色調整

アウトドアモニター	±2ステップ
赤色画面表示	オン／オフ

ホワイトバランス

方式	撮像素子によるTTL方式
ホワイトバランス	オートWB、マルチパターンオートWB、太陽光、日陰、曇天、蛍光灯（**D**：昼光色、**N**：昼白色、**W**：白色、**L**：電球色）、白熱灯、**CTE**、マニュアル（3種類登録可）、色温度設定（3種類登録可）、撮影画像設定
微調整	A-B軸、G-M軸で±7ステップで調整可

オートフォーカス

方式	TTL位相差検出式
測距センサー	SAFOX X、11点測距（中央9点はクロスタイプ）
輝度範囲	EV -3～18（ISO 100、常温）
AFモード	シングルAF（**AF.S**）、コンティニュアスAF（**AF.C**）、自動選択AF（**AF.A**）
AFエリア	11点オート、5点オート、セレクト、セレクトエリア拡大、スポット
AF補助光	専用LEDによるAF補助光

露出制御

測光方式	TTL開放77分割測光、分割／中央重点／スポット
露出範囲	EV 0～22（ISO 100・50mm F1.4）
露出モード	**AUTO**モード（標準、人物、風景、マクロ、動体、夜景人物、夕景、青空、フォレスト） **SCN**モード（人物、風景、マクロ、動体、夜景人物、夕景、青空、フォレスト、夜景、夜景HDR、ナイトスナップ、料理、ペット、キッズ、サーフ＆スノー、逆光シルエット、キャンドルライト、ステージライト、美術館） プログラム、感度優先、シャッター優先、絞り優先、シャッター＆絞り優先、マニュアル、バルブ
露出補正	±5 EV（1/2 EVステップ 、1/3 EVステップ選択可能）

AEロック	ボタンカスタマイズにて AF/AE-L ボタンに割り当て可能

シャッター

方式	電子制御式縦走りフォーカルプレーンシャッター • リアル・レゾリューション・システム時には電子シャッターを使用
シャッタースピード	オート：1/6000秒～30秒、マニュアル：1/6000秒～30秒（1/3 EVステップまたは1/2 EVステップ）、バルブ（タイマー露光設定可能：10秒～20分）

ドライブ

ドライブモード	[静止画] 1コマ、連続（H、L）、セルフタイマー（12秒後、2秒後、連続）、リモコン（即、3秒後、連続）、ブラケット（2コマ／3コマ／5コマ）、ミラーアップ、多重露出 、インターバル撮影 、インターバル合成、インターバル動画、スタートストリーム [動画] リモコン • ブラケット、インターバル撮影、インターバル合成、インターバル動画、スタートストリームはセルフタイマー／リモコンとの併用可能 • ミラーアップはリモコンとの併用可能 • 多重露出は連続／セルフタイマー／リモコンとの併用可能
連続撮影	最高約6.0コマ/秒、JPEG（L・★★★・連続H）：40コマまで、RAW：10コマまで、RAW+：8コマまで 最高約3.0コマ/秒、JPEG（L・★★★・連続L）：100コマまで、RAW：16コマまで、RAW+：11コマまで • 連続撮影可能コマ数はISO 100のとき
多重露出	合成方法：加算／平均／比較明 撮影回数：2～2000回

インターバル	[インターバル撮影] 撮影間隔：2秒〜24時間／撮影待機時間：最短・1秒〜24時間、撮影回数：2〜2000回、開始トリガー：即時／セルフタイマー／リモコン／時刻指定 [インターバル合成] 撮影間隔：2秒〜24時間／撮影待機時間：最短・1秒〜24時間、撮影回数：2〜2000回、開始トリガー：即時／セルフタイマー／リモコン／時刻指定、合成方法：加算／平均／比較明、途中経過保存：オン／オフ [インターバル動画] 記録サイズ：4K／FullHD／HD、ファイル形式：Motion JPEG（AVI）、撮影間隔：2秒〜24時間／撮影待機時間：最短・1秒〜24時間、撮影回数：8〜2000回（記録サイズ4K選択時は8〜500回）、開始トリガー：即時／セルフタイマー／リモコン／時刻指定 [スタートリーム] 記録サイズ：4K／FullHD／HD、ファイル形式：Motion JPEG（AVI）、撮影待機時間：最短・1秒〜24時間、撮影回数：8〜2000回（記録サイズ4K選択時は8〜500回）、開始トリガー：即時／セルフタイマー／リモコン／時刻指定、フェードアウト：オフ／弱／中／強

フラッシュ

内蔵フラッシュ	ポップアップ式P-TTL内蔵フラッシュ、ガイドナンバー約12（ISO 100・m）、28mmレンズの画角（35ミリ判換算）をカバー
発光方式	自動発光（**AUTO**、**SCN**モード時）、赤目軽減自動発光（**AUTO**、**SCN**モード時）、強制発光、赤目軽減強制発光、スローシンクロ、赤目軽減スローシンクロ、後幕シンクロ、マニュアル発光（FULL〜1/128）
シンクロ同調速度	1/180秒
フラッシュ光量補正	-2.0〜+1.0 EV
外付けフラッシュ	対応、P-TTL、先幕シンクロ、後幕シンクロ、光量比制御、ハイスピードシンクロ ワイヤレスシンクロ可能 • 光量比制御／ワイヤレスシンクロは、対応の外付けフラッシュが2台以上必要

撮影機能

カスタムイメージ	オートセレクト、鮮やか、ナチュラル、人物、風景、雅（MIYABI）、里び（SATOBI）、ポップチューン、ほのか、フラット、銀残し、リバーサルフィルム、モノトーン、クロスプロセス、夏天（KATEN）、九秋（KYUSHU）
クロスプロセス	シャッフル、プリセット1〜3、お気に入り1〜3
デジタルフィルター	色抽出、色の置換え、トイカメラ、レトロ、ハイコントラスト、シェーディング、ネガポジ反転、ソリッドモノカラー、ハードモノクローム
明瞭コントロール	-4.0〜+4.0
肌色補正	Type1／Type2／オフ
HDR撮影	オート／Type1／Type2／Type3／アドバンスドHDR／オフ、振り幅設定可、自動位置調整可
Real Resolution	動体補正オン／動体補正オフ／オフ
レンズ補正	ディストーション補正、周辺光量補正、倍率色収差補正、回折補正
D-Range設定	ハイライト補正、シャドー補正
ノイズリダクション	長秒時NR、高感度NR
自動水平補正	SRオン時：最大1度まで補正可能、SRオフ時：最大1.5度まで補正可能
電子水準器	ファインダー内表示（左右の傾き）、画像モニター表示（左右・前後の傾き）

動画

ファイル形式	MPEG-4 AVC/H.264（MOV）
記録サイズ	FullHD（1920×1080、60i／50i／30p／25p／24p）、HD（1280×720、60p／50p）

フォーカス	像面位相差検出およびコントラスト検出によるハイブリッド方式 AFモード：シングルAF（**AF.S**）、コンティニュアスAF（**AF.C**） • コンティニュアスAF（**AF.C**）は、対応レンズ装着時に有効 AFエリア：多点オート、セレクト、スポット フォーカスアシスト：オン／オフ
音声	内蔵ステレオマイク、外部マイク使用可能（ステレオ録音）、録音レベル調整可能
記録時間	最大4GBまたは最長約25分、内部温度上昇時は自動終了
カスタムイメージ	オートセレクト、鮮やか、ナチュラル、人物、風景、雅（MIYABI）、里び（SATOBI）、ポップチューン、ほのか、フラット、銀残し、リバーサルフィルム、モノトーン、クロスプロセス、夏天（KATEN）、九秋（KYUSHU）
クロスプロセス	シャッフル、プリセット1～3、お気に入り1～3
デジタルフィルター	色抽出、色の置換え、トイカメラ、レトロ、ハイコントラスト、シェーディング、ネガポジ反転、ソリッドモノカラー、ハードモノクローム

再生機能

再生方法	1画像、マルチ画面表示（6、12、20、35、80画面）、拡大（最大16倍まで、クイック拡大可）、グリッド表示（16分割、黄金分割、スケール、正方（小）、正方（大）　線種：黒／白選択可能）、回転表示、ヒストグラム表示（Yヒストグラム、RGBヒストグラム）、白とび警告表示、縦位置自動回転、詳細情報表示、著作権情報表示（撮影者名、著作権者名）、GPS情報（緯度、経度、高度、協定世界時）、方位、フォルダー表示、撮影日別表示、スライドショウ
消去機能	1画像消去、全画像消去、選択消去、フォルダー消去、クイックビュー消去

デジタルフィルター	ベースメイク、色抽出、色の置換え、トイカメラ、レトロ、ハイコントラスト、シェーディング、ネガポジ反転、ソリッドモノカラー、ハードモノクローム、ドラマチックアート、デッサン、水彩画、パステル、ポスタリゼーション、ミニチュア、ソフト、クロス、フィッシュアイ、スリム、モノトーン
RAW展開	RAW画像選択：1画像選択／複数画像選択／フォルダー選択 RAW展開パラメーター：ホワイトバランス、カスタムイメージ、増減感、明瞭コントロール、肌色補正、デジタルフィルター、HDR撮影、Real Resolution、シャドー補正、高感度NR、ディストーション補正、周辺光量補正、倍率色収差補正、回折補正、フリンジ補正、アスペクト比、JPEG記録サイズ、JPEG画質、色空間
編集機能	画像回転、色モアレ補正、リサイズ、トリミング（アスペクト比変更可、傾き修正可）、動画編集（分割および不要部分削除）、動画フレーム画像JPEG保存、バッファ RAW保存

カスタマイズ機能

USERモード	最大3件まで登録可
カスタムファンクション	24項目
モードメモリ	16項目
カスタムボタン	Fx1／Fx2ボタン（ワンタッチRAW+、Wi-Fi、アウトドアモニター、赤色画面表示、プレビュー、電子水準器、測距点移動） AF/AE-Lボタン（AF作動1、AF作動2、AFキャンセル、AEロック） 露出モード別電子ダイヤルカスタマイズ各種

オートフォーカスカスタマイズ	AF.S：フォーカス優先／レリーズ優先から選択可 AF.C 1コマ目の動作：オート／フォーカス優先／レリーズ優先から選択可 AF.C連続撮影中の動作：オート／フォーカス優先／コマ速優先から選択可 AFホールド：オフ／弱／中／強から選択可 インターバル撮影中のAF：フォーカスロックする／フォーカスロックしないから選択可 リモコン時のAF：オフ／オンから選択可
文字サイズ	標準、大きい
ワールドタイム	世界75都市に対応（28タイムゾーン）
AF微調整	±10ステップ、一律調整、個別調整（最大20本まで登録可）
インジケーター	ボディライト：明るい／暗い／オフから選択可 セルフタイマー：オン／オフから選択可 リモコン：オン／オフから選択可 GPSユニットのランプ：オン／オフから選択可
著作権情報	「撮影者名」「著作権者名」を画像ファイルに記録、同梱ソフトウェアで改ざんの有無を確認可能

電源

使用電池	充電式リチウムイオンバッテリー D-LI109
ACアダプター	ACアダプターキット K-AC168J（別売）
電池寿命	撮影可能枚数…フラッシュ 100%発光：約350枚、フラッシュ 50%発光：約400枚、フラッシュ発光なし：約460枚 再生時間…約250分 • 満充電のリチウムイオンバッテリー使用、23°C、撮影枚数はCIPA規格に準じた測定条件による目安ですが、使用条件により変わります。

外部インターフェイス

端子	USB 2.0（micro Bタイプ）、HDMI出力端子（タイプD）、ステレオマイク入力端子（3.5mm径、ケーブルスイッチ端子兼用）
USB接続	MSC／PTP

無線LAN

準拠規格	IEEE 802.11b/g/n（無線LAN標準プロトコル）
使用周波数（中心周波数）	2412MHz～2462MHz（1ch～11ch）
セキュリティ	認証方式：WPA2 暗号化方式：AES

外形寸法・質量

外形寸法	約125.5mm（幅）× 93.0mm（高）× 74.0mm（厚）（突起部を除く）
質量	約684g（バッテリー、SDカードを含む）、約625g（本体のみ）

動作環境

使用温度	-10～40℃
使用湿度	85%以下（結露しないこと）

付属品

同梱物	ストラップ O-ST132、充電式リチウムイオンバッテリー D-LI109、充電器 D-BC186、USB電源アダプター、ACプラグ、USBケーブルI-USB166、ソフトウェア（CD-ROM）S-SW186、スタートガイド<これ以降はカメラに装着状態で出荷>アイカップ FR、ホットシューカバー FK、ボディマウントカバー
ソフトウェア	Digital Camera Utility 5

USB電源アダプター

電源	AC100～240V（50/60Hz）、0.2A
出力	DC 5.0V、1.0A、5W
平均有効効率	76%
無負荷時の消費電力	70 mW
動作温度	0～40℃ • 充電器の動作温度に依存します。
保管温度	-20～60 ℃
外形寸法	42.5mm×22mm×66.5mm（電源プラグ含まず）
質量	約40g（電源プラグ含まず）

充電式リチウムイオンバッテリー D-LI109

電圧	7.4V
定格出力	1050mAh、7.8Wh
動作温度	-10～60℃ • カメラ本体、充電器の動作温度に依存します。
保管温度	-20～50℃
外形寸法	約36.1mm×56.6mm×14.4mm
質量	約57g

バッテリー充電器D-BC186

定格入力	DC 5V/3A、DC 9V/3A、DC 12V/3A
定格出力	DC 8.4V/1.2A
外形寸法	約83mm×62mm×24mm
質量	約55g

別売アクセサリー対応

GPSユニット	O-GPS1／O-GPS2：GPS情報（緯度、経度、標高、協定世界時）、方位、電子コンパス、アストロトレーサー
ケーブルスイッチ	CS-310

撮影可能枚数と再生時間

（バッテリーフル充電時）

使用電源	使用温度	一般撮影	フラッシュ撮影		再生時間
			使用率50%	使用率100%	
D-LI109	23°C	約460枚	約400枚	約350枚	約250分

• 満充電のリチウムイオンバッテリー使用、23°C、撮影枚数はCIPA規格に準じた測定条件による目安ですが、使用条件により変わります。

記録サイズ別撮影可能枚数の目安

（8GBのメモリーカード使用時）

記録サイズ	JPEG画質			PEF
	★★★	★★	★	
L 24M	528枚	1192枚	2339枚	151枚
M 14M	889枚	1996枚	3837枚	–
S 6M	1964枚	4309枚	7923枚	–
XS 2M	4723枚	9824枚	16374枚	–

• 撮影可能枚数は、被写体・撮影状況・撮影モード・使用するメモリーカード等により異なります。

都市名一覧

現在地／目的地として以下の都市が設定できます

地域	都市名
北米	ホノルル／アンカレジ／バンクーバー／サンフランシスコ／ロサンゼルス／カルガリー／デンバー／シカゴ／マイアミ／トロント／ニューヨーク／ハリファックス
中南米	メキシコシティ／リマ／サンティアゴ／カラカス／ブエノスアイレス／サンパウロ／リオデジャネイロ
ヨーロッパ	リスボン／マドリード／ロンドン／パリ／アムステルダム／ミラノ／ローマ／コペンハーゲン／ベルリン／プラハ／ストックホルム／ブダペスト／ワルシャワ／アテネ／ヘルシンキ／モスクワ
アフリカ・西アジア	ダカール／アルジェ／ヨハネスブルグ／イスタンブール／カイロ／エルサレム／ナイロビ／ジッダ／テヘラン／ドバイ／カラチ／カブール／マーレ／デリー／コロンボ／カトマンズ／ダッカ
東アジア	ヤンゴン／バンコク／クアラルンプール／ビエンチャン／シンガポール／プノンペン／ホーチミン／ジャカルタ／香港／北京／上海／マニラ／台北／ソウル／東京／グアム
オセアニア	パース／アデレード／シドニー／ヌーメア／ウェリントン／オークランド／パゴパゴ

USB接続と付属ソフトウェアの動作環境

付属ソフトウェア「Digital Camera Utility 5」は、パソコンでRAW画像の展開や色調整、撮影情報の確認などができます。付属のCD-ROM（S-SW186）からインストールができます。
本機との接続と付属ソフトウェアの使用には、以下のシステム環境が必要です。

Windows®

OS	Windows®11／Windows® 10
CPU	Intel® Core™ i5以上
メモリ	8GB以上
HDD	インストール時および起動時の空き容量：約100MB以上 画像ファイルの保存容量：1ファイルあたり約10MB（JPEG）または約30MB（RAW）程度
モニター	1280×1024ドット、24bitカラー以上

Mac

OS	macOS 12 Monterey／macOS 11 Big Sur／macOS 10.15 Catalina
CPU	Intel® Core™ i5以上
メモリ	8GB以上
HDD	インストール時および起動時の空き容量：約100MB以上 画像ファイルの保存容量：1ファイルあたり約10MB（JPEG）または約30MB（RAW）程度
モニター	1280×1024ドット、24bitカラー以上

メモ

- 本機で撮影した動画をパソコンで再生するときは、MOVファイル／AVIファイルに対応している動画再生ソフトを使用してください。

索引

記号

メニュー 24
メニュー 29
メニュー 30
メニュー 31
Cメニュー 34
モード 54
人物 50
風景 50
マクロ 50
動体 50
夜景人物 50
夕景 50
青空 50
フォレスト 50
夜景 50
夜景HDR 50
ナイトスナップ 50
料理 51
ペット 51
キッズ 51
サーフ&スノー 51
逆光シルエット 51
キャンドルライト 51
ステージライト 51
美術館 51

数字

1画像表示 16, 47
1コマ撮影 65

A

ACアダプター 39
AdobeRGB 49
AEロック 53
AF.A 62
AF.C 62
AF.C 1コマ目の動作 61
AF.C連続撮影中の動作 ... 61
AF.S 62
AF.Sの動作 61, 63
AF/AE-Lボタン 99
AFエリア 62, 64
AFカプラー 9
AF微調整 65
AFフレーム 46, 47
AFホールド 61
AF補助光 62
AF補助光ランプ 9
AFモード 62, 63
AFロック時のAE-L 34
ASTROPHOTO 50
AUTOモード 45
AV機器 87
Avモード 51

B

B時の撮影方法 53
Bモード 51

C

CLEAR TONE 50
CTE 72

D

DCカプラー 39
Digital Camera Utility 5 ..... 93, 131
DNG 49
D-Range設定 78

E

Exifデータ 109

F

Fx1/Fx2ボタン 98

G

GPSユニット 118
GPSユニットのランプ.. 102

H

HDMI出力 87
HDR LANDSCAPE 50
HDR撮影 79

I

Image Sync 97
ISO感度 56
ISO感度ステップ 56

J

JPEG 49
JPEG画質 49
JPEG記録サイズ 49

L

Language/言語 42
LCD設定 32

M

Mac 132
MF 61
Movie SR 29
MSC 121
Mモード 51

P

PEF 49
PTP 121
Pモード 51

R

RAW 49
RAW追加保存 46
RAW展開 92
RAWファイル形式 49
Real Resolution 81
RGBヒストグラム 18

S

SCNモード 50
SDメモリーカード 40
Shake Reduction 25
sRGB 49
SRの自動オフ 66

Sv モード 51

T

TAv モード 51
TTL位相差検出式 61
Tv モード 51

U

USB接続 94, 131
USB端子 94
USERモード登録 103

W

WBの光源調整範囲 73
Wi-Fi™ 95
Windows® 131

あ

アウトドアモニター 102
青空（**SCN**）..... 50
赤色画面表示 120
赤目軽減強制発光 59
赤目軽減自動発光 59
赤目軽減スローシンクロ 59
明るさ補正 78
鮮やか（カスタムイメージ）..... 75
アストロトレーサー 119
アスペクト比 88, 93
後幕シンクロ 59
アフターサービス 142

い

位相差AF 61
色温度（ホワイトバランス）..... 75
色温度ステップ 75
色空間 49
色抽出（デジタルフィルター）..... 77, 89
色の置換え（デジタルフィルター）..... 77, 89
色モアレ補正 89
インジケーター 102
インターバル合成 71
インターバル撮影 71
インターバル撮影中のAF 72
インターバル撮影の動作 72
インターバル動画 71

え

エラーメッセージ 123

お

オート（AFエリア）..... 62
オートWB（ホワイトバランス）..... 72
オートセレクト（カスタムイメージ）..... 75
オートパワーオフ 42
オートピクチャーモード 45
オートフォーカス 61
音声 54
音量 31, 55

か

カード 40
カードアクセスランプ 9
回折補正 80
回転 86
回転情報の記録 86
回転方向設定 101
ガイドナンバー 60
ガイド表示 45
顔検出（AFエリア）..... 64
拡大表示 48
加工 88
画質 49
画質補正 80
カスタマイズ 21, 98
カスタムイメージ 75
カスタムメニュー 34
画像閲覧（Image Sync）.. 97
画像回転 86
画像仕上 75
画像の自動回転 86
画像モニター 12, 41
合焦マーク 46
夏天（KATEN）（カスタムイメージ）..... 75
画面表示 44
感度 56
感度優先自動露出 51

き

キッズ（**SCN**）..... 51
輝度ヒストグラム 18
機能制限 110
逆光シルエット（**SCN**）.. 51
キャッチインフォーカス 116
キャリブレーション 119
キャンドルライト（**SCN**）..... 51
九秋（KYUSHU）（カスタムイメージ）..... 75
強制発光 59
記録形式 49
記録サイズ 49
記録設定 49
銀残し（カスタムイメージ）..... 75

く

クイック拡大 48
クイックビュー 46
クイックビュー表示 26
クリーニング 122
グリッド表示 26, 48
クロス（デジタルフィルター）..... 89
クロスプロセス（カスタムイメージ）..... 75
クロスプロセス登録 76

け

ケーブルスイッチ 55
ケーブルスイッチ端子 55
ケルビン 75
言語設定 42
現在地 42, 105
現像 92

こ
光学プレビュー 100
高感度NR 57
光量補正 59
コンティニュアスモード（AFモード）..... 62
コントラスト（カスタムイメージ）..... 76
コントラスト検出式 61
コントロールパネル .. 14, 20

さ
サーフ＆スノー（**SCN**）.. 51
サイズ変更 88
再生音量 56
再生情報表示選択..... 16
再生メニュー..... 30
再生モード 47
再生モードパレット 83
撮影 45
撮影可能枚数..... 130
撮影者名 109
撮影情報表示選択..... 15
撮影待機状態..... 12
撮影日別表示..... 85
撮影メニュー..... 24
撮影モード 50
里び（SATOBI）（カスタムイメージ）..... 75

し
シーンモード..... 50
シェーディング（デジタルフィルター）..... 77, 89
時刻切替 105
質感補正 80
自動時刻修正 118
自動水平補正 25
自動発光 59
視度調整レバー 19
絞り値..... 51
絞り優先自動露出..... 51
絞りリング付きレンズ .. 115
絞りリングの使用..... 115
シャープネス（カスタムイメージ）..... 76
シャッター＆絞り優先自動露出 51
シャッター速度 51
シャッター優先自動露出 51
シャドー補正 78
十字キー 11, 20
十字キーの機能 63
充電 37
充電中のレリーズ..... 60
周辺光量補正 80
仕様 125
消去 48
詳細情報表示 17
詳細設定メニュー..... 31
焦点距離入力..... 117
初期化..... 44
初期設定 42
白とび警告 16
シングルモード（AFモード）..... 62
人物（**SCN**）..... 50
人物（カスタムイメージ）..... 75

す
スーパーインポーズ 19
水彩画（デジタルフィルター）..... 89
スタートストリーム..... 71
ステージライト（**SCN**）.. 51
ステータススクリーン 13
ストラップ 36
スピーカー 9
スポット（AFエリア）..... 62, 64
スポット測光..... 58
スライドショウ 86
スリム（デジタルフィルター）..... 89
スローシンクロ 59

せ
精密キャリブレーション 119
接続ケーブルカバー 39
セルフタイマー 67
セレクト（AFエリア）..... 62, 64
セレクトエリア拡大（AFエリア）..... 62
全画像消去 30
全画像プロテクト..... 106
センサークリーニング .. 122
選択消去 84

そ
増減感..... 93
像面位置マーク 9
測距点..... 62
測距点と露出の関連付 58
測光作動時間..... 34
測光方式 58
外付けフラッシュ 117
その他の表示..... 26
ソフト（デジタルフィルター）..... 89
ソリッドモノカラー（デジタルフィルター）..... 77, 89

た
ダイナミックレンジ 78
タイマー露光..... 53
ダイヤル 10
ダイヤル指標..... 45
太陽光（ホワイトバランス）..... 72
ダイレクトキー 20
多重露出 70
ダストリムーバル..... 121
多点オート（AFエリア）..... 64

ち
中央重点測光..... 58
昼光色蛍光灯（ホワイトバランス）..... 72
昼白色蛍光灯（ホワイトバランス）..... 72
長秒時NR 52
著作権者名 109

著作権情報 109
沈胴式レンズ..... 46

つ

追尾（AFエリア）..... 64
通信情報..... 96
通信端末..... 97
吊り環..... 36

て

ディストーション補正 80
デジタルフィルター .. 77, 89
デジタルプレビュー 100
デッサン（デジタルフィルター）..... 89
電球色蛍光灯（ホワイトバランス）..... 72
電源 42
電子音..... 31
電子コンパス..... 15, 118
電子水準器 15, 19
電子ダイヤル..... 101
天体撮影..... 119

と

トイカメラ（デジタルフィルター）..... 77, 89
動画編集..... 91
動画メニュー..... 29
動画モード 54
動作環境..... 131
動体（**SCN**）..... 50
都市名..... 42, 131
ドライブモード 65
ドラマチックアート（デジタルフィルター）..... 89
トリミング 88
曇天（ホワイトバランス）..... 72

な

内蔵フラッシュ 59
ナイトスナップ（**SCN**).. 50
ナチュラル（カスタムイメージ）..... 75
夏時間..... 43, 105

に

日時設定..... 43
認証マーク 139

ね

ネガポジ反転（デジタルフィルター）..... 77, 89

の

ノイズリダクション .. 52, 57

は

バージョン情報 33
ハードモノクローム（デジタルフィルター）..... 77, 89
ハイコントラスト（デジタルフィルター）..... 77, 89
配色 44
ハイスピードシンクロ撮影 118
ハイライト補正 78
倍率色収差補正 80
白色蛍光灯（ホワイトバランス）..... 72
白熱灯（ホワイトバランス）..... 72
白熱灯下のオートWB..... 73
パステル（デジタルフィルター）..... 89
パソコン 94
肌色補正 80
バッテリー 37
バッファ RAW保存 48
バルブ撮影 53
バルブ露出 51

ひ

日陰（ホワイトバランス）..... 72
ピクセルマッピング 122
被写界深度 52
美術館（**SCN**）..... 51
ヒストグラム表示..... 18
表示スタイル..... 43

ふ

ファイルNo. 109
ファイル形式..... 49
ファイル名 108
ファインダー..... 18
ファインダー撮影..... 45
ファインダー内表示 26
フィッシュアイ（デジタルフィルター）..... 89
フィルター 77, 89
風景（**SCN**）..... 50
風景（カスタムイメージ）..... 75
フォーカスアシスト 63
フォーカスモード..... 61
フォーカスモード切替レバー 45, 61
フォーマット..... 44
フォルダー新規作成 107
フォルダー表示 85
フォルダー名..... 107
フォレスト（**SCN**）..... 50
複数画像表示..... 84
付属ソフトウェア..... 131
ブラケット撮影 68
ブラケット撮影順..... 69
フラッシュ 59, 117
フラッシュ発光時のWB .. 73
フラット（カスタムイメージ）..... 75
フリッカー低減 26, 29
フリンジ補正..... 93
フレームレート 49
プレビュー 52, 100
プログラム自動露出 51
プロテクト 106
分割測光 58
分割表示 48, 84

へ

ベースメイク（デジタルフィルター）..... 89
ペット（**SCN**）..... 51
編集 88

ほ
保護 106
ポスタリゼーション（デジタルフィルター）..... 89
補正 78
ボタン..... 10
ボタンカスタマイズ..... 98
ホットシュー..... 9
ポップチューン（カスタムイメージ）..... 75
ボディライト..... 102
ほのか（カスタムイメージ）..... 75
ボリュームラベル..... 44
ホワイトバランス..... 72

ま
マイク..... 9, 55
マイク／ケーブルスイッチ兼用端子..... 9
マイク端子 55
マイク端子設定 55
マウント指標..... 36
マウント名称..... 113
マクロ（**SCN**）..... 50
マニュアルWB登録..... 74
マニュアル発光 59
マニュアルフォーカス 61
マニュアルホワイトバランス..... 74
マニュアル露出 51
マルチパターンオートWB（ホワイトバランス）..... 72

み
ミニチュア（デジタルフィルター）..... 89
雅（MIYABI）（カスタムイメージ）..... 75
ミラー..... 9
ミラーアップ撮影..... 69
ミレッド..... 75

む
無線LAN 95

め
明瞭コントロール..... 80
メニュー..... 22
メニュー選択の記憶 23
メモリーカード 40

も
モードダイヤル 45
モードメモリ 105
モアレ低減 81
目的地..... 105
文字サイズ 43
文字入力..... 103, 107
モノトーン（カスタムイメージ）..... 75
モノトーン（デジタルフィルター）..... 89

や
夜景（**SCN**）..... 50
夜景HDR（**SCN**）..... 50
夜景人物（**SCN**）..... 50

ゆ
夕景（**SCN**）..... 50

ら
ライブビュー..... 13
ライブビュー撮影..... 47
ライブビュー表示..... 14
ランプ..... 11

り
リアルレゾリューションシステム..... 81
リサイクル 39
リサイズ..... 88
リセット..... 33, 35
リバーサルフィルム（カスタムイメージ）..... 75
リモート撮影（Image Sync）..... 97
リモコン..... 67
リモコン時のAF 68
リモコン受光部 9
料理（**SCN**）..... 51

れ
レトロ（デジタルフィルター）..... 77, 89
レバー..... 10
レンズ..... 36, 113
レンズ焦点距離 117
レンズ情報接点 9
レンズ取り外しボタン 37
レンズ補正 80
連続再生 86
連続撮影 66
連動外の自動補正..... 34
連番設定 109

ろ
ローパスセレクター..... 81
ローパスフィルター..... 81
録音レベル 55
録画可能時間..... 54
露出設定ステップ..... 52
露出補正 58
露出モード 51, 104

わ
ワールドタイム 105
ワンタッチRAW+..... 99
ワンプッシュブラケット..... 69

取り扱い上の注意

お使いになる前に

- 長時間使用しなかったときや、大切な撮影（結婚式、旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。万一、カメラや記録媒体（SDメモリーカード）などの不具合により、撮影や再生、パソコン等への転送がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の保証についてはご容赦ください。

バッテリー・充電器について

- バッテリーをフル充電して保管すると、性能低下の原因になることがあります。特に高温下での保管は避けてください。
- バッテリーを長期間カメラに入れたままにしておくと、微少の電流が流れて過放電になり、バッテリー寿命を縮める原因となります。
- 充電は使用する当日か前日にすることをお勧めします。

持ち運びとご使用の際のご注意

- 高温多湿のところは避けてください。特に車の中は高温になりますのでカメラを車内に放置しないでください。
- 強い振動、ショック、圧力などを加えないでください。オートバイ、車、船などの振動からは、クッションなどでくるんで保護してください。
- カメラの使用温度範囲は-10～40°Cです。
- 高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。
- 急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露し水滴が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。
- ゴミや泥、砂、ほこり、水、有害ガス、塩分などがカメラの中に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、速やかに乾いた布等で拭き取ってご使用ください。
- 雨や水滴が付着した状態でレンズの着脱をしないでください。レンズやカメラの内部に水分が入り込むと故障の原因となります。
- 破損や故障の原因になりますので、画像モニターの表面を強く押さないでください。
- 三脚使用時は、ねじの締め過ぎに十分ご注意ください。

お手入れについて

- 汚れ落としに、シンナーやアルコール、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- レンズのほこりは、きれいなレンズブラシで取り去ってください。スプレー式のブロアーは、レンズを破損させるおそれがありますので、使用しないでください。
- CMOSセンサーの清掃につきましては、できるだけ弊社修理センターまたは、お客様窓口にご用命ください。（有料）
- 高性能を保つため、1～2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。

保管について

- 防腐剤や有害薬品のある場所では保管しないでください。また高温多湿の場所での保管は、カビの原因となりますので、乾燥した風通しのよい場所に、カメラケースから出して保管してください。
- 静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用・保管は避けてください。
- 急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光のあたる場所での使用・保管は避けてください。

SDメモリーカードについて

- SDメモリーカードには、ライトプロテクトスイッチが付いています。スイッチをLOCK側に切り替えると、新たにデータを記録できなくなり、カメラやパソコンで削除やフォーマットができなくなります。
- カメラを使用した直後にSDメモリーカードを取り出すと、カードが熱くなっている場合があります。

- SDメモリーカードへのアクセス中は、カードを取り出したり電源を切ったりしないでください。データやカードの破損の原因となります。
- SDメモリーカードは、曲げたり強い衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり、高温になる場所に放置しないでください。
- SDメモリーカードのフォーマット中は絶対にカードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- SDメモリーカードに保存したデータは、以下の条件で失われる場合がありますので、ご注意ください。消去されたデータについては、当社では一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  1. 使用者がSDメモリーカードの取り扱いを誤ったとき
  2. SDメモリーカードを静電気や電気ノイズのある場所に置いたとき
  3. 長期間SDメモリーカードを使用しなかったとき
  4. SDメモリーカードのアクセス中にカードを取り出したり、バッテリーを抜いたとき
- 長期間使用しない場合は、保存したデータを読むことができなくなることがあります。必要なデータは、パソコンなどへ定期的にバックアップを取るようにしてください。
- SDメモリーカードをご購入の際は、あらかじめ動作確認済みのものであるかを当社ホームページでご確認いただくか、お客様相談センターにお問い合わせください。
- 未使用品や他のカメラで使用したSDメモリーカードは、必ずフォーマットしてからご使用ください。
- フォーマットしたカードでも、市販の修復ソフトを使用すると、データを再び取り出せることがあります。廃棄にはSDメモリーカード本体を物理的に破壊し、譲渡の際は市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってSDメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。
- SDメモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

無線LAN機能について

- 電気製品、AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電磁波の影響を受けると、通信ができなくなることがあります。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると、受信障害の原因になったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線 LAN アクセスポイントが存在し、同じチャネルを使用していると正しく検索できない場合があります。
- データはお客様の責任において管理してください。

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更し、混信を回避してください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サービス窓口にお問い合わせください。

本製品は、電波法、電気通信事業法、ならびにVCCI協会の運用規定に基づく技術基準に適合し、技適マークとVCCIマークを画面に表示することができます。

認証マークの表示方法

1 MENU を押してメニュー画面を表示する

2 ▲▼◀▶ 操作して🔧5メニューを表示する

3 ▲▼◀▶ 操作して［認証マーク］を選択し、OK を押す

商標について

- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Mac、macOS、App Storeは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- iOSの商標は、米国Ciscoのライセンスに基づき使用されています。
- Intel、Intel CoreはIntel Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- SDXCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。
- Google、Google Play、Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Wi-FiはWi-Fi Allianceの商標です。
- この製品はAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の許可のもと、DNG技術を取り入れています。
- DNGロゴは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、High-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国々におけるHDMIライセンシングの商標または登録商標です。
- SILKYPIXは、株式会社市川ソフトラボラトリーの登録商標です。

その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。

- 本製品は株式会社リコーがデザイン制作したリコー RT　Fontを使用しています。
- 本製品はPRINT Image Matching IIIに対応しています。PRINT Image Matching対応プリンターでの出力および対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。なお、PRINT Image Matching IIIより前の対応プリンターでは、一部機能が反映されません。
  PRINT Image Matching、PRINT Image Matching II、PRINT Image Matching IIIに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

AVC Patent Portfolio Licenseについて

本製品は、お客様が個人使用または報酬を受けないその他の利用で次の行為を行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

(i) AVC 規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオといいます）

(ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されていません。
詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。http://www.mpegla.comをご参照ください。

BSDライセンスソフトウェアの利用に関するお知らせ

本製品はソフトウェアの一部にBSDライセンスに従ったソフトウェアを利用しています。BSDライセンスとは、無保証の旨の明記、著作権表示、ライセンス条文一覧の表示を条件としてプログラムの再頒布が許諾されるソフトウェアのライセンス形式です。下記の内容は、上記ライセンス条件に基づき表示されるものであり、お客様の使用制限等を規定するものではありません。

記

Tera Term
Copyright (C) 1994-1998 T. Teranishi
(C) 2004-2015 TeraTerm Project
All rights reserved.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満 1 年間無料修理いたしますので、お買い上げ店か使用説明書に記載されている当社サービス窓口にお申し出ください。修理品ご送付の際は、輸送中の衝撃に耐えられるようしっかり梱包し、発送や受け取りの記録が残る宅配便などをご利用ください。不良見本のサンプルや故障内容の正確なメモを添付していただけると原因分析に役立ちます。
2. 保証期間中［ご購入後 1 年間］は、保証書［販売店印および購入年月日が記入されているもの］をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様にてご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。
3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
   - 使用上の誤り（使用説明書記載以外の誤操作等）により生じた故障
   - 当社の指定するサービス機関以外で行われた修理・改造・分解による故障
   - 火災・天災・地変等による故障
   - 保管上の不備（高温多湿の場所、防虫剤や有害薬品のある場所での保管等）や手入れの不備（本体内部に砂・ほこり・液体かぶり等）による故障
   - 修理ご依頼の際に保証書のご提示、添付がない場合
   - お買い上げ販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合
4. 保証期間以降の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。
5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後 5 年間を目安に保有しております。従って本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間以後であっても修理可能の場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。
6. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

メモ

メモ

ユーザー登録のお願い **https://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/**

お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。
当社ホームページから登録が可能です。

RICOH

ホームページアドレス　https://www.ricoh-imaging.co.jp/

本製品に関するお問い合わせ　https://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/

お客様相談センター

ナビダイヤル　0570-001313
（市内通話料金でご利用いただけます。）

営業時間　10：00～17：00
※　日曜日、年末年始、弊社休業日、ビル施設点検日は休業

修理受付　https://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/repair.html

ピックアップリペアサービス申し込み

ナビダイヤル　0570-001301
（市内通話料金でご利用いただけます。）

営業時間　10：00～17：00（土・日・祝日、弊社休業日を除く）
※　このサービスは日本全国どこからでも電話一本で弊社指定の宅配業者が梱包資材を持ってお伺いし、故障した製品を梱包してお預かりのうえ、弊社修理拠点まで安全にお届けするサービス（無料）です。
インターネットからもお申し込みいただけます。
https://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/repair_entry-j.html

修理お問い合わせ窓口

ナビダイヤル　0570-005140
（市内通話料金でご利用いただけます。）
FAX　03-3775-8548

営業時間　10：00～17：00（土・日・祝日、弊社休業日を除く）

※　都道府県別の修理品のご送付またはお持ち込み先につきましては、弊社ホームページでご確認いただけます。
https://www.ricoh-imaging.co.jp/japan/support/repair_entry-j.html

リコーイメージング株式会社
〒143-8555　東京都大田区中馬込1-3-6

☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

R01DTH22